

令和5年度 研究報告書

政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の授業開発

- 単元「これからの食料生産」を題材に -

指導教員 藤瀬 泰司 教授  
竹中 伸夫 准教授

令和4年度入学  
熊本大学大学院 教育学研究科  
教職実践開発専攻 教科教育実践高度化コース  
221-A9722 和田夢衣

# 目次

## 目次

## 要旨

頁

第1章 問題の所在・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
第1節 本研究の目的	
第2節 従来の小学校社会科5年生单元「これからの食料生産」の取り扱いと授業開発研究	
第1項 従来の授業開発研究の分類	
第2項 「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」とその課題	
第3項 日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」とその課題	
第2章 政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の授業構成の実際・・・・・・・・	13
第1節 授業構成の実際 - 单元「これからの食料生産」 -	
第2節 実験授業の発話記録	
第3節 実験授業の実施状況と結果の分析	
第1項 実験授業の実施状況	
第2項 結果の分析	
第3章 政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の再構成の検討・・・・・・・・	41
第1節 授業開発・実践の課題	
第2節 実験授業の再構成案	
第4章 研究の意義と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	50
参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・	51
巻末資料・・・・・・・・・・・・・・・・	52

## 政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の授業開発

### - 単元「これからの食料生産」を題材に -

熊本大学大学院 教育学研究科  
教職実践開発専攻 教科教育実践高度化コース  
221-A9722 和田夢衣

### 報告書要旨

本研究は、補助金を題材とした小学校社会科産業学習の授業を開発することによって、現行の授業における問題点を克服する手段を明らかにする。

現行の小学校社会科では、単元「これからの食料生産」は、生産者（企業）と消費者（家計）の2つの視点から考えることが多い。しかしながら、このような生産者と消費者の2つの視点からのみ考える学習では、民主的な国家・社会の形成者を育成することは難しいのではないだろうか。なぜなら、食料生産は、生産者と消費者だけでなく、政府の政策もかわるからである。そのため、この問題点を学習させない現行の小学校社会科では、食料生産には政治的要素が大きく関わることを学習できない。結果として「生産者が努力すること」、「消費者の意識を変えること」が大切であるという2者からの視点しか持たない社会の一員を形成してしまう。

それでは、どのような問題を題材にすれば、食料生産に政治が関わっている事実を学習させることができるのだろうか。本研究では、この問いに答えるために、農業補助金制度を事例に取り上げた小学校5年生の単元「これからの食料生産」の授業を開発する。現在日本の食料自給率は先進国の中でも非常に低い部類に入る。国は食料自給率を上げるために、私たち消費者の食生活の見直しや地産地消の大切さを強調したり、増産のために生産者の努力を求めたりしており、子どもたちの使う教科書も同様に消費者の努力と生産者の努力の大切さを取り上げている。しかしながら、日本の食料自給率は依然低いままである。なぜなら、食料自給率の高い先進国は、このような消費者や生産者個人の努力任せにしていないからだ。これらの国は、政府が高い農業補助金を出すことにより、安定した食料生産を可能にしている。つまり、産業に国が関わるのが当たり前の体制になっているからこそ高い食料自給率を達成しているのである。そのため、この問題を教材にすれば、食料生産には政治が大きく関わっていることが理解でき、現行の授業における問題点を克服できるのではないだろうか。

## 第1章 問題の所在

### 第1節 本研究の目的

現行の小学校社会科では、産業学習は、生産者（企業）と消費者（家計）の2つの視点から考えることが多い。しかしながら、このような生産者と消費者の2つの視点からのみ考える産業学習では、民主的な国家・社会の形成者を育成することは難しいのではないだろうか。なぜなら、産業は、生産者と消費者だけでなく、政府も関わる経済活動だからである。そのため、この問題点を学習させない現行の小学校社会科では、産業には政治的要素が大きく関わることを学習できず、産業を活性化させるためには生産者が努力することや消費者の意識を変えることが大切であるという2者からの視点しか持たない社会の一員を形成してしまう。

それでは、どのような問題を題材にすれば、産業に政治が関わっている事実を学習させることができるのだろうか。本研究では、この問いに答えるために、農業補助金制度を事例に取り上げた小学校5年生の単元「これからの食料生産」の授業を開発する。現在日本の食料自給率は先進国の中でも非常に低い部類に入る。国は食料自給率を上げるために、私たち消費者の食生活の見直しや地産地消の大切さを強調したり、増産のために生産者の努力を求めたりしており、子どもたちの使う教科書も同様に消費者の努力と生産者の努力の大切さを取り上げている。しかしながら、日本の食料自給率は以前低いままである。なぜなら、食料自給率の高い先進国は、このような消費者や生産者個人の努力任せにしていないからである。これらの国は、政府が高い農業補助金を出すことにより、安定した食料生産を可能にしている。産業に国が関わるのが当たり前の体制になっているからこそ高い食料自給率を達成しているのである。そのため、この問題を教材にすれば、産業には政治が大きく関わっていることが理解でき、産業の在り方について政府という第3の視点から吟味させることができるのではないだろうか。

以上のような問題意識のもと、本研究では、補助金を題材にした小学校社会科授業を開発することによって、産業の在り方について政府という第3の視点から吟味させる手立てを具体的に示すことを目的とする。

## 第2節 従来の小学校社会科5年生単元「これからの食料生産」の取り扱いと授業開発研究

### 第1項 従来の授業開発研究の分類

これまでに小学校5年生社会科単元「これからの食料生産」の授業開発研究は多数ある。従来の研究は【表1】に示すように、大きく2つに分類することができる。1つ目は「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」である。この授業は、1960年代と現在の食事を比較したり輸入量の増加しているグラフの読み取りをしたりする活動を通して、私たちの食生活が変化したため食料自給率が下がったという認識を獲得させている。また、その後対策として地産地消の取り組みを挙げ、食料自給率を上げるためには私たち消費者の努力が大切であることを学習している。2つ目は、「日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」である。この授業は、農業生産量の低下や就農人口の減少といった事象の学習を通して、日本の農業の生産力が下がった結果食料自給率が下がったという認識を獲得させている。また、その後対策として植物工場 の例や AI の導入、輸出強化への取り組みなどをあげ、食料自給率を上げるためには生産者 による農業生産量増加への取り組みが必要であることを学習している。

【表1】小学校5年生社会科単元「これからの食料生産」の授業開発研究（筆者作成）

類型	授業
日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業	①河野晋也「持続可能な社会の創り手に求められる批判的思考力の育成：小学校社会科第5学年『これからの食料生産』をとおして」『社会科教育研究』日本社会科教育学会 139号（2020）pp.24-35
	②大西浩明 山方貴順 祐岡武志 山下欣浩 中川静男「豊かさに焦点を当てた持続可能な社会の創り手を育てる社会科 - 小学校5年生社会科『これからの食料生産』を題材に -」『次世代教員養成センター研究紀要』奈良教育大学次世代教員養成センター（2018）pp.35-44
	③宮原翔太「小学校の授業5年これからの食料生産とわたしたち：TPP から考える日本の食料問題」『歴史地理教育』歴史教育協議会（2018）pp.34-39
	④平川公明「食料自給率低下問題とその解決策を考える授業」『社会科教育』3月号（2019）pp.36-39
日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下	⑤河原秀樹「第五学年『これからの食料生産とわたしたち』：農業の発展について多角的に考える」『初等教育資料』東洋館出版社（2021）pp.62-65

<p>がったからと考え、 対策として機械化や 輸出強化を挙げている 授業</p>	<p>⑥池沼夏郎「グローバル化した社会を学ぶ小学校社会科学習 - 食料の輸出入を事例に食料生産の発展を考える - 」『日本社会科教育学会全国大学発表論文集第 18 号』日本社会科教育学会 (2022)</p>
--	--

**第 2 項 「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」とその課題**

まず、「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」である。この授業として、河野 (2020)「持続可能な社会の創りに求められる批判的思考力の育成：小学校社会科第 5 学年『これからの食料生産』をとおして」を取り上げる。この授業は、我が国の食料生産事情から問題を見出し、食料生産が果たす役割や持続可能な食料生産を行うためにどのような取組が求められているかを考える学習である。単元は全 8 時間構成で、学習過程は【表 2】に示すとおりである。

**【表 2】学習過程 (①より引用)**

<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の食料自給の状況を知り、その背景にある消費者のくらしの様子や生産者の思い、また食料生産に関わる環境への影響を理解する。</li> <li>・地産地消の良さを多角的・多面的に着目し、なぜ食料自給率の低さが問題になるのかを考える。</li> <li>・さまざまな情報を取捨選択し、食料自給や地産地消の良さについて意欲的に調べるとともに、これからの安定的な食料供給のために身近なところでできることに目を向ける。</li> </ul>			
<p>時</p>	<p>本時の目標</p>	<p>主発問</p>	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
<p>1</p>	<p>食料が様々な国から届けられていることに気づく。</p>	<p>私たちの食べ物はどこから来るのだろう。</p>	<p>・どんな食べ物がどこから来たかを調べる。</p>	<p>広告に掲載される食材の産地を地図上に示して、特徴に気づかせる。</p>
<p>2</p>	<p>食料自給率が下がった原因について、背景を理解する。</p>	<p>なぜ食料自給率は下がったのだろう。</p>	<p>・日本と諸外国の自給率を比較し、なぜ低下したのかを調べる。</p>	<p>生活スタイルの変化等の要因に気づかせる。</p>
<p>3</p>	<p>食料自給率が低いことでどのようなリスクがあるのかを調べる。</p>	<p>なぜ食料自給率は高い方がいいのだろう。</p>	<p>・農林水産省の HP や資料から「食料自給率の低下による安定供給のリスク」について理解する。</p>	<p>自身のため輸送が困難になった事例から、国内産であっても安定供給のリスクがあることに気づかせる。</p>

4 5	国産、地域食材を利用することのメリットを消費者の視点から考える。	なぜ調理員さんやおうちの人には国産の食材を買おうとするのだろう。	・給食調理員、保護者から聞き取りを行い、国産や地域食材にこだわる理由を調べる。	安全・安心な食材を求めていることに気づかせるとともに、地産地消にこだわる難しさや輸入品のメリットについても理解させる。
6	国産、地域食材を利用することのメリットを生産者の視点から考える。	農家Tさんは、地域で農業を続けるにはどんな理由があるのだろう。	・見学した農家の人の話を思い出させ、農業の価値を整理する。	農業を続ける難しさがあるにもかかわらず、転職して農業を始めた背景を思い出させ、農業の価値を考えさせる。
7	地産地消を実現することの価値を多面的に理解する。	地産地消の良さとは何だろう。	・地産地消の良さを整理し、地産地消を実現した食卓を考える。	地産地消には安定供給以外にも多様な価値があることに気づかせる。
8	地産地消を実現するために、消費者にできることを考える。	地産地消を実現するために、どんなことができるだろう。	・私たちにできることを話し合う。	地産地消をすすめるための様々な取組を紹介する。地産地消を実現する難しさに目を向ける。

この授業では第4時から第6時の間で3人の他者へアクセスすることで、子どもたちに地産地消の価値を捉え直させている。学級でまとめた地産地消の価値は、当初は安定供給や安全といった消費者視点のものを挙げている児童が多かったが、時数を進めるにつれて、地域経済や防災、生物多様性などの視点から地産地消を価値づけることができるようになっていく。その後の学習では自身の食事を見直し、いかに自分が無関心であったか気づかせ、地産地消のアイデアを出し合っている。ここではあえて地産地消の難しさを語り合うことで、その難しさを認識したうえで、さらに自分に何ができるか考えている。この第8時の振り返りを大きく分けると、「A 地産地消を進めるべきだと考えている（難しさへの言及はない）」「B 地産地消の難しさを踏まえて、現時点でできることを考えている」「C 地産地消の難しさを踏まえて、家族や社会の協力が必要と考えている」「D 地産地消は現時点では解決できないと考えている」という4つになる。振り返りの内容については【表3】の通りである。学級としては「地産地消をすすめるべきだ」という社会の在り方を結論として導いていた。

【表3】第8時の振り返り（①より引用）

	人	振り返りの例
A 地産地消を進めるべ	3	環境のためなら、どうせ買うなら、ちゃんと環境に良い食

きだと考えている。(難しさへの言及はない)		べ物を買ったらいいと思う。そして、安全なものの方を選んで買うことが大事だと思う。
B 地産地消の難しさを踏まえて、現時点でできることを考えようとしている。	8	買い物はお母さん任せやけど、自分たちにできる地産地消は、買った地産のものを無駄なくすることだとわかった。調理員さんが「たくさんそろえるのが大変」と言っていたから、地産の物が売れるようになると、また生産量は増えるんじゃないかなと思った。
C 地産地消の難しさを踏まえて、家族や社会の協力が必要だと考えている。	10	子どもが好きな食べ物は洋食が多いから、〇〇が「洋食になるから外国のもの食べて、地産地消できない」と言っていたから、和食ならいいなって思った。そうするためにも、自分の家で食卓をならべてもらうのもいいなあと思った。でも全部和食だからと言って完全に地産地消というわけでもない。
D 地産地消は現時点では解決不可能と考えている。	3	僕のご飯は、明太子とおにぎり以外、外国産のものでした。それで、どれだけがんばっても全部地元のものであるのは無理かなと思います。
E その他	5	
話し合った結果導いた児童の取組例		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外食をしない…レストランには季節を問わず、洋食和食中華と何でも食べることができ、地産地消ではないと考えられるから</li> <li>・地産地消のイベントに行く…地産地消のイベントでは地元の食材を使っているはずだから</li> <li>・和食を食べる…和食には国産品で作れるものが多いから</li> <li>・食べ物を残さない…残さなければ、「売れる」と判断されて農家がまた出荷できるから。</li> </ul>		

以上のような学習が、「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」である。このような学習は、児童が自分自身の生活を見直し、社会の一員としてできることはなにか考えることができる点で評価できる。

しかしながら、このような「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」は、私たち消費者の努力で食料自給率を上げれば問題を解決できるという認識を持たせている点で課題があるのではないだろうか。なぜなら、食料自給率の高い国々は、地産地消のような消費者の努力によって食料自給率を高く保っているわけではないからである。諸外国、特にカナダ・フランス・アメリカをはじめとする欧米諸国と比べて日本の食料自給率は著しく低い。そのため、これらの国のように食料自給率を上げるためには私たち消費者が輸入品ではなく積極的に地元でとれた食料品

を購入することが大切であることは確かである。実際に、先ほど挙げた河野（2020）の授業でも取り上げられている地産地消の多角的・多面的な意義から考えても、地産地消を推奨すること自体は生産者消費者どちらの立場からもメリットは多い。しかし、食料自給率を上げるための解決策として挙げるには不十分な点があると考え。食料自給率の高い欧米諸国、特に 100%を超えている国は国民のすべての食料を国産のものでまかなっているかという点、そのようなことはない。例えば、UNCTAD（国際連合貿易開発会議）の公開している、2018 年のアメリカの農産物・食料品の貿易額はどちらも世界トップである。食料自給率は 100%を優に超えているが大量の食料品を輸入しているということは、地産地消をすることによって食料自給率を維持しているというわけではないことが分かる。フランスやカナダも同様に、輸出額、輸入額ともに高い数値を誇っているため同じことが考えられる。そのため、「日本の食料自給率が下がった原因を主に食生活が変化したからと考え、対策として地産地消を挙げている授業」では、地産地消などを行い自分たちの食生活を改善すれば欧米諸国のように自給率を上げることができるという誤った認識を児童がしてしまう。

### 第3項 日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」とその課題

次に、「日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」である。この授業として、河原（2021）の「第五学年『これからの食料生産とわたしたち』：農業の発展について多角的に考える」を取り上げる。

この授業は全 25 時間で主に 4 つの活動で構成されており、単元の構造は【表 4】の通りである。

【表 4】単元の構造図（⑤より筆者作成）

活動Ⅰ	自分たちの食べているものを調べよう。（1～5 時間目） ・ コメ袋や魚のトレイ、食品のパッケージを集め、地図に位置付ける。 ・ 自分たちの食生活を支える食料生産に目を向け、単元の学習問題をつくる。
わたしたちの食生活はどのように支えられているのだろうか？	
活動Ⅱ	米農家の工夫や努力を捉える（6～14 時間目） ・ 米はどのようにつくられているのかな。 ・ なぜ、品種改良をするのかな。 ・ なぜ、雪中米は値段が下がらないのかな。 ・ なぜ、補助金を出してまで農家を募集するのかな。
活動Ⅲ	水産業に携わる人の工夫や努力を捉える（15～21 時間目）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物は、どのように獲るのかな。</li> <li>・なぜ、根室と札幌ではサンマの値段が違うのかな。</li> <li>・なぜ、留萌の漁師さんはナマコを海に戻すのかな。</li> </ul>
活動Ⅳ	食料生産をめぐる問題点を捉える（22～25 時間目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、食料自給率が低いのかな。</li> <li>・なぜ、植物工場を作るのかな。</li> <li>・なぜ、お金をかけてまで人工知能技術による機械化を進めるのかな。</li> </ul>
まとめ	私たちの胃袋は、品質を保持したり資源を保護したりしながら生産された食料で支えられているんだ。そして、食料をこれからもずっと生産し続けられるように工夫したり、努力したりする人のおかげで食べ続けられるんだ。

この単元は、米農家や JA、国や地方公共団体、農業試験場、漁師、漁業協同組合、農業に新規参入する工業生産に携わる人など、様々な立場から社会的事象の意味を理解できるようにデザインされている。また、消費者である自分や国民と生産者のつながりを捉えられるようにするため、自分たちの胃袋を支えるための食料生産であることを意識させながら、単元を通して多角的に考えることができるようにしている。

活動Ⅰでは、家庭から集めたコメ袋や食品トレイを地図に位置付ける活動を通して、自分の生活と食料生産のつながりを感じられるよう工夫している。その後単元を貫く学習課題である「わたしたちの胃袋を支えているひみつ！わたしたちの食生活はどのように支えられているのだろう？」を設定している。

活動Ⅱでは、米農家と JA 職員への聞き取り調査および米作りの模擬体験を行っている。ここでは、広い田んぼで害虫からコメを守り大切に育てていること、精米機で精米し消費者に米を育てていること、農家と JA が協力しながら肥料を決めていることなどを聞くことで、農家の人の工夫や努力を捉えている。また、社会科の授業と別に総合的な学習の時間では、学校の畑で一人一人が農作物を栽培したり、バケツ稲作りなどをしたりする活動を取り入れ、農家の人の仕事の苦労を実感的に捉えている。

活動Ⅲでは、サンマの価格から、水産業に携わる人々の関係を捉えている。根室産のサンマの札幌と根室での価格を比較することを通して、自分たちのもとに届くまでに、鮮度を保持しながら、漁師、漁業協同組合、トラックの運転手、小売店で働く人など、様々な人の協力関係が見えるようになっている。

最後に活動Ⅳである。ここでは人工知能技術を活用した事例として、植物工場の取組と無人トラクターの取組を考えたうえで、農業の発展について考える。まず、植物工場の取組について考える段階である。この実践者の勤務する北海道では、工業生産を行う会社が植物工場を設立し、人工知能技術を活用して、リーフレタスやトマトなどを栽培している。そして「なぜ、工業生産をする会社なのに、植物工場を作ったの？」という問いを生み、その意味

を考える授業を行っている。ここでの気づきは、「気候に関係なく安定した生産が可能であること」「工場の中は畑ではないため、害虫から野菜を守ることが可能なこと」「農家のような長年の経験がなくても持続可能な生産活動ができること」の3つである。また、工場見学に行った際、人工知能技術によってコンピューターで水分量や糖度を調整割いているトマトを試食することで、品質の向上などによるブランド化にも気づいていった。この段階での児童の考えは【表5】の通りである。次に、無人トラクターの取組について考える段階である。授業では、「なぜ農家の人は（高額な設備投資をしてまで）無人トラクターを導入するの？」という問いをたて、考えている。ここでは、農家の大変さ、高齢化の問題、就農人口の減少などの我が国の課題を解決するための方法であるという考えになっている。最後に農業の発展について考える段階である。ここではこれまでの学習を活かしながら、農業の発展について考えている。具体的な児童の考えは【表6】の通りである。

【表5】児童による生産者と消費者それぞれの立場での考え（⑤より筆者作成）

生産者の立場からの考え	消費者の立場からの考え
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無人トラクターが耕作している間に、農家の人は他のことに時間が使える。空いた時間を活用して新しい作物も作れる。効率的だ。</li> <li>・農家の人は腰が楽になるし、自動運転で事故も減らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の問題や農家の高齢化などの問題点を解消することができる。自分たちが食べ続けるためには必要なことだ。</li> <li>・見学した農家さんのように愛情を込めて作物を作ってほしい。農家の人経験や勘が無くなってしまうのも困る。</li> </ul>

【表6】農業の発展についての考え（⑤より筆者作成）

A 児の考え	B 児の考え	C 児の考え
<p>植物工場のように、工業の人も農業をやるようになっている。いろいろな人がつながってみんなで生産を安定させていく必要があるのかもしれない。自分たちも食べることで、食料自給率を上げることに貢献したい。</p>	<p>日本の食料生産が外国に負けないようにするためには、最先端の技術を活用した生産方法が必要だと思う。未来の生産方法はますます進化していくはずだ。</p>	<p>これからも食べ続けていくためには、持続可能な食料生産が大切だと思う。地球温暖化で作物が取れなくなることもある。環境のことも考えた生産が必要だ。</p>

以上のような学習が、「日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」である。このような学習は、生産力の増強という食料自給率を上げるために必須の対策について、具体的に行っている

事例と共に検討している点で評価できる。

しかしながら、このような「日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」では、生産者の努力によって食料自給率を上げれば問題を解決できるという認識を持たせている点で課題があるのではないだろうか。なぜなら、食料自給率の高い国々の農業は、国からの高い補助金や農業予算によって成り立っているのであり、生産者個人の努力のみによって成し遂げられているわけではないからである。例えば農業所得に占める補助金の割合は、日本が 30.2%のところ、スイスは 104.8%、フランスは 94.7%、ドイツは 69.7%、イギリスは 90.5%と非常に高い。また、アメリカは農業所得に占める補助金の割合は 35.2%と低いですが、農業生産額に対する農業予算比率は 75.4%と、日本の 38.2%と比べてもかなり高い。国から収入を保障されている状態で行う農業とそうでない農業では、農業従事者の数も大きく変わり、ひいては農業生産量にも影響してくると考える。そのため、「日本の食料自給率が下がった原因を日本の農業の生産力が下がったからと考え、対策として機械化や輸出強化を挙げている授業」では、農業従事者の努力があれば食料自給率を大幅に上げることができるという誤った認識をさせてしまう。

## 第2章 政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の授業構成の実際

### 第1節 授業構成の実際 - 単元「これからの食料生産」 -

単元「これからの食料生産」の授業計画は、【資料1】の通りである。

#### 【資料1】 単元「これからの食料生産」の授業計画

##### 1. 単元「これからの食料生産」

##### 2. 単元の目標

- (1) 日本は農業に対する補助金が欧米諸国と比べて低いことを理解できる。(第1次)
- (2) 日本では主な貿易相手国であるアメリカとの交渉に苦勞してきたため、補助金を増やすにも難しい状況にあったことを理解できる。(第1次)
- (3) 日本の農業従事者は、品種改良や高い品質保持の検査等を行い、安い海外産の作物に対抗してきたことを理解できる。(第2次)
- (4) 食料自給率を上げるためには、地産地消や農業補助金を増やすことを両輪で行うことが大切であるということを理解できる。(第3次)

##### 3. 単元の構想

次	MQ	MA
1	・なぜ日本の食料自給率は低いのだろうか。	・農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉が難しい状況にあるから。
2	・食料自給率を上げるために、農家の人たちはどんな努力をしてきたのだろうか。	・品種改良や品質保持に取り組み、質の高さで海外産の作物と勝負してきた。
3	・どうやったら食料自給率を上げることができるだろうか。	・消費者としては地産地消をできるだけ行うこと。納税者としては、税金を使って農業に補助金をいれること。

##### 4. 単元の授業計画

###### (1) 第1次 本時の展開 (○…メインクエスト)

過程	教師の指示や発問	教授学習活動	資料	児童に習得させたい知識及び予想される児童の反応
導入	・自給率とはなんだったか。	T 発問する S 答える		・日本で食べられている食料の内、国内で生産されたものがどれくらいか表した割合。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のグラフを確認しよう。日本の食料自給率は他国と比べてどうか。</li> <li>・日本の食料自給率はなぜ低いのだろうか。</li> <li>・資料を見てみよう。輸入ランキングの上位はどこか。</li> <li>・先ほどの食料自給率の高い国として挙げられていた国はこのランキングの上位に入っているか。</li> <li>・輸入が多いと食料自給率は低いといえるか。</li> <li>○なぜ日本の食料自給率は低いのだろうか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かなり低い</li> </ul> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん輸入しているから。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ</li> <li>・中国</li> <li>・フランスなど</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入っている</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いない</li> </ul>
<p>展開 1</p> <p>補助金 が多い と食</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この表はなにを表しているだろうか。</li> <li>・補助金ってなんだろう。</li> <li>・農業で考えると、足りない分はなにを指すだろうか。</li> <li>・実はこれに加えて、欧米</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 説明する</p>	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業所得に占める補助金の割合と農業生産額に対する農業予算比率</li> <li>・足りない分を補うためのお金</li> <li>・農産物の売り上げだけではカバーできない、生産に必要なお金（機械に使うお金など）</li> </ul>

料 自 給 率 が 上 が る こ と を 理 解 す る 段 階	諸国の補助金は、農家の 人の収入が下がったとき の収入を保障する役割も 持っている。			
	・表からどんなことがわ かるだろうか。	T 発問する S 答える		・ヨーロッパの国々は補助金の割 合が高い ・日本は補助金の割合が低い ・アメリカは農業生産額に対する 農業予算比率が高い
	・補助金や予算が多いこ とと食料自給率の高さは どんな関係がありそう か。	T 発問する S 答える		・補助金や予算が多い国は食料自 給率も高い
	・補助金を出すとなぜ自 給率があがるのだろう か。	T 発問する S 予想する		<児童の予想> ・農家の人の収入が安定し、農業を 続けやすくなるから。 ・機械などたくさん作るための道 具を買って使うことができるよう になるから。
	・これらの補助金は誰が 出すのだろうか。	T 発問する S 答える		・国 ・地方自治体
	・国や地方自治体を使う お金はどこから出ている のだろうか。	T 発問する S 答える		・私たちが払っている税金
	・日本は農業に対して税 金を使っていると言える か。	T 発問する S 答える		・言えない
・なぜ日本は農業に対し て税金をあまり使ってい	T 発問する S 予想する		<児童の予想> ・お金がないから	

	<p>ないのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパではなぜ農業にたくさん補助金を入れているのだろうか。図から考えてみよう。農業にはどんな役割がありそうか。</li> <li>・この恵みを受けられるのは誰だろうか。</li> <li>・全員が恵みを受けられるならば、補助金をたくさん出すことに納得はいくか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水をつくる</li> <li>・洪水を防ぐ</li> <li>・土砂崩れを防ぐ</li> </ul> <p>・国民全員</p> <p>・納得がいく</p>
<p>展開 2</p> <p>日本が補助金を増やせなかった理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ日本は欧米諸国のように補助金を拠出しなないのだろうか。</li> <li>・資料を見てみよう。なにについて書いてあるか。</li> <li>・これは貿易に関わる国同士の話合いの資料で、アメリカ、ヨーロッパ、日本、カナダが主に話し合っている。</li> <li>・日本の補助金について他国が話し合いをしているのはなぜだろうか。</li> <li>・資料を見てみよう。日本はどここの国と貿易してい</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 説明する</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>	<p>⑤</p> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金が足りないから</li> <li>・補助金</li> <li>・わからない</li> <li>・アメリカ</li> </ul> <p>⑥</p>

由 を 理 解 す る 段 階	るだろうか。			
	・割合を見てみよう。日本にとってアメリカの割合はどれくらいか。	T 発問する S 答える		・ 31.7%
	・二位以下の国の割合と比べるとどうか。	T 発問する S 答える		・ 圧倒的に多い
	・アメリカの貿易相手国を見てみよう。日本は何位か。	T 発問する S 答える	⑦	・ 3 位
	・割合でいうと何%か。	T 発問する S 答える		・ 12.3%
	・資料を見てみよう。日本はアメリカへの輸出でどれくらい稼いでいるか。	T 発問する S 答える	⑧	・ 918 億 2300 万ドル
	・アメリカは日本への輸出でどれくらい稼いでいるか。	T 発問する S 答える		・ 436 億 3600 万ドル
	・差はどれくらいあるか。	T 発問する S 答える		・ 約 500 億ドル
	・自分がアメリカの立場だったら日本に対してどう思うか。	T 発問する S 答える		・ 日本ばかり稼いでいる
・このあとアメリカは日本に対してなにをたくさん輸出するようになったらどうか。資料を見ながら、アメリカの立場にな	T 発問する S 答える	⑨	・ 日本は工業製品ばかりで農産物は輸出していないから、トウモロコシや小麦などの農産物を日本に輸出するようになった	

	<p>って考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にアメリカは日本に農産物の輸出を増やしたが、ただ輸出量を増やしたけなのだろうか。</li> <li>・先ほどの話し合いの資料を見てみよう。なにについて話し合っていたか。</li> <li>・日本が農業にたくさん補助金を出したら、他国にとってなにか問題なのだろうか。</li> <li>・日本はなぜ欧米諸国のように補助金を拠出できないのだろうか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・補助金</li> <li>・農産物を輸入してくれなくなるかもしれない。</li> <li>・工業製品で儲けており、農産物を輸入せざるを得ない状況になっているから。</li> </ul>
終 結	○日本の食料自給率はなぜ低いのだろうか。	T 発問する S 答える		・農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉が難しい状況にあるから。

(2) 第2次 本時の展開 (○…メインクエスト)

過程	教師の指示や発問	教授学習活動	資料	児童に習得させたい知識及び予想される児童の反応
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の学習から、日本の食料自給率はなぜ低いのだろうか。</li> <li>・最初に見た食料自給率のグラフをもう一度見てみよう。日本の食料自給率</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉が難しい状況にあるから。</li> <li>・ずっと減っている。</li> </ul>

	<p>はどう変化しているか。</p> <p>・減り方を見てみよう。急激に減っているか。</p> <p>・補助金も少なく、安い海外製品がたくさん入ってきたら急激に減りそうだが、なぜ急激には減っていないのだろうか。</p> <p>○食料自給率を上げるために、農家の人たちはどんな努力をしてきたのだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p> <p>T 発問する</p>		<p>・ゆるやかに減っている。</p> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <p>・上げるためになにかしてきたから。</p>
展開1	<p>・動画を見てみよう。ミカン農家の人たちはどんな状況になっていたか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p>	⑩	<p>・アメリカからオレンジがたくさん入って来た。</p> <p>・ミカンの消費量が最盛期の 1/3 以下になった。</p>
ミカン農家の例から農家の人の努力	<p>・自分たちがミカン農家の人の立場だったらどう対応していくか、考えてみよう。</p> <p>・ミカン農家の人たちがどうしていったのか、動画の続きを見てみよう。</p> <p>・ミカン農家の人たちはどう対応していったか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 指示する</p> <p>T 発問する S 答える</p>	⑪	<p>&lt;予想される児童の考え&gt;</p> <p>・海外のものより安く生産できる方法を考える。</p> <p>・海外のものより甘かったり剥きやすかったりする質のいいミカンをつくる。</p> <p>・ミカン以外の作物をつくる。</p> <p>・品種改良をおこなった</p>

を 理 解 す る 段 階	・品種改良ってなんだろう。	T 発問する S 答える		・いまある品種をよりよくすること。
	・資料を見てみよう。どんなことがわかるか。	T 発問する S 答える	⑫	・同じミカンでもいろいろな種類がある。 ・1つ1つに名前がついている
	・熊本にゆかりのあるミカンはどれかわかるか。	T 発問する S 答える		・デコポン
	・デコポンの横に「シラヌイ」という名前も書いてあるが、これはどういうことだろうか。	T 発問する S 予想する		<児童の予想> ・別の名前があるということ ・地域によって呼び名が違うのかも
	・資料を見てみよう。デコポンになるためにはどんな基準があるか。	T 発問する S 答える	⑬	・糖度 13.0 度以上 ・酸度 1.0 度以下 ・熊本県果実農業協同組合連合会が許諾した JA を通じて出荷されたもの。
	・糖度と酸度を満たしているが、許可した JA 以外から出したものは、デコポンとシラヌイどちらになるだろうか。	T 発問する S 答える		・シラヌイ
	・なぜ許可した JA 以外だとダメなのだろうか。	T 発問する S 答える		・品質管理がしっかり行えているかなど管理するのが難しいから。
	・このように名前をつけ、厳格な品質管理をしているものをブランド品と言う。  ・名前を付けて厳格な品	T 説明する  T 発問する		・高くなりそう

	<p>質管理をして作られた作物の値段は、海外産の作物と比べてどうなりそうか。</p> <p>・海外産の作物よりも高いのになぜ売れるのだろうか。</p>	<p>S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>		<p>・品質管理をしっかりと行っており、おいしいから。</p> <p>・名前を見ただけでいいものとわかるから。</p>
展開 2	<p>・外国からたくさん安い作物が入ってきたのはミカンだけだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p>		<p>・他の作物もありそう。</p>
他の作物でも同様のことが行われるという理解	<p>・ミカンのように名前をつけて値段を上げ、質の高さで勝負したブランド品はどんなものがあるだろうか。</p> <p>・いちごだとどんなブランドがあるか。</p> <p>・りんごはどうか。</p> <p>・牛肉を取り上げてみよう。ブランド牛にはどんなものがあるか。</p> <p>・資料を見てみよう。これらの牛はどうやって品質管理をおこなっているのだろうか。</p> <p>・定義を見ていこう。1つ</p>	<p>T 発問する S 予想する</p> <p>T 発問する S 答える</p>	⑭	<p>&lt;児童の予想&gt;</p> <p>・牛肉</p> <p>・いちご</p> <p>・りんご</p> <p>・あまおう</p> <p>・とちおとめ</p> <p>・ベリーツなど</p> <p>・サンつがる</p> <p>・王林など</p> <p>・松阪牛</p> <p>・豊後牛</p> <p>・近江牛など</p> <p>・厳格な定義を決めて、それをクリアしたものだけを出荷している。</p> <p>・黒毛和種のまだ出産していない</p>

<p>する段階</p>	<p>目の定義はどういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オスではだめなんだろうか。</li> <li>・下 2 つを見てみよう。「松阪牛生産区」とあるが、この地域以外で育てたらだめなのか。</li> <li>・これだけの厳格な基準だと値段は上がりそうだが、それでも売れるのはなぜだろうか。</li> </ul>	<p>S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p>	<p>メス の牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メスじゃないと松阪牛になれない。</li> <li>・この地域で育てたものでないと松阪牛になれない。</li> </ul> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでもおいしいから売れる。</li> <li>・そのブランドへの信頼感があるから。</li> </ul>
<p>終結</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料自給率はなぜ急激に減らなかったのだろうか。</li> <li>・農家の人たちは日本の自給率を上げたいと思って努力したのだろうか。</li> <li>・結果として自給率が急激に下がるのを防いだといえる。</li> </ul> <p>○農家の人たちはどんな努力をしてきたのだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 説明する</p> <p>T 発問する S 答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の人たちが努力してきたから。</li> <li>・海外産の作物よりも自分たちの作物が売れるようにするため。</li> </ul> <p>・品種改良や品質保持に取り組み、質の高さで海外産の作物と勝負してきた。</p>

(3) 第3次 本時の展開 (○…メインクエスチョン)

<p>過程</p>	<p>教師の指示や発問</p>	<p>教授学習活動</p>	<p>資料</p>	<p>児童に習得させたい知識及び予想される児童の反応</p>
-----------	-----------------	---------------	-----------	--------------------------------

<p>導 入</p>	<p>・前時の学習から、農家の人たちはどんな努力をしてきたか。</p> <p>・グラフを見てみよう。食料自給率は上がったか。</p> <p>○どうやったら食料自給率を上げることができるだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する</p>	<p>・品種改良や品質保持をするための検査などをおこなってきた。</p> <p>①</p> <p>・上がっていない</p>
<p>展 開</p> <p>食 料 自 給 率 を 上 げ る た め に 大 切 な こ と を 考 え る 段</p>	<p>・食料自給率を上げるためにはなにが大切だろうか。ワークシートの○を埋めよう。</p> <p>&lt;地産地消の場合&gt;</p> <p>・なぜ地産地消が大切なのだろうか。</p> <p>・自分が実際に買う側の時、国産と外国産どちらを選ぶか。</p> <p>・どちらの方が値段が高いか。</p> <p>・毎日の買い物でもできそうか。</p> <p>&lt;補助金の場合&gt;</p> <p>・なぜ補助金が大切なのだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p>	<p>&lt;予想される児童の答え&gt;</p> <p>・地産地消</p> <p>・補助金をたくさん入れる</p> <p>・外国産ではなく地元のものを買ったら農家の人たちが助かるから。</p> <p>・自分たちにとっても安心して食べることができる</p> <p>・国産のもの</p> <p>・国産</p> <p>・わからない</p> <p>・補助金があれば農家の人たちが安心して生産できる。</p> <p>・収入が減って辞めるといようなことが無くなる。</p> <p>・便利な道具などを買うことができ</p>

階	<p>・補助金はどこからでるのだろうか。</p> <p>・税金を払っているのはだれか。</p> <p>・補助金を増やすというと、何かのお金を減らすか、私たちの税金の支払いが増える可能性もあるが、それでもいいだろうか。</p> <p>&lt;全体に&gt;</p> <p>・地産地消と補助金を増やすことのどちらを選ぶか。議論してみよう。</p> <p>・地産地消と補助金を増やすことは対立するだろうか。</p> <p>・地産地消の場合値段が気になったが、補助金を入れた場合値段はどうなるだろうか。</p> <p>・病院の例を考えてみよう。資料を見てみよう。この場合患者さんが負担している金額はどれくらいと書いてあるか。</p> <p>・3割負担ということは、</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する</p>	<p>る。</p> <p>・税金</p> <p>・私たち</p> <p>・自分たちの負担がこれ以上増えると困るかも。</p> <p>・地産地消 ・補助金 ・わからない</p> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <p>・わからない</p> <p>・わからない。</p> <p>⑮ ・3割</p> <p>・国</p>
---	--	--	--

	<p>治療で本当にかかっている値段はだいたい 4000 円くらいになる。残りの金額は誰が払っているか。</p> <p>・つまり税金で支払われているということになる。3割負担なのは国民全員か。</p> <p>・もし 10 割負担だったら今と比べて病院に行く回数はどうなりそうか。</p> <p>・農業に補助金が入ったら値段はどうなるだろうか。</p> <p>・補助金と地産地消は対立するのだろうか。</p>	<p>S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p>	<p>・全員</p> <p>・減りそう</p> <p>&lt;児童の予想&gt; ・税金が入るから安くなるかもしれない。</p> <p>・しない</p>
終 結	<p>○どうやったら食料自給率を上げることができるだろうか。</p>	<p>T 発問する S 答える</p>	<p>・消費者としては地産地消をできるだけ行うこと。納税者としては、税金を使って農業に補助金をいれること。</p>

## 5. 単元の授業資料

①グラフ「日本と主な国の食料自給率」東京書籍『新しい社会 5 上』 p.115 (2022)

②グラフ「世界の農産物・食料品の貿易額ランキングチャート」世界事典 (2018)

<https://theworldict.com/rankings/agricultural-trade/> (最終閲覧日 2024/01/10)

③表「農業所得に占める補助金の割合 (A) と農業生産額に対する農業予算比率 (B)」鈴木宣弘『農業消滅』平凡社 (2021) p.152 より授業者作成

単位：%	A	B
日本	38.2	38.2
アメリカ	42.5	75.4
スイス	112.5	—
フランス	65.0	44.4

④図「農業の多面的機能」農林水産省

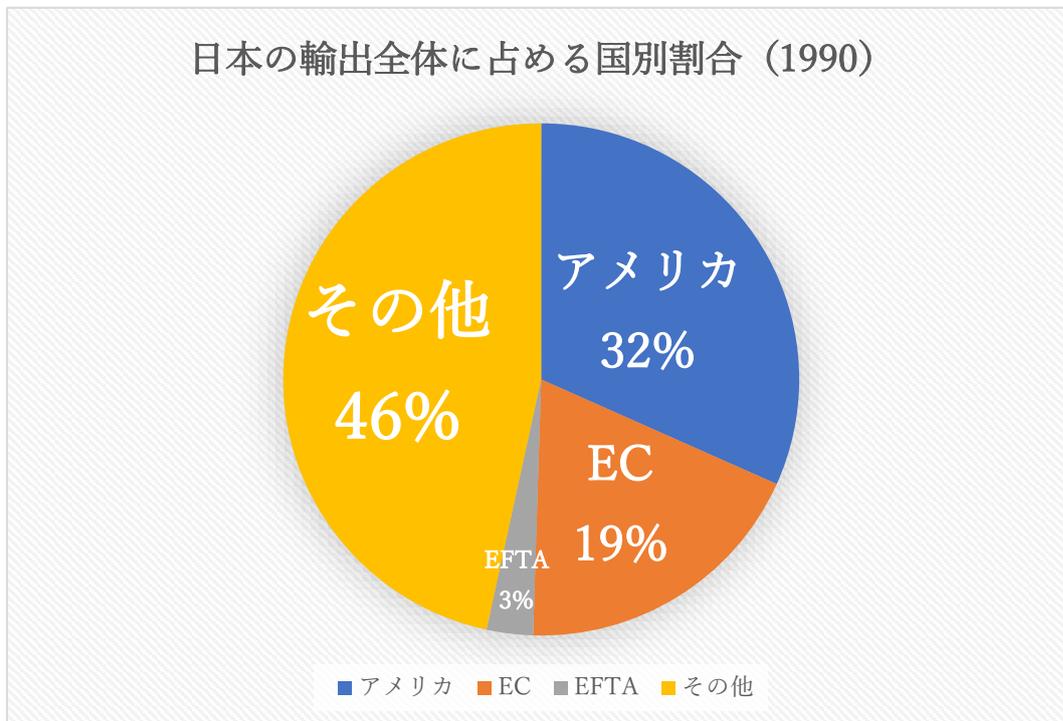
[https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo\\_kinou/](https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/) (最終閲覧日 2024/01/10)

⑤文章資料「話し合いの内容」笹口裕二「農産物自由化と農業政策 - TPP 交渉大筋合意を受けて - 」『立法と調査/参議院事務局企画調整室編』 pp.83-97 (2016)

「1986 年に開始されたウルグアイ・ラウンド交渉では、農産物の輸出補助政策をめぐる対立を背景に、これまでの輸入自由化の議論に加え、(中略) 補助金の在り方が議論となり、(中略) 国内農業政策までが交渉の対象となった。」

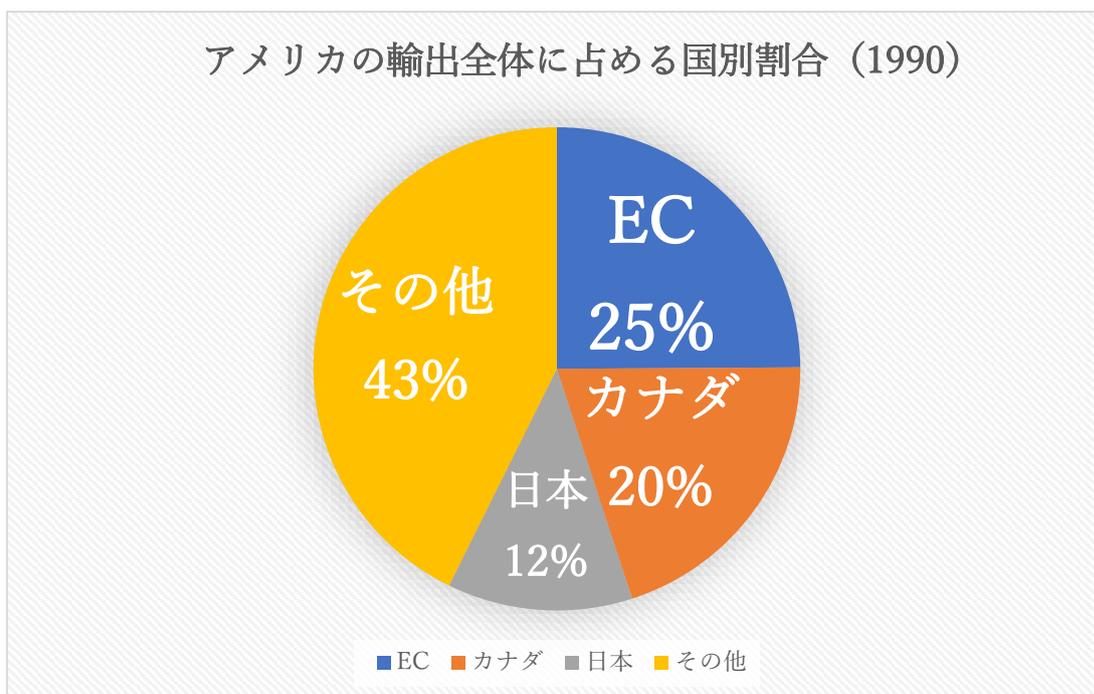
⑥グラフ「日本の輸出全体に占める国別割合（1990）」

「世界国勢図会 1992-1993」 編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成



⑦グラフ「アメリカの輸出全体に占める国別割合（1990）」

「世界国勢図会 1992-1993」 編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成



⑧「アメリカと日本の輸出額」

「世界国勢図会 1992-1993」編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成

	(ドル)
アメリカ→日本への輸出額	436億3600万
日本→アメリカへの輸出額	918億2300万

⑨「アメリカと日本の輸出品内訳」

「世界国勢図会 1992-1993」編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成

アメリカ	(百万ドル)	日本	(百万ドル)
機械類	105651	機械類	129437
自動車	26102	自動車	61810
航空機	24048	精密機械	13846
精密機械	10763	鉄鋼	12509
薬品	10763	繊維品	5793
プラスチック	7979	薬品	5640
トウモロコシ	6691	船舶	5236
小麦	5913	金属製品	4632
その他	165724	その他	48045

⑩動画「オレンジの輸入による影響」(0:00～1:10)NHK for school (最終閲覧日 2024/01/10)

[https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das\\_id=D0005402178\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005402178_00000)

⑪動画「オレンジの輸入による影響」(1:10～1:49)NHK for school (最終閲覧日 2024/01/10)

[https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das\\_id=D0005402178\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005402178_00000)

⑫写真「みかんの種類」旬の食材百科 (最終閲覧日 2024/01/10)

<https://www.foodslink.jp/syokuzaihyakka/syun/fruit/kankitu-top.htm>

⑬図「デコポンの基準」早和果樹園 (最終閲覧日 2024/01/10)

<https://sowakajuen.com/articles/citrus-dictionary/deference-between-dekopon-and-siranui/>

⑭文章資料「松阪牛の定義」松阪牛協議会（最終閲覧日 2024/01/10）

<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/matsusakaushi/matsusakaushitowa.html>

⑮写真「歯科医院の領収証」授業者撮影

### 領 収 証

患者番号	氏 名		請 求 期 間				
	様		令和03年01月13日				
受診科	入・外	領収証No.	発 行 日	費用区分	負担割合	本・家	区分
歯科	外来		令和03年01月13日	社保	3割	家族	
保 険	初・再診	入院料等	医学管理等	在宅医療	検 査	画像診断	投 薬
	57点	0点	110点	0点	0点	0点	0点
	注 射	リハビリ	処 置	手 術	麻 酔	放射線治療	歯冠修復 及び欠損補綴
	0点	0点	228点	0点	0点	0点	0点
	歯科矯正	病理診断	食事療養	生活療養	※厚生労働省が定める診療報酬や薬価等には、医療機関等が 仕入品等に負担する消費税が反映されています。		
	0点	0点	0円	0円			
保険外 負 担	評価療養・選定療養/その他			保 険		保険外負担	
				総点数	395点	請求額	0円
				負担額	1,190円	領収額	0円
備 考				領収額	1,190円	内消費税	0円
				領収額 合 計	1,190円		

CS  
印紙税法  
課税の場定  
により収入  
印紙不要

・(※)は、軽減税率対象です。  
・領収書の再発行は致しません。  
この領収証は確定申告の際、医療費控除に  
利用できますので、大切に保管してください。



6. 単元のワークシート  
 (1) 第1次

学習課題：なぜ日本の食料自給率は低いのか考えよう。

○補助金について

単位：%	補助金の割合	予算の割合
日本	38.2%	38.2%
アメリカ	42.5%	75.4%
イギリス	81.9%	63.2%
フランス	65.0%	44.4%

Q：補助金や予算が多いことと、食料自給率の高さにはどんな関係があるだろうか。

↓

↓

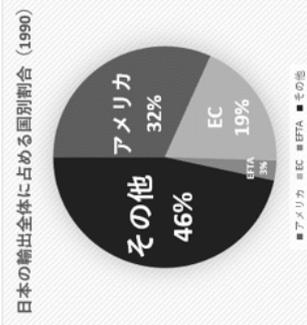
↓

↓

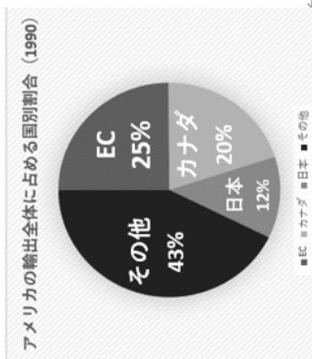
教科書記載の食料自給率のグラフ(授業資料①)を掲載

補助金って？  
 足りない分をカバーするためのお金。ヨーロッパやアメリカでは農家の人たちの収入が少なくなったら時にカバールのお金としても使われるよ！  
 このお金は私たちが払っている(① 税金 )から出ているよ。

○日本と他国の関係



日本にとってアメリカは(② )位



アメリカにとって日本は(③ )位

自分がアメリカの立場だったら日本になにを輸出する？それはなぜ？

.....

.....

なぜ日本の食料自給率は低いのだろうか？  
 農業に対する(④ 補助金)が少なく、増やそうとしても他国との(⑤ 話し合い)がむずかしい状況にあるから。

学習課題：食料自給率を上げるために、農家の人たちはどんな努力をしてきたのか考えよう。

○ミカン農家の努力

Q：自分がミカン農家だったらどんな対応をする？

.....

.....



実際は・・・

(① 品種改良 )

をおこなった！

○さまざまな農家の努力

ミカンのような (② ブランド ) 作物はたくさん！

例：.....

.....

このような作物の値段は (③安い・高い)

Q：なぜみんなが買うのだろうか？

.....

.....

.....

農家の人たちはどんな努力をしてきたのだろうか？

(④ 品種改良 ) や (⑤ 質 ) の良い作物づくりに取り組み、海外産の作物と勝負してきた。



## 第2節 実験授業の発話記録

本実践における授業の発話記録は【巻末資料1】に掲載している通りである。

## 第3節 実験授業の実施状況と結果の分析

### 第1項 実験授業の状況

単元「これからの食料生産」の実験授業は実習校である公立小学校において、全3時間で【表7】の通り行った。

【表7】実験授業の実施状況

学級	次	実施年月日	校時	出席者
5年1組	1	2023/11/15	4	32人
	2	2023/11/16	4	31人
	3	2023/11/17	4	29人
5年2組	1	2023/11/21	2	28人
	2	2023/11/22	5	32人
	3	2023/11/24	1	30人

### 第2項 結果の分析

本項では、実験授業の前後に実施したアンケートと、第3次におけるワークシートの記述について見ていく。アンケートについては、授業前後に同じものを実施している。アンケートの問いは以下の3つである。

- ①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。
- ②農家の人たちは、食料自給率を上げるためにどんな工夫や努力をしてきたと思いますか。
- ③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。

すべて記述式のアンケートを用意し、記入時間は5分を目安に実施した。

また、授業ワークシートにおける記述は、第3次で用いたワークシート(p.〇〇参照)における回答を記載している。第3次では、i)「食料自給率を上げるためにはなにが大切だろうか。」という問いに対し、まず個人の考えをワークシートに記入させた。その後、i)に対する自分の考えを、班や全体で議論したうえで、ii)「どうやったら食料自給率を上げることができるのだろうか。」という問いに対する自身の考えを、記入させた。【巻末資料2】はこれらの問いに対する児童の記述を記載している。

まず事前アンケートにおける「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」の回答を、輸入に頼っていることや農業従事者の減少など「生産側の視点」で考えている児童と、地産地消をしていないことや食生活が変化したことなど「消費側の視点」で考えている児童、そ

の他の児童にわせる。

【表8】事前アンケート「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」における児童の回答の分類

	生産側の視点	消費側の視点	生産と消費双方の視点	その他	未実施, 未回答
1組	22	6	1	3	2
2組	27	0	1	1	4

事前アンケート「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」における児童の回答を分類すると【表8】のようになる。1組2組ともに「輸入が多いから」「農業従事者が減っている」「農地面積が少ないから」などの生産側の視点から日本の食料自給率が低い理由を考えている児童が多い。このようなアンケート結果となった理由としては、教科書で米作りや食料生産について学習した際に、現在の日本の食料生産に関わるこれらの諸問題を学習したからだと考えられる。

続いて事前アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」を見る。ここでも「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」と同様に回答を、生産量をふやすことが大切であることなどの「生産側の努力」とみなしている児童と、地産地消をすることなどの「消費側の努力」とみなしている児童、その他の児童に分ける。

【表9】事前アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答の分類

	生産側の努力	消費側の努力	生産と消費双方の努力	その他	未実施, 未回答
1組	10	16	4	1	2
2組	15	5	3	5	5

事前アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答を分類すると【表9】のようになる。1組は生産者の努力と消費側の努力に分かれるような形となっているが、2組は生産側の努力についての記述の方が消費側の努力についての記述よりも10件多かった。事前アンケート「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」でも、2組は食料自給率が低い原因を生産側の視点から書いている児童が約8割を占めていることから、食料自給率を上げるためには生産側の努力が不可欠であると考えたのだと思われる。また、「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」の答えから原因を生産側の視点から書いている児童が圧倒的にも関わらず、「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」の回答では消費者側の努力を記述した児童が多いことに関しては、できることを考

える際に消費者である自分たちの視点の方が考えやすかったのではないかと考える。

最後に、事後アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答を分析する。事前アンケート「①なぜ日本の食料自給率は低いと思いますか。」と③の結果から、子どもたちは食料自給率や食料生産に関して、生産側か消費側もしくは双方の視点から考えていることがわかった。授業を通してこの結果がどのように変容したか考える。事後アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」では回答を、「生産側の努力」「消費側の努力」「生産と消費双方の努力」「補助金+生産強化」「補助金+国内消費強化」「補助金+生産、国内消費を強化」「その他」「未実施、未回答」に分類した。

【表10】事後アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答の分類

	生産側の努力	消費側の努力	生産と消費双方の努力	補助金+生産強化	補助金+国内消費強化	補助金+生産、国内消費強化	その他	未実施、未回答
1組	3	12	3	6	4	1	1	3
2組	2	6	4	4	11	2	0	3

【表11】事後アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答の分類の具体

	1組	2組
生産側の努力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入にたよりすぎず食べ物を作りつづける。</li> <li>・たくさん食品をふやすこと。</li> <li>・ほじょ金とかアメリカの輸入も減ればいいし、商品のねだんをもっと安くすればいいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人やきかいを増やしてこうりつを上げる。</li> <li>・土地や人が大切だなと思います。なぜなら、土地がせまいといっぱいつくれなから土地がだいじだとおもいました。そして土地がでかいと人手もたりなくなるから土地と人がひつようだと思いました。</li> </ul>
消費側の努力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなやり方があると思うけど、まずは自分たちの身近にある問題「食品ロス」を減らしていけば、国産の食べ物がむだにならずにすむから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人全員が協力して食料自給率が上がると思いました。</li> <li>・地産地消が大切。地元で育て、食べて、たくさん育てて売ると食料自給率は上</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべくちしょうちさんをやっ てじもとの食べ物をしょうひする。</li> <li>・ちさんちしょうをして外国産の をたべなくて、売上げがすくなくな ったらこうしょうがなくなって食料 自給率が高くなる。</li> <li>・自分たちでフードロスを減らし たりすこしずつ地産地消をこころ がけることで人が集まるようなと りくみをすることも自給率をあげ ることにつながると思います。</li> <li>・食品ロスを減らすのが大切だ と思います。なぜなら食材があま らず食べられる分だけは食べられ るからです。</li> <li>・国産品をいっぱい買う。</li> <li>・地産地消をすれば、売上げが 上がってほじょ金を使わず、自分 のお金で機械や薬を買えるように なると思う。</li> <li>・国だけでなく私達が地産地消 をしていけば少しずつ食料自給率 は上がると思います。</li> <li>・みんながたべのこしなくたく さん国産の物をたべてそういうの がふえればもっと上がると思いま す。</li> <li>・地産地消をすればいいと思いま す。理由は農家ではたらく人た ちが働きやすくなるからです。</li> <li>・地産地消をして外国からの輸 入を止めてもらうようにする。</li> <li>・地産地消をし、地元の人が地 元の食べ物を食べると食料自給率 は上がると思う。</li> </ul>	<p>がると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消などのとりくみをして いくといいと思う。</li> <li>・地産地消</li> <li>・地産地消をする。</li> <li>・地産地消</li> </ul>
<p>生産と消費双方の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消とせん伝をすると良 いと思います。なぜなら地産地 消をせん伝して取り組みができる からです。</li> <li>・もっと安くしたり輸入にたよ らな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のうかの人のこうれいかをす すすめないためにわかい人をふ やしたり、地産地消の取り組み をする。</li> <li>・ちさんちしょうやつくる人の ぞうかが</li> </ul>

努力	<p>ったら自給率が上がると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消とせん伝をすれば上がると思う。地産地消に積極的に取り組み、今のげんじょうをせん伝し、地産地消をする人をふやす。</li> </ul>	<p>あればいけるとおもう。つくる人がふそくしているからのうかはたたいへんだしちばんとれたてのものをじもとでうったりするそしたらじもとの人がおいしいしわかっているとおもうからかうとおもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人や土地をふやしきかいかもすすめねだんをやすくしてはいきする量などを農家や国がして自分たちはちさんちしょうなどをすると上がる。</li> <li>・つくる人と土地</li> </ul>
補助金＋生産強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を増やして、農業に関わるものを買ってこうりつよく作物をそだてる。</li> <li>・予算より多くして農業の力においかぜをおこして輸入より自給率に力をそそぐ。</li> <li>・ほじょ金をあげて若い人などにきょう味をもってもらう。</li> <li>・農業の人たちが農業をやめるのはもらうお金が少ないからが第一の理由。だから農業をやっている人たちに補助金を少しでも多くわたすと農業をやっている人たちが減るのをふせげて作ってくれるともっと出来た物が多くなり、工夫をする考えの力も強くなるから食料自給率が上がると思います。</li> <li>・デモや声をあげること。税金の使い方を考える。</li> <li>・ほ助金を国がだしてあげる。畑をふやす。輸入にたよらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の人たちの補助金を増やし、品種改良を行う。</li> <li>・国ができるだけ補助金を農家の人に出して、土地や機械を買えるようにする。</li> <li>・品種改良。補助金のルールを作る。</li> <li>・補助金やきあいや土地や人があればいい。</li> </ul>
補助金＋国内消費強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の人たちにお金(税金)をわたし、機かいなどをふやし、食品ロスを減らす。</li> <li>・補助金の使い方を国が考えて農家の人たちにお金をあげる。国内で生産されたものをむだなく食べると食料自給率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまに国産の物を買ったり補助金をふやす。</li> <li>・国が補助金を出し自分たちは地産地消をこころがける。</li> <li>・国が補助金、自分たちは地産地消をする。</li> </ul>

	<p>は上がると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国は補助金を多くしたりして、自分たちは食品ロスをなくしたりして、できれば国産のを買うといいと思います。</li> <li>・税金の使い道を考えて、地産地消に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国ができることや自分ができることをできるだけして、他国のやつが輸入され自分たちのが安くなってるから地産地消する。</li> <li>・自分たちがやっても国がしなければいみがないし逆に国がやっても自分がやっていなければいみがないからどちらもやったほうがいいと思いました。</li> <li>・国と自分たちで協力したら上げれると思います。</li> <li>・国が補助金などを出し、自分たちが地産地消に取り組むことが大事。そうすることで、食料自給率を上げることができる。</li> <li>・国が補助金を出して地産地消をおこなう。</li> <li>・国がお金をつかってやることと自分たちでできること両方やる。</li> <li>・国が補助金、自分たちは地産地消を両方やる</li> </ul> <p>国が補助金などを出すことも大事だし、自分たちが地産地消をしていくことで食料自給率を上げることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府と自分たちのバランスをとりながら、政府は物理的に食料自給率が上がるような税金や農家の人用のしくみをつくり、「地産地消・てづくり」をできるようにしたらいいと思います。</li> </ul>
<p>補助金＋生産、国内消費強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の皆で協力する。</li> </ul> <p>政府→補助金を出して農家の人をカバーする</p> <p>いっばんの人→地産地消を常にこころがける</p> <p>農家→質の良い食料・食品を作る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が補助金を出し、自分たちは地産地消、品種改良が大事だと思いました。</li> <li>・地産地消、補助金とかをふやしたりてつだったり品種改良をする。</li> </ul>

その他	・みんなで協力する。理由自分ができる いとこが人にはできる人がいるから。
-----	---

事後アンケート「③どうすれば食料自給率は上がると思いますか。」における児童の回答を分類すると【表10】のようになる。具体的にどの回答をどう分類したかは【表11】の通りである。1組では特に「地産地消」などに代表される「消費側の努力」に関する記述が多かった。しかし、授業中のワークシートの回答をみると、補助金についても触れており、「補助金+生産強化」や「補助金+国内消費強化」、また「補助金+生産、国内消費強化」について記述している児童も多々見受けられる。2組では補助金と生産強化、または国内消費強化についての記述が特に多かった。授業内でも児童から「地産地消と補助金どっちもやりましょう」のような発言もあったため、どちらにも言及するような回答がよく見られた。しかし、1組同様、補助金には特に触れず、生産側の努力や消費側の努力のみにとどまる回答も全体の1/3程度ある。このような結果になった原因は、第一次と第三次にあると考えた。まず第1次では、各国の食料自給率のグラフと補助金や予算の割合を示した表の2つを読み取ることにより、補助金や予算が多い国ほど食料自給率も高い傾向があるという認識を獲得させる部分に課題があった。先におこなった1組の授業では、資料の情報量が多く、補助金と予算の2つの関係に着目してしまい自給率と結びつけることができなかった児童や、補助金と予算の違いがわからず困惑している児童が多く見られた。このことから、提示する資料をもっと厳選する必要があると感じた。この反省を踏まえておこなった2組の授業では、資料から予算の部分すべてを外し、提示する国の数も4つから3つに減らした。その結果、1組実施の際よりは補助金と食料自給率の関係についての理解度が上がったが、それでもアンケートの結果のように、補助金について触れていない児童も一定数いる。このことから、授業で扱う資料は、日本とどこか1国の2国間比較にとどめておくべきだったのではないかと考える。子どもたちに思考させる場面では資料を絞り、その後に追加資料としてそれ以外の国の補助金の割合を提示すれば、「補助金が多い国ほど食料自給率が高い」という認識を十分に獲得させることができたのではないかと考える。次に第三次では、児童同士の話し合いを通して、食料自給率を上げるためには補助金を増やすこととわたしたち個人の努力双方が大切であるという認識を獲得させる部分に課題があった。先におこなった1組の授業では、食料自給率を上げるためにはどうすればいいか？という問いに対し、授業前に予想していた「地産地消を行う」「補助金を増やす」「品種改良をする」というような回答のほか、「食品ロスを減らす」や「地産地消をもっと宣伝する」というような回答が出た。これらの回答が出た際、教師としては「食品ロスを減らしたら本当に自給率は上がるのか。」「みんなが地産地消のことを知らないから地産地消できていないのか。」などの問い返しを行うべきであったが、実際の授業ではその内容について聞く程度の問い返ししかできなかった。その結果、授業後のアンケートでも食品ロスや宣伝など、授業者の意図していない回答をしている児童が何名も見られた。このことから、児童の発言に対し、本当にそれを行えば実現

できるのか、原因はそこにあるのか、などの反証が必要であると考えた。その後行った2組での授業は、授業前に予想していた回答しかでなかったことに加え、先に述べたように、児童から「地産地消と補助金どっちもやりましょう」というような発言もでたため、1組と比べて、補助金と私達個人の努力双方に言及した回答がよく見られた。しかしながら、片方しか言及していない回答も全体の1/3ほどあった。これについては、「地産地消と補助金どっちもやりましょう」というような発言に対し、教師から「片方だけどうまくいかないね。」という返しを行った。そうではなく、片方だけで考えていた児童に意見を求めたり、全体で改めてダメな理由を考えることができれば、回答も変わったのではないかと考える。

### 第3章 政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習の再構成の検討

前章では、単元「これからの食料生産」の授業構成の実態を明らかにし、実験授業の結果とアンケート調査の分析を通して、授業の課題を示した。前章でも述べたように、本単元は特に第1次と第3次に課題が見られたため、この2時間の再構成を考えたい。第1次では資料精選の不十分さが浮き彫りになったため、主に資料の変更を行い全体の整理を行う。再構成した授業は【資料2】に示すとおりである。なお第3次に関しては、教師側の問い返しの不十分さが主な課題であったため、ここでの授業計画の再構成は割愛する。

#### 【資料7】政治的視点を取り入れた小学校社会科産業学習第1次の再構成

##### (1) 第1次 本時の展開 (○…メインクエスト)

過程	教師の指示や発問	教授学習活動	資料	児童に習得させたい知識及び予想される児童の反応
導入	・自給率とはなんだっか。	T 発問する S 答える	①	・日本で食べられている食料の内、国内で生産されたものがどれくらい表した割合。
	・教科書のグラフを確認しよう。日本の食料自給率は他国と比べてどうか。	T 発問する S 答える		・かなり低い
	・日本の食料自給率はなぜ低いのだろうか。	T 発問する S 予想する		<児童の予想> ・たくさん輸入しているから。
	・資料を見てみよう。輸入ランキングの上位はどこか。	T 発問する S 答える		② ・アメリカ ・中国 ・フランスなど
	・先ほどの食料自給率の高い国として挙げられていた国はこのランキングの上位に入っているか。	T 発問する S 答える		・入っている
・輸入が多いと食料自給率は低いといえるか。	T 発問する S 答える		・いない	

	○なぜ日本の食料自給率は低いのだろうか。	T 発問する		
展開 1 補助 金 が 多 い と 食 料 自 給 率 が 上 が る こ と を 理 解 す る 段 階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この表はなにを表しているだろうか。</li> <li>・補助金ってなんだろう。</li> <li>・農業で考えると、足りない分はなにを指すだろうか。</li> <li>・実はこれに加えて、フランスの補助金は、農家の収入が下がったときの収入を保障する役割も持っている。</li> <li>・表からどんなことがわかるだろうか。</li> <li>・食料自給率のグラフも一緒に見てみよう。補助金の割合の高いフランスと、補助金の割合の低い日本の食料自給率はそれぞれどうなっているか。</li> <li>・他の国の補助金も見てみよう。イギリスは日本と比べてどうか。</li> <li>・食料自給率はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> <li>T 説明する</li> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> <li>T 発問する</li> <li>S 答える</li> </ul>	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とフランスの補助金の割合</li> <li>・足りない分を補うためのお金</li> <li>・農産物の売り上げだけではカバーできない、生産に必要なお金（機械に使うお金など）</li> <li>・フランスは補助金の割合が高い</li> <li>・日本は補助金の割合が低い</li> <li>・補助金の割合が高いフランスは食料自給率も高い</li> <li>・補助金の割合が低い日本は食料自給率も低い。</li> </ul>
		T 発問する	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の割合が高い</li> <li>・高い</li> </ul>

	<p>・補助金を出すとなぜ自給率が上がるのだろうか。</p> <p>・これらの補助金は誰が出すのだろうか。</p> <p>・国や地方自治体を使うお金はどこから出ているのだろうか。</p> <p>・日本は農業に対して税金を使っていると言えるか。</p> <p>・税金はそもそもどんなものに使うか。</p> <p>・みんなが払った税金で農家の人の生活を支えるということになるが、それでもいいのか。</p> <p>・実はヨーロッパの国が農業に税金をたくさん入れる理由がこの資料に載っている。農業の役割はいくつあるか、資料から探そう。</p> <p>・この恵みを受けられる</p>	<p>S 答える</p> <p>T 発問する S 予想する</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する</p>	<p>&lt;児童の予想&gt;</p> <p>・農家の人の収入が安定し、農業を続けやすくなるから。</p> <p>・機械などたくさん作るための道具を買って使うことができるようになるから。</p> <p>・国</p> <p>・地方自治体</p> <p>・私たちが払っている税金</p> <p>・言えない</p> <p>・学校、道路などみんなが使うもの</p> <p>・いい</p> <p>・ちょっと困るかも</p> <p>⑤ ・10 個</p> <p>・国民全員</p>
--	--	---	---

	<p>のは誰だろうか。</p> <p>・全員が恵みを受けられるならば、補助金をたくさん出すことに納得はいくか。</p>	<p>S 答える</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p>		<p>・納得がいく</p>
<p>展開 2</p> <p>日本が補助金を増やせなかった理由を理解する段階</p>	<p>・さきほど出した農業の役割は、日本でも同じことがいえるか。</p> <p>・それなのになぜ日本は欧米諸国のように農業に補助金を拠出しないのだろうか。</p> <p>・資料を見てみよう。なにについて書いてあるか。</p> <p>・これは貿易に関わる国同士の話し合いの資料で、アメリカ、ヨーロッパ、日本、カナダが主に話し合っている。</p> <p>・日本の補助金について他国が話し合いをしているのはなぜだろうか。</p> <p>・資料を見てみよう。日本はどここの国と貿易しているだろうか。</p> <p>・これは輸出に関する資料だが、輸出とはどういうことか</p>	<p>T 発問する</p> <p>S 答える</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p> <p>T 説明する</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p> <p>T 発問する</p> <p>S 答える</p>	<p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>・いえる</p> <p>&lt;児童の予想&gt;</p> <p>・お金が足りないから</p> <p>・補助金</p> <p>・わからない</p> <p>・アメリカ</p> <p>・他の国から商品を購入すること。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・割合を見てみよう。日本にとってアメリカの割合はどれくらいか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 31.7%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二位以下の国の割合と比べるとどうか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圧倒的に多い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカの貿易相手国を見てみよう。日本は何位か。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>	⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3位</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 割合でいうと何%か。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12.3%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料を見てみよう。日本はアメリカへの輸出でどれくらい稼いでいるか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>	⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 918 億 2300 万ドル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカは日本への輸出でどれくらい稼いでいるか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 436 億 3600 万ドル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差はどれくらいあるか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 500 億ドル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分がアメリカの立場だったら日本に対してどう思うか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ばかり稼いでいる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ばかり稼いでいる状況を変えるためにアメリカは何をしたらろうか。</li> </ul>	<p>T 発問する S 答える</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさん輸出をした</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このあとアメリカは日</li> </ul>	<p>T 発問する</p>	⑩	<児童の予想>

	<p>本にたくさん輸出することにした。日本の交渉人として、あなたならなにをアメリカから輸入するだろうか。表から選ぼう。</p> <p>・実際にアメリカは日本に農産物の輸出を増やしたが、ただ輸出量を増やしただけなのだろうか。</p> <p>・先ほどの話し合いの資料を見てみよう。なにについて話し合っていたか。</p> <p>・日本が農業にたくさん補助金を出したら、他国にとってなにか問題なのだろうか。</p> <p>・日本はなぜ欧米諸国のように補助金を拠出できないのだろうか。</p>	<p>S 予想する</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p> <p>T 発問する S 答える</p>	<p>・日本は工業製品ばかりで農産物は輸出していないから、トウモロコシや小麦などの農産物を日本に輸出するようになった</p> <p>・わからない</p> <p>・補助金</p> <p>・農産物を輸入してくれなくなるかもしれない。</p> <p>・工業製品で儲けており、農産物を輸入せざるを得ない状況になっているから。</p>
<p>終 結</p>	<p>○日本の食料自給率はなぜ低いのだろうか。</p> <p>・今日のふりかえりを書こう。</p>	<p>T 発問する S 答える</p> <p>T 指示する</p>	<p>・農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉が難しい状況にあるから。</p>

(授業資料)

①グラフ「日本と主な国の食料自給率」東京書籍『新しい社会 5 上』 p.115 (2022)

②グラフ「世界の農産物・食料品の貿易額ランキングチャート」世界事典 (2018)

<https://theworldict.com/rankings/agricultural-trade/> (最終閲覧日 2024/01/10)

③表「日本とフランスの農業所得に占める補助金の割合」鈴木宣弘『農業消滅』平凡社(2021)  
p.152 より授業者作成

	補助金の割合 (2013)
日本	30.2%
フランス	94.7%

④表「イギリスの農業所得に占める補助金の割合」鈴木宣弘『農業消滅』平凡社 (2021)  
p.152 より授業者作成

	補助金の割合 (2013)
イギリス	90.5%

⑤図「農業の多面的機能」農林水産省

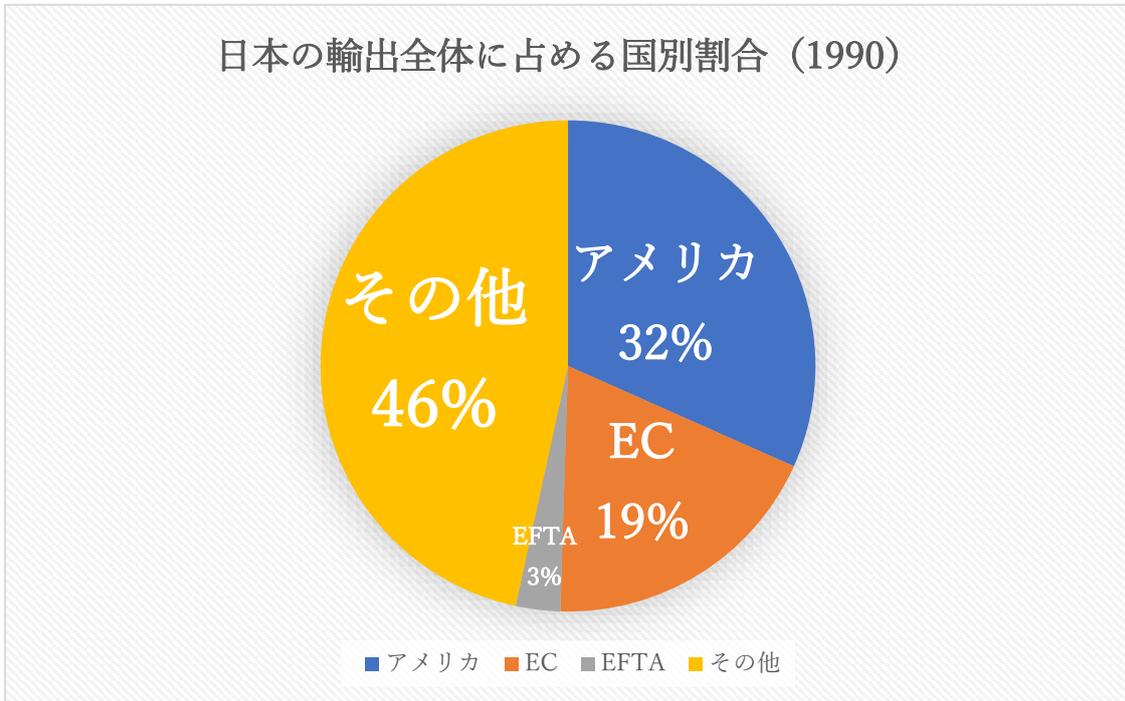
[https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo\\_kinou/](https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/) (最終閲覧日 2023/06/03)

⑥文章資料「話し合いの内容」笹口裕二「農産物自由化と農業政策 - TPP 交渉大筋合意を受けて - 」『立法と調査/参議院事務局企画調整室編』 pp.83-97 (2016)

「1986 年に開始されたウルグアイ・ラウンド交渉では、農産物の輸出補助政策をめぐる対立を背景に、これまでの輸入自由化の議論に加え、(中略) 補助金の在り方が議論となり、(中略) 国内農業政策までが交渉の対象となった。」

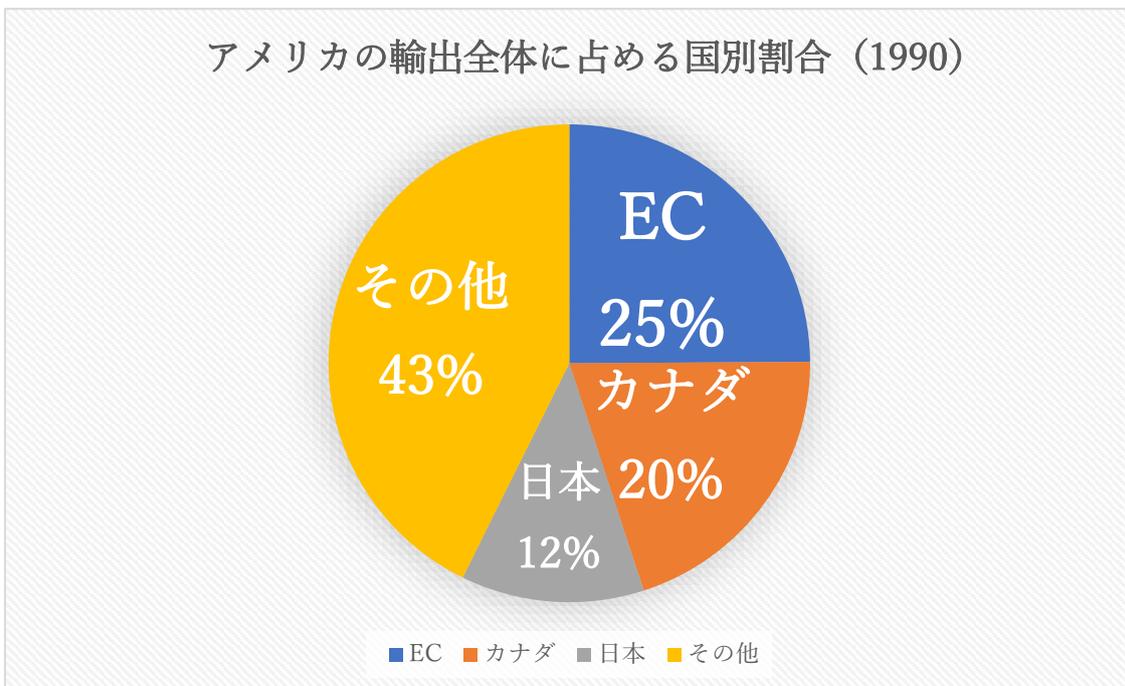
⑦グラフ「日本の輸出全体に占める国別割合（1990）」

「世界国勢図会 1992-1993」 編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成



⑧グラフ「アメリカの輸出全体に占める国別割合（1990）」

「世界国勢図会 1992-1993」 編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成



⑨「アメリカと日本の輸出額」

「世界国勢図会 1992-1993」編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成

	(ドル)
アメリカ→日本への輸出額	436億3600万
日本→アメリカへの輸出額	918億2300万

⑩「アメリカと日本の輸出品内訳」

「世界国勢図会 1992-1993」編者財団法人矢野恒太記念会（1991）より授業者作成

アメリカの主な輸出品	日本の主な輸出品
機械類	機械類
自動車	自動車
航空機	精密機械
精密機械	鉄鋼
薬品	繊維品
プラスチック	薬品
トウモロコシ	船舶
小麦	金属製品

## 第4章 研究の意義と課題

本研究では、小学校5年生社会科の単元「これからの食料生産」において、日本の食料自給率を上げるためにはどうすればよいのか、生産者や消費者に加え政治の視点からも考える授業の開発を行なった。研究の意義と課題は以下の通りである。

研究の意義は、主に消費者や生産者の問題として捉えられていた産業学習に政治的視点を取り入れたことである。補助金を題材に取り上げ、産業には生産者や消費者だけでなく、補助金を出す政府も大きく関わっており、新しい視点で社会問題について吟味させることができた。

一方で課題は、補助金の重要性について、子どもたちに十分に理解させることができなかった点である。アンケート結果分析でも触れたが、使用した資料が複雑であったことや、教師の問い返しの不十分さから、子どもたちに補助金の重要性について十分に理解させることができなかった。子どもたちの現状にあった資料の準備や思考の予想について、より吟味するとともに、授業の流れについても再検討する必要がある。

## 参考文献

### 【参考文献】

- ・池沼夏郎「グローバル化した社会を学ぶ小学校社会科学習 - 食料の輸出入を事例に食料生産の発展を考える -」『日本社会科教育学会全国大学発表論文集第 18 号』日本社会科教育学会 (2022)
- ・池野範男, 的場正美, 安野功ほか (2023)『小学社会 5 年』日本文教出版
- ・大石学, 小林宏己ほか (2023『小学社会 5』教育出版
- ・大西浩明 山方貴順 祐岡武志 山下欣浩 中川静男「豊かさに焦点を当てた持続可能な社会の創り手を育てる社会科 - 小学校 5 年生社会科『これからの食料生産』を題材に -」『次世代教員養成センター研究紀要』奈良教育大学次世代教員養成センター (2018) pp.35-44
- ・河原秀樹 (2021)「第五学年『これからの食料生産とわたしたち』 - 農業の発展について多角的に考える -」『初等教育資料』東洋館出版社, pp.62-65
- ・北俊夫, 小原友行ほか (2023)『新しい社会 5 上』東京書籍
- ・河野晋也 (2020)「持続可能な社会の創り手に求められる批判的思考力の育成 - 小学校社会科第 5 学年『これからの食料生産』の実践をとおして -」『社会科教育研究』139 号, pp.24-35
- ・財団法人矢野恒太記念会編 (1991)『世界国勢図会 1992-1993』
- ・笹口裕二 (2016)『立法と調査/参議院事務局企画調整室編』
- ・生源寺眞一 (2011)『日本農業の真実』筑摩書房
- ・生源寺眞一 (2018)『農業がわかると, 社会のしくみが見えてくる』家の光協会
- ・鈴木宣弘 (2021)『農業消滅』平凡社
- ・農林水産省 (2018)「農業・農村の有する多面的機能」  
[https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo\\_kinou/](https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/)
- ・平川公明「食料自給率低下問題とその解決策を考える授業」『社会科教育』3月号 (2019) pp.36-39
- ・宮原翔太「小学校の授業 5 年これからの食料生産とわたしたち: TPP から考える日本の食料問題」『歴史地理教育』歴史教育協議会 (2018) pp.34-39

## 【巻末資料1】授業における発話記録

### 5年1組第1次(11月15日実践)

S: 4時間目を始めます。始めます。

T: 始めます。

S: よろしくお願ひします。着席。

T: タブレット忘れた人?

S: さすがにね。

T: お、いない? 今みんなに今日の資料を送ったんですけど、ちょっと届いたか確認してください。

S: 届いてない。

T: 届いた人は一旦閉じて前を向いて。全員オッケーね。みんなもう「これからの食料生産」テストまでしたんだっけ?

S: はい。

T: じゃあ問題ないですね。自給率って何でしたか? 隣の人に説明してください。

- ペアに説明 -

T: はい前を向いて。誰が説明してもらっていい?

S: て自給率とは国で生産して、国で消費する量です。

T: どうですか? ここはね。ちょっと確認しようか。教科書では「私たちが食べている食料のうち?」

S: 自分の国で作られた食料の割合です。それは国産の割合?

T: そう。国で作ったやつがどのくらい国でっていう話だよ。じゃあ、日本の食料自給率どれくらいだった?

S: 低い。めっちゃ低い。

T: これ教科書のやつ。めっちゃめっちゃ低かったよね。じゃあ、日本の自給率なんで低いか、朝のアンケートで書いたね。隣の人に自分がなんて書いたか説明して。30秒。

- ペアに説明 -

T: 前を向いて。じゃあ、書いたこと誰か教えてください。はいAさん。

S: 食生活が変わって輸入に頼っているから。

T: 食生活が変わって、輸入が増えたから。どうですか?

S: いいです。

T：他ある人？じゃあ今日の紙に輸入について書いた人、どれくらいいる？輸入が増えたからじゃないかなって書いた人？ありがとう。じゃあ、みんな輸入が結局増えたから食料自給率が低くなったってわけだ。なるほどね。じゃあ、ちょっとこれ見てほしいんだけど。見にくい人は送ったやつ見てもいいよ。タブレットで送った 2 枚目の資料を見てください。これは輸入が多い国を上から順番に書いてます。どこの国が多い？

S：アメリカ

T：アメリカが多いね。じゃあ、みんなさっき見たグラフを確認してみようか。食料自給率が高い国はどこやった？

S：カナダ，フランス，アメリカ

T：カナダ，フランス，アメリカ，イギリスだったよね。これ見てみようか。カナダは？何位にある？

S：11 位。

T：11 位にあるね。フランスは？

S：7 位。

T：7 位にある。アメリカは？

S：1 位。

T：イギリスは？

S：6 位。

T：6 位にある。

S：なんでアメリカは？

T：いいところに気づいたね。まあまあ高いけど？じゃあみんな輸入が多かったら食料自給率は？

S：低い。

T：って言ってたけど、どう？どっちも高くない？どっちも高い国，結構あるよね。

S：うん。

T：じゃあ、みんな今までいろいろ考えてきたけど、なんで日本の食料自給率低いのか？っていうところをやっていきたいと思います。ワークシート届いたら名前をちゃんと書いてね。前を向いて。じゃあ、みんな今配った資料にこれあるよね。これ何の表？

S：補助金と予算。

T：これが今、農業の話をしてるんだけど、補助金って何か説明できる？30 秒で隣の人に説明して。

- ペアに説明 -

T：説明，誰かできる人？不安？行こうか。

S：仕事の収入が少ない人にお金をあげて生活をカバーする。

T：なるほど。仕事のところで足りない分をカバーしてくる。他にありますか？

S：ちょっと似てる。いろいろと作るというか、何かに使うお金が足りないものを埋めるために、助けるために。

T：何かに使うために。農業だったら、何に使うお金？

S：トラクターとか肥料とか種

T：なるほど。いろいろ足りないものに使うためのお金ということね。今ここでしてる補助金とか予算の話は、Bさんがちょっと言ってくれた。農家の人の収入が少なくなったときにカバーしてくれるお金の話もしてるし、Cさんが言ってくれたみたいに、何か足りないものをカバーする。農具とかそういうののお金も全部含まれています。では、補助金や予算高いところ、どこ？

S：イギリス、フランス

T：イギリス、高いね。フランスは？

S：高い。

T：2倍くらい高い。では皆さん補助金や予算が高いことと、食料自給率の高さにどんな関係があるか、ワークシートに2分時間取ります。

- 個人思考 -

T：ちょっと難しいなっていう人、前でヒントを言うので。書ける人はそのまま。アメリカは何が高い？

S：予算

T：予算。補助金も日本よりちょっと高いよね。自給率は？

S：高い。

T：自給率は？ここが100のラインだから？

S：これよりも高い。

T：イギリスは何が高い？

S：補助金。

T：自給率はどう？日本と比べて。

S：ちょっとだけ高い。

T：フランスはどう？

S：補助金の方が高い。

T：さあ、ここまでで気づいたところを。まだちょっと時間欲しい人？あと1分取ろうか。

- 個人思考 -

T：今ちょっと考えついた人も、まだ微妙だなという人も、隣の人と今自分が書いていると

ころまで説明してみて。

- ペアに説明 -

T：はいじゃあ一回前向いてください。ちょっとまだ微妙な人たちも、うーんって顔をしている人もいるので、全体で確認しましょうか。じゃあ、今出たところ教えてくれる人いますか？

S：補助金を使ってカバーされる割合が日本は低いから、それで農家をやめたりする人が増えて続ける人が減って、どうしても作物が育てられなくなって輸入に頼ってしまうから、食料自給率が日本は低いんだろうなと思います。

T：なるほどなるほど。補助金や予算が低かったらどうなりそうですか？

S：農家を続ける人が減る。

T：続けられなくなっちゃう。

S：もっと収入が多いところに、収入が多くて楽なところに。

S：確かに。

T：収入がいっぱい入ってくる仕事と、そうじゃない仕事って、どっち選ぶ？

S：いっぱい

T：いっぱいある方がいいよね。

S：しかも労働がすごい。

T：みんな農家の人がどういう大変なことしてるかやったよね。米作りのところで。そういう大変な仕事が増えていくと。結局今言ってくれたね。食料自給率が？

S：下がる。

T：下がるんじゃないか。他にある人いますか？

S：似てるというか、補助金が高い。補助金が高かったら自給率が高い。

T：どうも低そう。

S：でもアメリカは予算が高かった。

S：アメリカは広いから・・・

T：予算と補助金のところ分かりにくかったけど、もう同じで考えて。アメリカはこっちが低いみたいに見えるけど、アメリカもお金使ってるし、イギリスもお金使ってる。フランスもお金使ってるって考えてくれていいよ。分かりにくかったね。はい、どうぞ。

S：食料自給率が・・・あ、違う。補助金が少ないと、例えば大型機械とかコンバインとかが買えなくなって買えなくて、しかも楽で早くできないから。だから、補助金が多ければ多いほど自給率が高い。

T：なるほど機械のところもみんなやったの覚えてる？あのガーってコンバインとか見ていったね。あれがあるのとないのじゃ？

S：違う。

S：労働が、働く時間が  
T：いいね。働く時間が違って来るねっていうところ。そう今みんな言ってくれたみたいに補助金が少ない、ここで言うと、日本とかは自給率が低くて？  
S：予算も低い。  
T：予算も少ないよね。補助金とか予算が高い国は？  
S：食料自給率が高い。  
S：イギリスとかちょっと自給率が、そんなに予算以上に行かない。  
T：そうね。イギリスなんか低く見えるけど、100%はここだよ。カナダとかフランスとかがぐいって高いけど。  
S：異常なだけか。  
T：そうそうそうそう見えるけど、イギリスも結構いいところに80%ぐらいのところにいるよ。じゃあ、みんなこうやって補助金の話したけど、補助金って誰が出すの？  
S：国。  
S：日本。  
T：国、日本。じゃあ、国のお金は元々誰が出してる？  
S：政府  
S：自分たちが税金出してる。  
T：いいね。税金。そうみんな言ってくれたみたいに、国とか熊本県とか熊本市が使うお金って私たちが払ってる税金だよ。税金払ってる？  
S：払ってる。  
S：お母さんが払ってる  
S：お菓子とか買うときに、うまい棒10円なのに12円かかる。  
T：12円かかるね。その2円何って何税？  
S：消費税  
T：消費税払ってるよね。みんなもだから払ってるわけだよ。じゃあ、日本って農業に対して税金使ってるって言える？  
S：いや、あんまり。  
T：あんまり使ってなさそう。じゃあなんで使わないの？  
S：農業と政治・・・  
T：お金が？お金ない？  
S：ない  
T：お金ないのかな？  
S：もう借金です。  
T：でもお金がないのかなと思うけど、ヨーロッパとかアメリカでは農業にお金いっぱい入ってるってことは税金を？  
S：たくさん使ってる。

T:たくさん使ってる。じゃあなんでヨーロッパとかアメリカがお金, 税金を使ってるのか, ここにヒントがあります。みんなタブレットの 4 枚目のシートを開いてください。みんなこの資料を見て, 農業にどんな役割があるか, 隣の人に見つけられるだけ説明してください。

- ペアに説明 -

T: 15 番の人? じゃあこの列行きます。

S: 体験, 学習や教育をする。で, 今日日本の状況はどんな感じなのかって。これはこんな感じでやるんだよって教えて, 将来の食料自給率を高くしようという取り組みを行っている。

T: 取り組みを行ってる。なるほどじゃあ次に D さん, 見つけたのを教えて。

S: 暑さを和らげる。暑さを和らげる理由は, 暑さを和らげたら暑さに弱い農産物とかが多いので逆に暑さじゃないと生きれない植物もありますけど, 大体がで枯れるので。

T: なるほど植物がね。植物も暑いのはありますね。人間も?

S: 暑いのは嫌いです。

T: じゃあ E さんいきましょうか。

S: 僕も F くんと同じで, 体験学習や教育をする。

T: ここを特に取り上げたんだね。

S: ほとんど理由も同じなんですけど, 将来未来で今小さい子たちが体験して楽しかったって言って, 受け継いだりしたら, 食料自給率はどうにかなるんじゃないかな。

T: なるほど。伝えていくっていうところに役割がありそうだ。ありがとう。じゃあ G さん次。

S: 土砂崩れを防ぐ。土砂崩れになったら作ってる農産物が台無しになって, それで食糧自給率が上がらないんじゃないか。

T: なるほど。土砂崩れ起こって困るのって誰?

S: 人

T: 誰? 農家の人?

S: 全員じゃないですか。

T: 全員にメリットがありそうだね。ありがとう。じゃあ次, A さんいきましょう。

S: 地下水を作る。そしたら水が循環して一生おいしい水を飲めると思うから。

T: さすが水検定を受けてきた人たちですね。はい, H さんどうぞ。

S: 土砂崩れを防いで, 家とかが壊れる被害を出さないようにする。

T: 家とかの被害が出ないようにする。土砂崩れで被害があったニュースとか見るよね。

S: 車がなんか流れたりとか。

T: 実は残ってるこれも全部農業の役割。誰が助かってるんですか?

S: 自分たち,

T: 誰? 農家の人?

S：人，全員

T：自分たち全員が助かってる。全員が助かってるから何を使ってる？お金，何金？

S：税金。

T：税金を使ってる。じゃあ，みんなワークシートの①のところに税金と書きましょう。じゃあ，みんなさっき見たこの自給率高い国はこうやってお金使ってたわけじゃないですか。

S：はい。

T：じゃあ，日本もこうやってお金使えば食料自給率上がるんじゃないの？

S：いや，お金が足りないんです。

T：お金が足りないから？

S：というかいらぬところに，お金使ってるんだよ。

T：なるほど。じゃあお金使えばできるけど，やってないってことか。じゃあなんでしてない？

S：まず人がいない。

T：なるほど。じゃあ，ちょっとみんなに見てもらいたいんだけど，5個目の資料。これちょっと読みましょうか。難しいので一緒に読んでいきましょう。

S：1986年に開始された交渉では，農産物の輸出補助政策をめぐる対立を背景に，これまでの輸入自由化の議論に加え，補助金の在り方が議論となり，国内の農業政策までが交渉の対象となった。

T：なんか難しいこと書いてるけど，何の話してる？

S：農産物の輸出と補助金

T：そうそう。ちょっとここに注目してほしいんだけど，補助金のお話をしてる。これ何かかっていうと，貿易についての話。貿易って何？

S：南蛮貿易とか

T：南蛮貿易もそうだね。貿易って，輸出とか輸入，他の国との

S：やりとり

T：そうやりとりについて話し合いをしています。これ，日本の補助金について話してるんだけど，この話し合いのときいた国，アメリカ，ヨーロッパ，カナダ，オーストラリアとかの人が話し合ってます。日本の補助金について，なんでアメリカとかの人が日本の補助金について話してる？

S：輸入たくさんしてるから

S：アメリカは補助金過ぎなんじゃないかとか

T：なるほどなるほど。

S：そろそろ自給率を上げないと，ヤバいぞとか。

T：ヤバいぞって声かけてるんじゃないかってね。なるほどいいですね。

S：もっと自給率を上げろって

T：じゃあちょっと日本との補助金関係について考えてみます。みなさんワークシートの円

グラフ見てください。日本の輸出1位どこ？

S アメリカ

T：アメリカだよ。何%って書いてある？

S：32%

T 貿易してるうちの32%って書いてある。

S：3割だ

T：うん3割だね。2位以下の国と比べてどう？

S：EC？

T：ごめんね。ECっていうのは、ヨーロッパの国をまとめたやつ。

S：えー、アメリカの方が多いいんか。

T：そう、アメリカが何位だった？

S：1位

T：②に1位って書いてください。

S：ヨーロッパまとめたのよりアメリカの方がめっちゃいっぱいだ。

S：ECって何ですか？

T：EUって聞いてみんな分かる？

S：あー。わかる。

T：EUの前はECって言ってたんだよね。ヨーロッパはまとめてる。みんなまとめて小さい国がいっぱいまとまってるよね。じゃあ次アメリカの方、見てみましょう。アメリカは1位、どこ？

S：EC

T：うんヨーロッパだね。じゃあ、日本は何位にある？

S：3位

T：3位にあるね。これ書いときましょう。

S：意外といい方ですね。めっちゃいい方。

T：みんなでも割合だけ見てもいくら稼いどるか分からないじゃん。次、見てみましょう。日本からアメリカは何億？

S：918億2300万ドル

T：単位、ドルなんだよね。日本がアメリカに輸出してる量だね。逆は？アメリカが日本に輸出してる額は？

S：436億3600万ドル

T：差はどれくらいですか？

S：約2倍

T：何億くらい差がある？

S：500億くらい。

T：400億500億くらい差があるよね。どっちの方がたくさん儲けてるって言える？

S：アメリカ，日本

T：日本の方がいっぱい輸出してるってことは？

S：あ，日本だ。

T：自分がアメリカの立場だったらどう思う？

S：大赤字

T：大赤字で困るよね。

S：先生この時円安？

T：今回はそこを考えなくて大丈夫。今円安とかだもんね。いい視点だね。この時がこれくらいなんだ。1990年これくらい差がある。今，日本の方がたくさん儲けてるわけだけど，アメリカも？今から考えたいのが，今こっだけ日本たくさん儲けてます。アメリカは日本に対してあんまり？

S：儲けてない。

T：500億も差がある。しかも500億円じゃなくて，500億ドルってことは，みんながイメージしてるより，もっとでかいよね。それでは皆さん考えてほしいのがワークシートの左側のところ。自分がアメリカの立場になって，この後日本に対して何を輸出するようになるだろうか。ロイロで送った一番最後の資料。これを見ながら4分，時間とるので，この後何を輸出するようになったか考えてください。余裕ある人は何でそう考えたかまで書いてください。

- 個人思考 -

T：ちょっとごめんね。表見にくいなって人前向いて。日本が輸出しているのはこういう品物。アメリカが輸出しているのはこういう品物。

日本も機械出してるじゃないですか。日本も機械強いってことは，機械出してもどう？売れる？

S：売れない

T：じゃあ，どこでやる？っていう。

S：だから日本でしか作れない

S：日本が足りないところをやればいい。

T：どこ突いたら日本が買ってくれるかな？

- 個人思考 -

T：今考えたところまで隣の人と意見を交換してください。

- ペアに説明 -

T: じゃあ、ちょっと時間がないので、これ大きく分類すると、機械とかこの辺り選んだ人？

じゃあ、まず先にここの人たち、聞こう。I さんじゃあお願いします。

S: 私は薬品を選びました。理由はインフルエンザとか流行ってきたからです。

T: 薬が足りてないということ？

S: はい

T: なるほど。あともうひとり聞こうか。J さん。

S: 僕も薬品にしました。理由はアメリカは 10763 ドルだけど、日本は 5640 ドルとかでもある。けど病気になった時、今日は完売ですってなるかもしれないけど、輸出してくれたらまだたくさんあるかもしれないから、薬品が一番いいかなって思いました。

T: 日本は余るくらいあったほうがいいってこと？

S: はい

T: 逆に、とうもろこしとか小麦とかの食べ物を選んだ人？はいじゃあ K さん。

S: 僕は小麦を選びました。理由は日本の自給率が低かったからです。

T: 日本は小麦の持久率どれくらいだったっけ？

S: 10%

T: L さんあげてたやつ。何%って書いてたっけ？

S: 17%

T: 17%くらい。自給率が低いから、輸出したら？

S: 大儲けです。

T: 買ってくれそうだよねって話ね。もう一人くらい食品あげた人いこうか？じゃあ M さん。

S: 僕も小麦で、日本は小麦を全然輸入できないくらい自給率が低い。

T: 輸入できないくらい？

S: あ、輸出か。輸出できないくらい小麦が、自給率が低いので、それを言われたら買わざるをえない。

T: 答えを言いましょうか。実はこの後、何を増やしたかというところ。ここ。なんでかっていう理由はみんなが言ってくれたところ。自給率が低くて、輸出できる量も育ってなかったら？

S: 大儲けだ。

T: うん。日本も買わないといけない。機械とかもねいろいろ出てきたと思うんだけど、機械とかって日本も？

S: ある

T: 薬品とかは？

S: 薬品も輸出できるくらいちょっと余ってるから、輸出できるくらいのやつは全部足りて

ると思います。

T：足りてるよね。だけどこっちのトウモロコシと小麦は？

S：日本は全然入ってない。

T：入ってないから、この後結局たくさん輸出をしました。じゃあ、実際に日本ってアメリカって日本にたくさん輸出したけど、輸出量を増やしただけでは？

S：ない。

T：さっき言ったこの、補助金の話まで出てくる。たくさん輸出して日本に小麦とかを入れるし、その上、補助金についても話をする。

S：補助金を減らすことによって、輸出してもらおうと。

T：なるほど。っていうところまでやってみました。

じゃあ、続きは明日します。日直さんお願いします。

S：起立。気をつけ。ありがとうございました。

T：ありがとうございました。

## 5年1組第2次(11月16日実践)

T: はい始めます。

S: 始めます。

T: みんな昨日のワークシートある?昨日全部終わってないから確認からしましょうか。自給率高い国は何が多かった?

S: 補助金

T: 補助金が多かったよね。

じゃあ、日本も補助金いっぱい使えばいいじゃんってなったけど、難しかった。

なんで難しかったか、隣の人に説明して。

- ペアに説明 -

T: じゃあ、前向いてどっかのペアじゃあ行けるよって人いる? じゃあ、ちょっと昨日の確認、もう一回しましょうか。日本が貿易特にしてたのはどこの国でしたか?

S: アメリカ

T: アメリカだったけど、輸出額が圧倒的に多いのは?

S: 日本

T: 日本からだったよね。アメリカは日本の方がいっぱい儲けてるから?

S: 悔しい。

S: 赤字

T: 悔しいとかいやだっていうのがあったから、何を輸出させてた?

S: 小麦

T: そうだね。このようなことがあったから、この辺りを輸出して日本は農産物をたくさん取ることになりました。っていうのと、あともう一個これ覚えてる?この話。

S: 補助金

S: 貿易の

T: そう。貿易の話し合い、補助金についてどうするかっていう話し合い、これ日本の話だけど関わってたのは?

S: アメリカ

T: アメリカとかも関わってたよね。そういうことがあったと思います。

じゃあ、日本の食料自給率何で低いかな。一番下の括弧を1分時間取るので埋めてみてください。

- 個人思考 -

T: じゃあ、今書いたの隣の人と確認して。

- ペアに説明 -

T: はい、じゃあ前向いて。先に4番何?

S: 補助金。

T: 補助金だね。補助金さっき補助金が少なかったという話をしたよね。補助金が少なく増やそうとしても難しい。何が難しい?

S: 貿易, 関係, 関わり, 交渉

T: 交渉。もうちょっと簡単に言うと?

S: 話し合い

T: うん。話し合いとかでもいい。

S: だけど話し合いが難しい。

T: うん。話し合いが難しい。こんな感じのこと書いてたら5番はいい。書いたかな? 4番と5番書いた人? では次の表の方に入りましょう。

じゃあ、みんなもう一回、いつもの教科書のグラフ見ていくよ。日本の食料自給率って

S: 少ない

T: うん、少ないけど減り方に着目してみようか、どんな感じで減ってる?

S: じわじわ

T: じわじわ、いい言葉出た。1970年からじわじわ減ってる

S: カナダが超減ってる。

S: カナダの減り方がやばい一回減った時がね。

T: 今言ってくれたみたいに、じわじわ減ってきてるよね。これまでの間、昨日もやったけど補助金もなかったよね。海外の食べ物はたくさん?

S: 輸入

T: 輸入されてきた中でガクンとは減ってないんだよね。

S: ゆっくり

T: ゆっくり減ってきた。じゃあ、なんでゆっくり減ってきたんだろう? 実はある人たちが結構頑張ってたんですよ。だれと思う?

S: 農家

T: そう。農家の人たちが頑張って、ガクンと。頑張らなかつたらこうなりそうだったけど、農家の人たちが頑張って、なんとかじわーってしてきた。今日はそんな農家の人たちが、どんな努力をしてきたかっていうところを見ていきたいと思います。

では、みなさんには1本動画を見てもらいます。

- 動画を視聴 -

T：はいじゃあ。今動画1分ちょっと見てもらったけど、みかん農家さんどんな状況に置かれていたか、隣の人に説明してください。

- ペアに説明 -

T：はいじゃあ、16番の人のいこうか。

S：今日いないです。

T：じゃあ、Aさんの列でいこうか。Bさん。

S：えっとなんか外国からの輸入が多すぎて自分が作ったものが売れなくなった。

T：外国からの輸入が増えて売れなくなった、なるほど。はい次Cさん。

S：Bさんと同じで、外国からみかんが輸入されたことによって自分農家の人たちが育てたみかんが売れなくなった。

T：うんうん。最後みかん農家さん、自分のみかんの木どうしてた？

S：切ってた

T：木を切ってたね。はいDさんどう思う？

S：Bさんと同じで、外国から輸入が増えたっていうところ

T：一番印象強かったね。アメリカの船からドーンって降りてきて

S：だって自由に輸出ができるんだから

T：自由にできるんだったらするよね。Eさんまだある？

S：輸入が増えて工夫することが増えた。

T：何することが増えた？

S：工夫が。

T：工夫すること。なるほどね。工夫しないと、そのままじゃもうどうも無理そうだなって思って切ってたのか。

S：輸入が多くなるにつれて、ミカン農家さんの仕事が無くなって、やめちゃう。

T：仕事がなくなっちゃう。ありがとう。では、みんなに考えてほしいのはこんな状況にある。今のみかん農家さん。今というか、この時のみかん農家さん。じゃあ、みんながみかん農家さんだったらどうする？今配ったワークシートのところに書いてください。3分時間取ります。

- 個人思考 -

T：じゃあ、各みかん農家さんは隣のみかん農家さんとどうするか話してください。

- ペアに説明 -

T：では、各みかん農家さんの対策をお願いします。Fさんからいこうか。

S：自分で作ったみかんをジュースにしたり、他のものに変えて加工するとかにしている。

T：ジュースとかにする。似てる？Gさん。

S：みかんをコンセプトにしたお店にする。

T：お店にするお店に売ってもらわんじゃなくて。自分で売るんだ。

S：はい。みかん専門店。

T：なるほど。はいじゃあ、Hさんどうぞ。

S：そのままみかん農家を続けるか、違う果物を育てて、みかんだけじゃない。

T：違う果物を育てると。この時、一番みかんがすごい入ってきたからね。Iさん。

S：自分なら、YouTubeとかテレビで宣伝します。

S：似てる。先生、めっちゃ似てます。

T：似てる人誰？Jさん。

S：僕ならインターネットで今の状況を伝えて、農業とか果物を作ってる人とかを集めてデモを起こします。

S：デモ？

S：一回起こしてるからね

T：確かにね。ちょっと動画の中であったよね。これをもう一回する？

S：もう一回する。

T：もう一回するのね。Kさん。

S：僕だったら地域の中で、そのパークみたいに、みかんのイベントみたいなのをやったりして、それが前テレビで見たことがあって、スパイス作ってる人がそれをお店で売りに行くみたいなのを見たことがあったから。同じようにみかんを一人でお店に売りに行ってスパイスみたいなのをする。

T：なるほど。地域のイベントみたいな。いろいろと出してくれてありがとうございます。もうちょっと聞きたいんですけど。この人たちが実際何したかってとこ、見ていきましょう。ということで、実際は品種改良を行いました。1番に品種改良って書いてください。今日朝のハンジーとピオラの話の伏線を回収しました。何？そうです。

では、品種改良、朝話したみたいに、より

S：いいやつ！

T：いいものにして、例えば甘いとか

S：香りがいい

S：おいしい

T：おいしいようなものに変えていくってということで、今ちょっと見せたこのみかん、熊本にゆかりがあるみかんどれかわかります？

S：アマクサ？

T：あ、これねどっちかっていうと大分が多いかな。デコポンはみんな知ってる？

S：知ってる

T：デコポンの名前さ。横にシラヌイって書いてるけど、シラヌイってどこ？

S：不知火海

T：これデコポンの横にシラヌイってあるけど、名前はどっち？

S：地名によって呼び方が違う

T：よく分からない気づいたね。地名によって違うんかもしれない。

S：上天草ではシラヌイって言うけど、〇〇の人たちはデコポンって言う。

T：実はこのデコポンってこういう基準があります。

S：甘さ？

T：スーパーでも見るよね。糖度ってね。酸度は？

S：酸っぱい

T：じゃあ、甘くてあんまり酸っぱくなかったらデコポンになるってこと？

S：うーん

T：もう一つ条件あるね。

S：熊本県果実農業協同組合連合会

T：JA ってわかる？

S：JA 熊本果実連

T：から出たものがデコポンって言えるってことは、ここから出なかったらいくら、甘くても？

S：ミカン

T：デコポンになる？シラヌイになる？

S：シラヌイ

T：シラヌイになる。そう許可したところから、この選ばれた JA からしか出せないんだって。実はこのこうやって名前つけて、他のみかんみたいにこういう名前つけてるものをブランド作物って言うんだけど聞いたことある？

S：ブランド品

T：そうブランド品とか。教科書でも出てきたかな？何で出てきた？

S：お米

T：お米が出てきたお米。ブランド米。例えば？

S：コシヒカリ

S：くまさんの輝きとか。

S：あきたこまち

T：そういうのもそうだよな。ブランド作物っていうのがあるよね。じゃあ、ブランド作物って値段は？

S：高い。

T：そう高い。高い高いよね。じゃあ、高くても買うのなんで？

S：おいしい

S：安全安心

S：綺麗

T：だから高くても買うんだ。なるほどじゃあ、今みかんの話をやってきたけど、みかん以外にブランドのお米とか出てきたけど、他にどういふのがある？隣の人に言えるだけ言って。

- ペアに説明 -

T：前向いて、例えばどんなブランドがあるっていうのが色々出たね。はいLさん。

S：ブリ

T：ブリ？どんな名前である？

S：名前覚えてないけど・・・

S：ブランドのブリはあるよ

T：魚系ね。他にありますか？

S：松茸

S：マツタケはブランド品じゃなくない？

T：あ、キノコもあるよ。色々名前のついた高いキノコ。どうぞ

S：いちご

T：いちご。例えばどんな？

S：あまおう

Sとちおとめ

T：他に。はいMさん。

S：ゴマアフラ。

T：ごまでなにか知ってるのがある？

S：・・・オクラは違うな

T：オクラあるんじゃない？じゃあ一回そろそろ切ろうか、ごめんね。ワークシート2番にブランドって書いておいて。みんな自分が思いついたところちょっと書いとして。今ちょっと意外と出てこなかったんだけど、牛肉とかもブランドあるよね。

S：神戸牛

S：松阪牛

S：黒毛和牛

S：赤牛

T：ちょっとみんなに見て欲しいんだけど、さっきみたいに松阪牛こうなります。基準がすごいある。食べたことある？

S：あります

T：あるんだ。美味しかった？  
S：おいしかった  
T：味、やっぱり違う？  
S：肉汁がすごい。だけど、肉いうても味付けしないと。  
T：ではまずここ何が入ってる？  
S：黒毛和牛  
T：種類だね。何の牛？牛もなんか種類あるよね。  
S：黒牛  
S：赤牛  
T：阿蘇で有名ないろんな牛があるよね。メス？オス？どっち？  
S：メス  
T：メス。赤ちゃんをまだ生んでいないメスっていう決まりもある。あとはどこで？  
S：松阪牛生育区域  
T：みんな松阪って町があるの知ってる？  
S：知らない。  
T：実は松があるんです。ここでしか育てられない。じゃあ、この黒毛和種で赤ちゃんまだ売ってないメスの牛でも、ここじゃないところ、例えば熊本で育てたら？  
S：アウト  
S：ただの黒毛和牛  
T：そう、ただの黒毛和牛。  
S：それでも十分美味しい  
T：黒毛和牛としてただ出すのと、松阪牛で出すのは、どっちの方が値段高くなる？  
S：松阪牛  
S：黒毛和牛の中の  
T：そう黒毛和牛の中のもっと上の牛さん。さっき言ってくれた。この値段は結局？  
S：高い  
T：3番。値段は高くなる。これだけ厳格な基準でやっぱり値段高くなります。みんなスーパーで見る高いお肉あるじゃん。一緒に買い物行っても買ってもらえないお肉たち。じゃあこれみんな高いけど、こういう高いものみんな何で買うのかを下のところに、ワークシートの右の下のところを書いてください。何で買うの？2分くらいでいいかな。

- 個人思考 -

T：じゃあごめん。先に全体で聞きましょうか。みんな書いてくれたので、誰か。Nさん。  
S：なんで買うかはおいしいし、自分的には油がたくさん乗ってるとか。あと普通のスーパーに売ってる肉の比べ物にならないくらいおいしいから。

T：比べ物にならないくらい。書いておこう。はい，どうぞOさん。

S：えっと贅沢したいからです。

T：贅沢したいなって気持ちがある。はいPさん。

S：いい匂いだから買いたくなる。

T：いい匂いなるほど。はいQさん。

S：日本の特定の場所で育てられる。貴重品だから。安心安全だから。

T：安心安全，いい言葉でたね。安心安全のための取り組みとか。教科書載ってたよね。

S：トレーサビリティ

T：お，トレーサビリティとかも出てきてたよね。それこそ牛肉とかがそうだったよね。こんな安心安全のためのものっていう。はいそれでは，もうちょっと聞きたかったんだけど，時間がないので。じゃあ，みんな確認していきましょうか。最初これ見せたよね。じわじわと減っているという減り方に注目したと思います。他の上のところより動きがじわじわしてたねって話したと思います。じゃあ，農家の人たちってみんな自給率上げるぞって言って，頑張ってきたのかな？

S：いや，お金を得るために

S：お仕事だから

T：そうだよね。お仕事だから，自分のお仕事なくなったら困るけんそうやって頑張ってきたと思います。でも結果としてそうやって農家の人たちが頑張ってくれたから，さっき言ったよね。最悪のシナリオは？

S：ダウンと

T：こうだったのを，なんとかね

S：デモ起こしたからですよ。

T：デモとかも大事だもんね。では最後一番下のところですね。農家の人たち，どんな努力したかっていうところ。カッコを埋めれるかな？(4)と(5)を書いてください。一番下カッコじゃないね。④と⑤を。

- 個人思考 -

T：書けた？はい隣の人と確認してください。

- ペアに説明 -

T：はいじゃあ前向いて。まず，4番は？なんでした？

S：品種改良

T：5番は？

S：質，見た目，味とか，

T：味とか，見た目とか香り，全部まとめて？

S：質

T：質とか品質でもいいよ。はいじゃあ，挨拶したら 1 枚目のワークシートも 2 枚目のワークシートも両方ください。分けて出してください。はい終わります。

S：気をつけ。4 時間目を終わります。

## 5年1組第3次(11月17日実践)

T: はい授業始めます。

S: 気をつけ。2時間目を始めます。

T: 始めます。みんな教科書はありますか？

S: はい。

T: 昨日何したか覚えてる？

S: みかんの

T: そうそう、みかんの話したよね。じゃあ、農家の人たちがどんな努力してきたか、隣の人に30秒で説明して。

- ペアに説明 -

T: はい。前についてください。はいじゃあ、17番の人。昨日何してた？

S: 品種改良

T: 品種改良してたりしてたね。みかんの話で、みんな考えていたと思います。じゃあ、ずっとみんなの教科書で確認してるグラフ。農家の人、いろいろ一生懸命頑張ってたけど、自給率はどうなった？

S: 下がってた。

T: ずっとゆるやかにだけど下がってたよね。

S: じわじわ

S: いや、本当は最悪のシナリオ。

T: 最悪のシナリオは避けてたけど、それでも下がってきたっていうことで。じゃあ、今日は結局どうやったら食料自給率を上げることができるのかを考えていきたいと思います。ではワークシートに名前を書いてください。

じゃあみんな、今まで〇〇先生と食料生産の話をしたとき、教科書を使っていろいろ授業を受けてきたのと、昨日と一昨日で私と授業をやっているんな食料生産の話をしてきたと思います。じゃあ、結局食料自給率を上げるために、何が大切と思うかなっていう、今の自分の考えをまず左側のところに書いてください。これを個人で5分くらいとります。教科書見てもいいよ。教科書でもノートでも使ってみて。この間私が送った資料とかをロイロで見ても。

- 個人思考 -

T: じゃあまだ悩んでるっていう人も、1回4人の班を作ってグループで意見を交流してみてください。

- グループ活動 -

T：一通り，全員意見言えたかな？

S：はい

T：じゃあ机前に戻してください。それではいろいろ出たの思うので，考え教えてくれる人？  
はい，Aさん。

S：食料自給率を上げるためには，食品ロスを減らすことが大切だと思います。

T：食品ロス減らしたらなんで自給率上がるの？

S：食材が余らず，残してた分が，多く食べなくてもいいんですけど，食べれる分はちゃんと食べれるようになるから。

T：なるほど。捨ててたぶんを食べたら結局，いっぱい食べ物輸入してるけど？無駄が出ないってこと？

S：うん，無駄が無くなる。

T：なるほど。はい，じゃあBさん。

S：食料自給率を上げるためには，補助金をたくさん出すことや，農業をしている，働いている人を増やすことが大切だと思います。なぜなら，補助金を出したら高い機械を買って効率よく作業をできたりするからです。

T：なるほど。働く人と機械が増えたら？

S：上がるんじゃないか。

T：なるほど。はい，Cさん。

S：食料自給率を上げるためには，国が輸入を少しずつやめていくことが大切だと思います。なぜなら，国が輸入するから，それを買って農家の人は苦しんでいくから，輸入を少しずつやめていったら，みんな国産の物を買っていくから。あと，輸入に使っていたお金を補助金に使って，農家の人も楽になればいいと思います。

T：なるほど。でも前回やったけど輸入減らせそうだった？

S：いや，でも少しずつなら・・・

T：少しずつどうやって減らす？

S：日本がアメリカに・・・

S：減らしたら日本終わるんじゃない？

T：輸入をどうにかして減らせばお金回せるんじゃないかと。はい，Dさん。

S：食料自給率を上げるためには，地産地消が大切だと思います。なぜなら，自分の国の中や県内でとれたものしか食べなかったら，政府が外国からの輸入を止めてくれるかもしれないからです。

T：なるほど。こことつながってたね。地産地消していったら，輸入が減るかもしれないってことか。地産地消って結局どこのもの食べてるの？

S：自分の地域

S：国産

T：地元のもの食べるってことか。

S：ちょっと似ています。

T：似てる？じゃあEさん。

S：僕は、国産の品を買うことが大切だと思います。理由は、国産品を買うことで、それを作っている農家の人に、お金が入って仕事を続けようかなと思うからです。思っ、仕事を辞めるのが少なくなるからです。

T：国産のものを買って、農家の人のお金に。はい、Fさん。

S：僕は食料自給率を上げるためには、気合と支援が必要だと思いました。ここには書いてないんですけど、気合があれば努力することもできるし、自分はできないことがないって思うし、あと支援が必要なのは、手伝ってもらったり、他の農家の方から野菜をプレゼントしてもらったり交渉みたいなのをしたらいいんじゃないかな。

T：野菜をプレゼントっていうのは誰から誰へ？

S：農家さんから農家さんへ

T：農家さん同士でなんでやり取りするの？

S：自分が育てたものを出して、それでも地産地消

T：農家さん同士で地産地消するってこと？

S：・・・

T：じゃあ気合はなんに対しての気合？

S：自分が育てている作物についての気合

T：作物についての気合？

S：作物について・・・

T：気合を入れているっていうのがわかるのはどういう行動？

S：むずいんだけど、頑張る・・・

T：どんな行動だろうね。この気合は農家の人の話？私たちの話？

S：農家の人達の気合。

T：農家の人達の努力とか工夫を挙げてくれた人もいたよね。先にそっち聞こうか。Gさん。

S：私はまず、農家の人達は宣伝をすることが大切だと思います。なぜなら、国内の物をみんな食べてもらうにはまず伝わらないといけないからです。宣伝方法はいろいろあるので、いろいろな人に知ってもらえたら食べてくれる人が増え、食料自給率が上がると思いました。

T：なるほど。宣伝とかをすると。他に？どうFさん、気合の内容出てきた？ちょっと後で聞こうか。他に？Hさん。

S：僕はデモだと思います。なぜなら、たぶん輸入を少しずつ減らすとか日本政府はやってくれないので、自分たちがまずできることといえばデモ。動かないと何も始まらないから。

動かないと、このまま自給率はゼロになって戦争とかに日本がなるから。自分たちにできることをいろいろやっていけばいい。

T：デモで何を訴えるの？

S：輸入を辞めろみたいな。

T：でも輸入辞めろって言って輸入ただ辞めたら食料は？

S：ないですね

T：なにしてほしいんだろう。このデモしている人たちは誰？

S：農家の人

T：農家の人たちなにを訴えるの？

S：補助金をあげろって

T：補助金をあげてほしいのか。

S：あといらないうちに税金使うとか。

T：税金の使い道とかを考えるってことね。はいありがとうございます。じゃあ次に行こうか。Iさん。

S：僕は国が補助金を出すことが大切かなと思いました。理由は、僕たちがたくさん地産地消とかを心がけても、国が補助金を出さなければ、そのうち農家を辞めていく人が増えるから補助金を出すことが大切だと思います。

T：補助金を出さないと農家の人が辞めるかもしれないっていうのはなんで？

S：なんでこんなに補助金がすくないんだ〜って

T：補助金が少ないとどう困る？

S：生活

S：全然育たなくて売れなくて、もう嫌だ〜ってなって農家辞めちゃって、それでどんどん輸入とかに頼ってしまうなって

S：機械とかが買えないからね。

T：なるほどね。機械買えないとなんで困るん？

S：楽に農作業できない

S：疲れる

S：労働時間が増える

T：じゃあみんないろいろ出してくれたけど、このあたりの考えを出してくれた人、これをするためにはなにが必要？

S：お金

T：特にこれ、このお金ってなんていうお金やったかという？

S：税金

T：そうだよね。税金が必要になると思うんだよね。この税金誰が払うの？

S：自分たち

T：これやろうと思うとお金かかるよね。お金かかるってことは？

S：税金が増えて

T:税金が増えるってことは誰の負担が増えるの？  
S:自分たち  
T:いいの？  
S:いやあ・・・  
T:負担めっちゃめっちゃ増えるよ？  
S:節約する  
T:だれが節約するの？  
S:自分たち  
T:自分たちが節約するの？  
S:自分たちっていうか、みんなと話し合っって税金の使い方を  
T:使い道を考えるのか。確かに使い道っていうのがあるね。増やさなかったらどこに使うのか。みんなお小遣いのやりくりしてる？  
S:してる  
S:してない  
T:「お小遣い増やしてくれませんか？」って言ってダメやったらどうする？  
S:ガーン  
S:買わないとか  
T:増やすか使い道を考えるかになるね。じゃあ、こっちの方は？できそう？  
S:自分たちができそう。  
T:みんな普段買い物ついていく？スーパーとか  
S:はい  
T:スーパー行ったことない人はいないよね？さすがにいないか。海外産のものと国産のものどっちの方が値段安い？  
S:めっちゃ海外のやつ安い  
T:海外産の方が安いよね。ものによるけど、海外産の物安い物すごく多いよね。  
S:エビとかお肉とか  
S:ウナギとか中国産 890 円だった  
T:ウナギとか値段全然違うよね。みんなおうちの人スーパーに週どれくらい行ってる？  
S:1回  
S:週2  
S:2, 3回  
T:家庭によってまとめ買いするところもあるしそうじゃないところもあるかもしれないけど、食品だから買わないわけにはいかないよね。毎日値段高い方買える？  
S:いや  
S:無理  
T:でも国産の物買って農家の人応援しようと思ったら？

S：お金が相当かかる

T：さあみなさんどうしたら上がる？改めてグループの人と話してみて。

- グループ活動 -

T：はい前向いてください。みんなさっき税金の話とかしてたよね。じゃあ、地産地消は値段が気になるって話をしてたじゃん。補助金を入れたら値段ってどうなると思う？

S：安くなる？

S：余裕ができて安くなる

T：なんの余裕ができる？

S：農家さんの

T：農家さんの余裕ができて安くなるのか。みんなこれ見たことある？

S：あー

T：どこでもらうやつ？

S：保険

S：領収書

T：どこの？

S：市役所

S：薬局

S：病院

T：そうこれ病院の。私が歯医者さんに行った時のやつです。ここなんて書いてる？

S：3割

S：負担割合

T：負担割合3割ってどういうこと？

S：税金ってこと

T：みんな病院行って自分がどれくらい払ってるか知ってる？

S：700円くらい

S：1000円ちょっと

T：で、みんなそれくらい払ってると思うんだけど、実はみんなが払っている額って、全体の3割。何パーセント？

S：30%

T：30%，そうだね。30%しか負担してない。じゃあ私が歯医者行った時のでいうと、値段いくら・

S：1190円

T：本当はいくら？

S：3000円くらい？

T：残念。実は 4000 円くらい 4000 円くらいするのが、この 3 割負担だから 1190 円にな  
ってる。じゃあ 3 割だから、残りの？何割？

S：7 割

T：7 割ってなんのお金？

S：税金

T：そう。税金。みんなが払っている税金。税金ってみんなが払ってるでしょ？

S：自分のお金から。

T：そう、だから負担がたった 3 割。っていうことは補助金増やしたらどうなりそう？

S：値段が

S：いや～負担額が増えるかもしれない

T：あ～負担額ね。使い道についてはいろいろ考えないといけないかもしれないけど。結構  
みんなが使っているものの中で、税金が入っているから安くすんでいるっていうものは意  
外とたくさんあります。

それでは、みんな今いろいろどれがいいか考えてもらったけど、どれがいいって 1 個に絞  
れる？

S：うーん

S：まあ

T：なんか 1 個に絞るのも難しそうだね。ということは？こっちだけとかじゃなくて？

S：全部

T：うん、両方やるのが必要になってきそうだね。補助金増やただけで地産地消せず外国  
のものばかり買ってても変わらないよね。

では、改めて、結局どうやったら食料自給率を上げることができるか、考えたのを右側のと  
ころに書いてください。

- 個人思考 -

T：じゃあ今書けているところまででいいので誰か、じゃあ J さん。

S：税金を無駄遣いせず必要なところに使って、地産地消を心がけるです。

T：使い道を考えるのと、地産地消。使い道を考えるっていうのは誰がやること？

S：政府とか

T：地産地消は？

S：自分たち

T：なるほど。ということはどっちかがやるんじゃなくて、両方ともやるってことか。それ  
では挨拶終わったらワークシートを集めてください。終わります。

S：気を付け。4 時間目を終わります。

## 5年2組第1次(11月21日実践)

T: はい始めます。

S: 起立。気をつけ。2時間目を始めます。よろしくお願いします。

T: お願いします。二組さんで授業するの9月ぶりですね。

S: はい。

T: お元気でしたか?

S: はい

T: 今日は道徳じゃなくて、社会です。じゃあ、みんな今社会、何してるかな?

S: 食料生産

T: もう全部終わった?

S: 多分

T: じゃあ、もう大丈夫だよ。じゃあ、自給率ってなんだったか、隣の人に説明してください。

- ペアに説明 -

T: はいじゃあ、前向いてください。今日21日なので21番の人。

S: おやすみです。

T: おやすみか。じゃあ、22番の人どうぞ。

S: 自給率っていうのは、自分の国の中で消費している食料の中の自分の国で生産できている食料の値。

T: どうですか。

S: 同じで一す

T: そうです。みんなの教科書にも書いてるね。自分の国で作られている食料がどれくらいかっているのが出てる。じゃあ、教科書の食料自給率のグラフ。これ覚えてる?

S: はい

T: 日本の食料自給率ってどうだった?

S: 低かった

T: 低かったよね。日本の食料自給率なんで低いと思うか、みんなちょっと前に先週アンケート取ったの覚えてる?

S: うん

T: 何書いたか、隣の人に30秒で。

- ペアに説明 -

T：はい一回前向いてください。これは誰か聞こうかな、なんで日本の食料自給率が低いのか考えたことを教えてください。

S：わかった！

T：どうぞ。

S：高齢化で人が減って、歳が若い人がいなくなって農家の人たちとか魚とる人とかが少なくなったからだと思います。

T：少なくなってどうなった？

S：少なくなって、食料の生産性が。

T：生産する量が減った。なるほど、どうですか？

S：【拍手】

T：食料の生産人が減ったとかに着目してくれました。他にありますか？はい。

S：他に食料の生産とか人以外は他の国と違って国土の面積が狭く、大豆とか小麦とか、日本で生産しにくいものもある。

T：なるほど。生産しにくいもの、土地が狭いとかいうところですね。他にありますか？はい。

S：付け加えなんですけど、だから外国から輸入してるから日本の生産量が落としてる。

T：なるほど、輸入たくさんしてるから、なんかアンケートのほうに輸入書いてくれた人も結構おったよね。輸入書いてた人どれくらいいる？あ、輸入の子と書いた人も結構おった。

S：でも輸入に頼ってばかり

T：輸入に頼ってばかりなんじゃないかっていう。日本輸入いっぱいしてたの見た？教科書で。

S：はい。

T：じゃあ、他の国どれくらい輸入してたのか、ちょっと見てみましょうか。これ、世界の輸入ランキングの15位まで。日本何位？

S：5位

T：そう5位だよ。じゃあ、輸入が多くて、食料自給率先日本低かったじゃんじゃあ、アメリカとかも食料自給率は低いよね。

S：どうなんだろう。

T：でもアメリカめっちゃめっちゃ輸入してる。

S：面積広いから色々ね

S：日本は米とったりとかだけど

T：実は今、みんなが輸入多いんじゃないかと色々理由を挙げてくれたけど。日本の食料自給率低いけど、食料自給率高い国も結構？

S：輸入してる

T：うん、輸入してるって言えるね。じゃあ今日はなんで日本の食料自給率が低いのかについて、みんなで考えていきたいと思います。

書き終わった人、ロイロ開いて今送った資料を開けてください。

次に行きましょうか。前でも出すし、見にくい人は今送った資料使ってください。次今日、日本の食料自給率話していくんだけど、ちょっとみんなに1個まず見てほしいんですけど、3枚目、これ何の表？

S：補助金の割合

T：そう補助金の割合。補助金って何？

S：もらってる金

S：援助するために支給されてるお金。

T：援助するためのお金。援助って？

S：あのなんか地震とか起きてる。

T：地震とか起きたときにも、そういう助けるためのお金くるね。これ今、農業の話してるけど、農業でいうと、この補助金って誰に渡されるお金？

S：農家

T：農家の人だよ。農家の人に渡されるお金、どんなことに使うお金やと思う？

S：機械

T：機械とか？

S：農薬

S：人を雇うお金。

S：人件費

T：なるほど。人権費なるほど給料とかいいね。そう、そういうところに使うお金。特にこういう今挙げてるフランスとかイギリスとかヨーロッパの国とかは農家の人たちの収入、お給料がちょっと減っちゃったときとかに助ける、そういうお金も入ってます。日本はちょっと少ないよね。では、みんなに一個考、ワークシートの一番左のところ。この二つ比べて補助金の多さと食料自給率の高さにどんな関係があるかっていうのを、3分時間あげるのを考えてみてください。

S：難しい。

T：先に近くの人と話す時間の方がいい？

S：うん。

S：どっちでもいい

T：じゃあ、1分時間あげるの、1分で隣の人とどういうことか、質問の意味とどういうことかを考えてください。その後書く時間とります。

- ペアで確認 -

T：じゃあ1回前向こうか。今、補助金の多さと食料自給率2つを比べてもらっています。まず日本は食料自給率を使ってみましょうか。どの線？

S：赤

T：赤いのが一番下だよね。フランスは？

S：90

T：この辺りだね。フランスは青か。この辺りでイギリスは？

S：青

S：点線

T：イギリス、日本、フランスってあります。今からみんなに考えてほしいのは、ここから食料自給率と補助金、どんな関係があるか。

S：少ない

T：そう少なさとか、補助金の割合少なさとか、食料自給率の高い低いがどうなっているかってことについて、今から 2 分あげるのので、そのワークシートのところに今の考えを書いてください。

- 個人思考 -

T：困ってる人、近くの人に助け求めてもいいよ。

T：ちょっと困ってる人、ヒントね。困ってる人は前向いて。今、補助金の割合と食料自給率の高さの関係を考えてるよね。

S：はい。

T：日本の食料自給率は高い？低い？

S：低い。

T：フランスは補助金の割合は？

S：高い

T：食料自給率はどうだ？っていうのが関係だよね。どうぞ。

じゃあ、今出たところだけ確認しましょうか。誰か全体に言える人。行きましょうか。

S：このグラフを見ると、食料自給率が少ない方が補助金が少なくて、食料自給率が高い方が補助金の量が多いということが分かりました。

T：どうですか？

S：同じです。

T：自給率が高い国は補助金も高い。補助金も？

S：高い。

T：さっき、ちょっとヒント出したよね。日本は 30.2%はどう思う？他の国と比べて

S：低い。

T：自給率も？

S：低い。

T：フランスは？

S：高い。

T：フランスは94%だから高いよね。日本と比べて自給率は？

S：高い。

T：イギリスは？日本と比べて？

S：高い

T：高いから？自給率も日本と比べたら？

S：高い。

T：日本は高そうだなということが分かった。ありがとう。じゃあ、今、補助金出したら自給率が上がったけど、なんで補助金出すと自給率が上がると思う？教えて。

S：補助金が出たら機械とか買えるから、短い時間でたくさんの食べ物とかを育てることができるから効率が上がるかなと。

S：確かに

T：効率が上がったなら何が增える？

S：作物の量

S：取れる量が増えそう。

T：生産性が上がる。

T：いい言葉出たね。生産性が上がる他にありますか？

S：補助金があれば、収入が少ないときでもやっていける。

T：収入が少ないときでもやっていける。逆に補助金がないとき、収入が少なかったらどうなる？

S：やっていけなくなる

T：やっていけなかったら？

S：終わる。

T：終わるってどういうこと？農家の人にとって終わったってのはどういうこと？

S：お金がなくなって、給料がなくなる。

T：給料がなくなったらその仕事続ける？

S：ダメ

T：続けられないよね。

S：輸入先が災害とかだったら

T：なるほど、輸入先がそういうことになったとき。

S：もっと輸入額が高くなるから・・・

T：こうやって補助金で出しておけばどう？

S：生産とかできる

T：ありがとう。今、みんな補助金で話してくれてるけど、この補助金って誰が払ってるお金？

S：国とか

S：消費者  
T：今ちょっと一個飛んだね。国とかのお金って誰が払ってる？  
S：市民  
T：市民って誰？  
S：消費者  
S：住んでる人  
T：住んでる人は、払ってる？  
S：払ってる  
T：税金払ってる人？  
S：僕はお母さんが払ってる。  
T：自分が払ってるよって言う人は？  
S：でも消費税とかで払ってる・・・  
T：お、いいね。何税？  
S：消費税  
T：みんな買い物してる時、実は？  
S：払ってる。  
T：今うまい棒、いくらかな？  
S：12円  
T：12円！10円だったんだけどね、うまい棒。この補助金は、今言ってくれたみたいに、私たちが払ってる税金です。①に税金って書いてください。では、日本は農業に対して税金使ってるって言える？  
S：言えない。  
S：あんまり使ってない。  
T：あんまり使ってない、なんで？  
S：他の国に比べて・・・  
T：ほかの国と比べて、どうも？  
S：割合が低い。  
T：そうだね。補助金の割合低いからあんまり税金使ってない。みんなさ、税金って、どこに使うお金やと思う？  
S：みんなが使う。  
T：例えばどんなところに使う？  
S：消防  
S：学校  
S：道路  
S：歩道橋  
T：とかいろいろあるよね。そういうのみんなが使うものだけど、じゃあさ、みんなが払っ

た税金，学校とか道路とかに使うのならいいじゃん。みんな使うから。農家の人の収入が減ったときにそれ使われるのいい？

S：自分たちが食べるものを作ってくれてる。

T：自分たちが食べるものを作ってくれてるってOK？

S：OK

T：みんな，いい市民だね。心優しい。私はちょっと「私の税金使うのか」ってちょっと思ったんだけど。

S：でも食料自給率がそれで，税金を払って上がれば，あれなんだっけ

S：その分値段も安くなる

S：食料自給率が高くなって結果的にはこっちが良くなる。

T：いいね。ただ実は世の中，みんなみたいな素晴らしい考えをお持ちではなくてですね。「なんで農家の人ばかり」っていう人も結構いるんよ。そう。そんな人たちが実は日本は多いんだけど，ヨーロッパは意外と少なくて。なんでそうかっていう理由がこの4枚目のところからわかります。実はこの中に農業の役割が書いてあります。何個書いてあるか数えてください。用意スタート。

- 個人思考 -

T：数え終わった人？

S：はい。

T：何個ある？

S：10個

S：11個

T：どっち？

S：11個だ。

T：11やね。地下水を作る，安らぎをもたらす，生き物育む……。じゃあ，みんなもう気づいてたね，この農業のこういう役割って誰が利益を得る？

S：自分たち

T自分たちって誰だ？農家の人？

S；農家の人も

T：農家の人だけじゃなくて？

S：消費者も

T：消費者もだし，ここに住んでるみんながいい思いするから，税金使うんだね。補助金ってなるんだ。

S：農家だけが得するわけじゃない。

T：そう，農家だけが得するわけじゃない。そうそうみんな気づいたね。では，こういう農

業の役割があるから、ヨーロッパの国は使ってるって言ったよね。でもこの役割ってヨーロッパだけに言える？

S：いや

T：そういうわけじゃないよね。日本でも言えることで、じゃあなんで日本って欧米諸国みたいに補助金を出さない？

S：お金が

T：あー，お金がないんじゃないか。

S：借金とか

T：借金とかニュースでも聞くよね。じゃあ，ちょっと1個資料見てもらいましょうか。次の資料。これちょっとみんな読んでもらいましょうか。

S：「1986年に開始された交渉では，農産物の輸出補助政策をめぐる対立を背景に，これまでの輸入自由化の議論に加え，補助金の在り方が議論となり，国内の農業政策までが交渉の対象となった。」

T：難しいこと書いてるけど，何の話してる？

S：ただ読んでるだけだったかも

T：今知った語句，どこにある？

S：補助金

T：補助金の話はどうもしてる。さっき，漢字のやつしてたね。これ実はね貿易の話してて，ヨーロッパ，日本，アメリカ，カナダとかの国が話し合ってます。この国たちが日本の補助金をどうするかっていう話をしています。アメリカとかヨーロッパが日本の話をしています。

S：日本に輸出したり輸入したりしてるから？

T：いいところ，気づけましたね。ではちょっと次のやつを見てみましょうか。これ，日本の輸出全体の，みんなのワークシートにも載せてるやつですね。日本どこと貿易してる？この時1990年。

S：アメリカとか

S：EC・・・

T：これね，みんなEUって知ってる？

S：はい。

T：EUってどこ？

S：ヨーロッパ

T：ヨーロッパだよね。その昔の呼び方。昔ECって言ってた。ヨーロッパのいろんな国が集まってるって考えて。そしたら，それで考えたらこっつ一つ国だけじゃないよね。

S：ああ

T：でもここは一つの国ってことは？アメリカ何パーセント？

S：32パーセント

T：めっちゃ多いよね。

S: EFTA って?

T: これもね。いろんな国が合わさったところ。アメリカだけ一つの国。

S: そうおもったらさ、EC とかもその他にできんかったんかな。

T: そうね。ここみんなでまとまってね。いろいろ貿易してるのよ。っていうことは、日本にとってアメリカって何位?

S: 1 位

T: ②のところ 1 位って書いててください。逆にアメリカの輸出相手はどこ?

S: EC

T: EC, どこだっけ?

S: ヨーロッパ

T: うん、ヨーロッパのいろんな国だよ。その次は?

S: カナダ

T: 日本何パーセント?

S: 12 パーセント

T: 12 パーセントぐらいだと。何位?

S: 3 位

T: 3 位ね。③, 3 位って書いててください。みんな今どれくらいの割合かなって分かったけど、貿易額って分かる?

S: 輸入のお金

T: お金のあれだね。次、輸出している額、日本からアメリカへの輸出はいくら?

S: 918 億 2300 万

T: アメリカから日本の輸出は?

S: 436 億 3600 万

T: どっちが儲かってる?

S: アメリカ

T: アメリカが儲かってる? 輸出ってどっち? 自分が?

S: 出す

T: うん出すってこと。何か物を出して?

S: お金が入ってくる。

T: どのくらいお金が入ってきたかっていうのがこれ。じゃあどっちかな?

S: 日本

T: 日本だね。日本がアメリカに出したとき、お金が 918 億円使って逆にアメリカはって。差はどれくらい?

S: 2 倍ぐらい

T: 2 倍ぐらい差があるよね。じゃあ、今儲かってるのは日本だよ。アメリカはどう思う?

S: イライラしてる。

T：なんでイライラしてる？

S：自分たちも輸出に関しているのに、お金が日本より儲かってる。

T：アメリカも輸出してるけど日本の方がいっぱい設けてる。なんか嫌だなんて。でもアメリカはこのまま黙ってる？

S：黙ってる？

S：我慢。

T：アメリカはこの後動きます。動くのか動きます。じゃあ、このみんなに送った一番最後の資料を見てください。これ何について書いてる？

S：輸出品

T：主な輸出品。日本とアメリカそれぞれ主に何を輸出していたかについて書いてます。何が強いかな。

S：日本は工業品

T：じゃあ、皆さん次下のところです。グラフの下、自分がアメリカの立場だったら、この中から何を輸出するかについて考えてください。みんなに送ったロイロのところね。そして何でそれを選んだかまでを書いてください。

- 個人思考 -

T：じゃあ、書き終わってまだ書いてる人も今のところまでで。隣の人に、今書いてるところを教えてください。

- ペア活動 -

T：じゃあ一回前向いてください。みんなどうやったら日本の弱いところをつけるか、いい視点で持ってますね。じゃあどなたか、はい、Aさん。

S：私は航空機と小麦と機械類にしました。

T：航空機と小麦と機械類。どうして？

S：なぜなら、小麦は日本の輸出品だから売れそうかなと思ったし、航空機は日本が輸出するときに航空機とか売れそうかなと思ったんです。

S：結構似てます。

T：似てる人がいる。似てる人行こうか。

S：僕は小麦、プラスチック、航空機って書きました。理由は、小麦とかプラスチック、なんでプラスチックがいいと思ったかについていうと、まず日本の輸出品にプラスチックが入ってなかったことと、生活にプラスチックがよく使われているから、プラスチックは結構大事なものだから、アメリカから輸入した方がいいと思ったからです。

T：どうですか。

S :【拍手】

T : いいね。日本の輸出品にないっていう視点がいいですね。他にありますか。はい。

S : 僕はプラスチックでした。日本の輸出品にもないし、ほぼ輸入に頼ってる。例えば〇〇とか。

T : どうですか

S :【拍手】

T : プラスチック, 航空機, 小麦, 他の品目あげた人いる?何あげた?

S : 僕は小麦とか小麦の話で, 日本の輸出品になって, 日本にないなら売れるじゃんっていう。

T : 日本にないとなんで売れる?

S : 希少価値が高くなるのが面白そう

T : なるほど貴重価値が高いんじゃないか。それではみんなの貿易バトルの結果をお伝えしましょうか。そのあと増やしたのがですね。ここです言ってくれたのはみんなが言った通り, 日本の輸出品にもないし, 日本ってトウモロコシとか小麦, 育ててた?

S : 特に小麦とか全然

T : みんな教科書で見たの覚えてる?小麦とかトウモロコシ, めちゃめちゃ低かったよね。なので, 実はトウモロコシとか小麦とかの食料品を輸出しました。結果, 自給率どうなった?

S : 下がった。

T : っていうようなことがありました。輸出いろいろしたよね。それに加えてアメリカはこんなこともしてたよね。さっき見た, この輸出に関するさっき言った話し合い。補助金のあり方についてもいろいろ言ってきたってわけです。日本がアメリカとかヨーロッパみたい  
に補助金をたくさんできないのは何でって言える?隣の人に説明して1分時間取るね。

- ペアに説明 -

T : ちょっと先に行こうか。では皆さん最後まとめです。一番左下のところで。一旦こっち見ようか前向いて。今日の学習課題はなんだった?

S : なぜ日本の食料は低いのか考えよう。

T 農業に対する何が少なかった?農業の?

S : 補助金

T : 補助金だね。補助金が少ないって話したね。補助金が少なかったよね。④, 補助金が少なくて, 増やそうとしても, 他国との何が難しい?

S : 貿易?

S : 輸出?

T : ちょっとさっきやったとこやね。これ何だった?

S : 輸出に関する

T：輸出に関する話し合いだね。話し合いとか交渉，アメリカとかカナダとかヨーロッパとかいろんな国と日本で話し合いしてたって。じゃあ，最後一番下の右側の振り返りの部分を書いてください。

- 個人活動 -

T：書き終わった人はうろうろして，近くの人と話していいよ。  
振り返りの確認は次の時間の頭にしましょうか。ワークシート，自分で持っておいて。次の時間，明日の1時間目に集めるのでなくさないでください。2時間目を終わります。

S：ありがとうございました。

## 5年2組第2次(11月22日実践)

T: はい5時間目を始めます。

S: 始めます。よろしくお願いします。

T: はいお願いします。じゃあ、今手元に持ってるワークシート使って、隣の人と日本の食料自給率なんで低いんだっか、確認してください。

- ペアに説明 -

T: 前向いてください。はいでは、前回の学習の説明できる人、どなたか、どなたかはい、Aさん。

S: 農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉が難しい環境であるからです。

S: 同じです。

T: みんな補助金が少なかったやつ覚えてる?

S: はい。いっぱい戻ってきたので、もう一回誰か言ってもらいましょうか。前回の学習、なんで日本の食料自給率が低いのかっていう話をしました。

S: それはですね。農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いが難しい環境にあるからです。

S: 素晴らしいです。

T: 今言ってくれたみたいに、補助金が少ないなっていう話をしましたよね。これ覚えてる?日本が30%くらいに対してフランスが?

S: 90%

T: 90%とかっていう話をしたと思います。ではもう一度昨日出したこれを見てみましょうか。日本の食料自給率はどこ?

S: 一番下の赤

T: 一番下、一番下よね。一番下です。ここでこれみんな少ないなっていうので見てたけど、減り方にちょっと注目してほしいよね。どういう風に減ってる?

S: だんだん

S: 少しずつ

T: だんだん減っていったよね。少しずつでもみんなさ、思い出してほしい。日本補助金は全然?

S: ない

T: なかったよね。なかったし、アメリカから何いっぱい入れられてた?

S: 小麦

S: どうもろこし

T:小麦とかトウモロコシとか食料いっぱい入れられてたよね。だったら減り方こんぐらいになっててもおかしくないじゃん。

S:産業とか

S:エコとかやってるから

T:なるほどみんなの意識が変わったんじゃないかっていうね。でも、補助金とかが少なくて一番困るのって誰?

S:日本

T:誰が一番困る?

S:農家

T:農家の人だよ。でも農家の人たちがそんな少なかったらいなくなりそうだけど、なんとか

S:保ってる

T:まあ、減ってはいるけど、ズドンって減ってないよね。

S:はい。

T:今日はどこに注目してほしいかという、食料自給率を上げるために農家の人たちがどんなことをしてきたかっていうのを考えてみたいと思います。

はい。では、今日は今言ったように食料自給率を上げるために農家の人たちがどんなことをしてきたのか一番関係あるよね。食料自給率を上げるためにどんなことをしてきたかっていうのを見ていきたいと思いますでは、まずちょっと動画を見てほしいんですけど、これ見える?見えにくい人、動いてもいいよ。

- 動画視聴 -

T:みかん農家は、この時のみかん農家はどんな状況にあったか、隣の人に説明してください。

- ペアに説明 -

T:はい、じゃあミカン農家さんどんな状況にありましたか。列で聞こう。この列の人。

S:ミカンを作ってた、それで外国からの輸入が増え、自分たちのみかんがあんまり売れなくなった。

T:輸入が増えて、売れなくなった。はい、次。

S:自由に輸入できるように

T:自由に輸入できるようになったね。はい次。

S:輸入が増えて、日本のミカン農家さんの収入が減った

T:あ〜日本のミカン農家さんの収入が減った。はい。

S：ミカン農家の収入が減った。

S：Bさんと同じで、輸入のミカンが有名になって地元のみかんが売れなくなってしまった。

T：輸入ミカンが有名になって。船に大量にオレンジあったの覚えてる？

S：はい。

T：これこれ。全部ミカン。では、みんな今から考えてほしいのが、みなさんはミカン農家さんです。どうする？っていうのを考えてほしいです。2分時間取るので、ワークシートのここに書いてください。自分がミカン農家だったらどうするか。よーいスタート。

- 個人思考 -

T：はい、じゃあ隣の山のミカン農家さんに教えてください。

- ペアに説明 -

T：はい、前向いてください。では、我こそはというミカン農家さん？はい。

S：僕の場合は育てる果物を変えるか、育てるミカンを増やすか、あとミカンと他の果物を育てます。

T：ミカンとりんごみたいな？

S：はい。

T：なんで育てる果物変えたらいいの？

S：輸入が少ない果物だったらいけるから

T：なるほど。輸入が少ない果物育てたらまだいけるからか。ほかにありますか？はい。

S：値下げする。だけどミカンを多く育てて、ちょっとでも値下すれば、前と同じくらいで売れるんじゃないかって。

T：多く育てると値段が下がる。多く育てるっていうけど、どこで育てる？

S：うーん。

T：今のミカンのところでいっぱいいっぱいだけど、どこで育てようか？

S：ほかの人の山

T：ほかの人の山！？増やしていくのか。他にありますか？はい。

S：ミカン狩りみたいなイベントをすると、楽しみも追加されるから、売れるんじゃないかって。

T：なるほど。ミカン狩りの時値段はどうする？

S：3万くらいかな。

T：3万！？なるほどね。はいお願いします。

S：私は、いっぱい作って有名になります。有名ブランドを作ります。

T：有名ブランド。なんて名前にしようかね。

S：○○

T：お、なんかいい名前だね。はい、じゃあ最後。

S：農薬を使っていないことを宣伝する。

T：農薬を使っていないことをアピールしたら、なんでいいの？

S：体にいいから。

T：なるほど、私達にとっていいわけだ。はい、じゃあ結局どうしたか、見ていただきましよう。

- 動画視聴 -

T：なにしたらって出た？

S：品種改良

T：①に品種改良って書いてください。品種改良ってどういうこと？隣の人に説明して。

- ペアに説明 -

T：はい、前向いて。はい、じゃあ品種改良だれか説明して。はい。

S：もとの品から、なんかちょっと改造する。

T：改造する。例えばどういうことを改造できそう？ミカンだったら。はい。

S：例えば、改造っていかくくつける。違うミカンと違うミカンを。

T：くくつけるならどんなミカンとどんなミカンをくくつける？

S：いいミカンといいミカン。

T：なにがいいミカン？

S：甘い

T：おお甘いのと？

S：ちょっと酸味がある

T：いい感じの甘さと酸味ね。今ちょっとね、さっき出てきた。こういういいミカンにして有名にしようっていうのが品種改良。じゃあちょっとこれ見て。

S：めっちゃある。

T：食べたことあるやつある？

S：デコボン

T：熊本にゆかりがあるやつは？

S：デコボン

S：不知火

T：みんなこれ見て欲しいんだけど、デコボンのあとなんて書いてる？

S：シラヌイ

T：これどっちも名前なんだけど、どっちが正しい？  
S：シラヌイ？  
S：デコポン  
T：なんで名前違うんだらうね？  
S：外国から入って来た  
S：どこで育てたか  
T：実はね、デコポンになるには結構厳しい審査があるんだ。基準はこれ。デコポンの基準  
1個目はなに？  
S：糖度13度以上  
T：糖度ってどういうこと？  
S：甘さ  
T：甘さが13度ってこと。スーパーで見たことない？  
S：あ～  
T：次は？もう一個の条件。  
S：酸度1度以下  
T：酸度ってなに？  
S：すっぱさ  
T：すっぱさが1度以下。あんまり酸っぱすぎたらだめなんだ。あともう一個条件がある。  
S：熊本果実なんとか組合が許諾したJAを通して出荷された物  
T：許諾したってどういうこと？  
S：いいよってこと  
T：そう、OKっていったJAからしか出せない  
S：JAってなに？  
T：お、JAってなに？  
S：農業組合  
T：そうそう、日本の農家さんたちのグループだね。では、問題です。①糖度14度、酸度  
0.7度、JAからは出していないが熊本県産、デコポン？シラヌイ？どっち？  
S：シラヌイ  
T：正解。②糖度13.5度、酸度0.9度、熊本県果実農業協同組合連合会が許諾したJAを  
通じて出荷された愛媛県産、デコポン？シラヌイ？どっち？  
S：シラヌイ  
S：デコポン  
T：正解は、デコポンです。これね、熊本県がOK出したところだから、熊本県以外もいっ  
ぱいあるんよ。見て、どこがある？  
S：愛知県  
S：岡山県

S：神奈川県

T：いろんなところにあるね。OKしたところだから。逆に熊本であればどこでもいいわけじゃないし、他の県でもOK出したところならデコボンになれる。こういう品種改良をして、名前をつけて管理しているものを、ブランド品と言います。では、ブランド品ってミカンとかオレンジだけ？

S：いや

T：そんなことないよね。ではみんなに次のところを考えてもらいます。②のところ、ブランドって書いてください。みんなブランド作物、他にどんなものがある？思いつくものそこに書いて。

- 個人思考 -

T：はい前向いてください。じゃあ個々の列の人1個ずつ言ってください。

S：デコボン

S：いちご

T：いちご例えばどんなものがある？

S：あまおう

S：とちおとめ

T：はい、次。

S：さつまいも

T：さつまいもだれか知ってる人ブランド

S：シルクスイート

S：べにはるか

T：出るね～。はい。

S：ぶどう

T：ぶどう、何かある？

S：シャインマスカット

S：巨峰

T：出るね～。はい。

S：マスカット

T：マスカット。

S：イチゴ

T：イチゴ。色々出てくるね。ということは、こういう頑張りをしたのはミカンだけじゃなかった。で、みんな果物ばかり挙げてくれたけど

S：米

S：トマト

S：魚  
S：肉  
T：今日実は1個難しいやつを持ってきました。これなに牛？  
S：松阪牛  
T：食べたことある人？どんなイメージがある？  
S：おいしい  
T：値段は？  
S：高そう  
T：じゃあ、これ条件見てみましょうか。  
S：黒毛和種  
T：黒毛和“種”ってどういうこと？  
S：赤牛とかみみたいな  
T：そうそう赤牛とかいろいろあるね。これメス？オス？  
S：メス  
T：メスで、未経産ってことは赤ちゃん生んでないメスの牛っていう縛り。これどういうことかな？松阪牛生産区域って。ここで育ててないやつってどうなる？  
S：松阪牛じゃない  
T：そう。ここで育てたやつしかダメ。で、いつまで？  
S：生後12か月  
T：簡単にできそう？  
S：難しい  
T：牛の中でもかなり選ばれた牛しかなれない。じゃあ、こんなに手のかかる牛、みんな値段高いよねって話したね。③値段はどれも高そうだね。なんでみんなそんな高い値段でも買うの？ワークシートに書いて。

- 個人思考 -

T：はいじゃあ戻ってください。じゃあこの列行こうか。はい。  
S：誕生日とかにご褒美とかで出てきたりする。  
T：なんでご褒美の時にこれにする？  
S：高いけどおいしいから  
T：ご褒美にするくらいおいしいからね。はい。  
S：いろいろな条件をクリアして、安全だから。  
T：安全だから。条件をクリアしてる方が私たちがわかりやすいよね。だってこの牛買ったら絶対にこういう条件をクリアしたものしか出てこないから。他にありますか？はい。  
S：ちゃんと手入れしてあるから。

T：あ～。安全のところに入れとこうか。はい。

S：似てるんですけど、安心

T：安心。安心安全って言葉があるね。はいどうぞ。

S：給料日とかにお金もらったときに、高いけどまあ買うかってなるかなって

T：給料日にいいお肉を買いたいと。多分ね、働いてるんだと思います。はい、お願い。

S：おいしいとか条件を満たしているっていうのもあるんですけど、国内で生産されているから、外国よりも安心感がある。

T：なるほど。国産の物の安心感ね。安全安心につながるね。では最後。

S：松阪牛は高級だからこそ人生で一度は食べてみたいなってなって食べる。

T：なるほど。食べてみたいなっていう憧れ。はい、ありがとうございます。みんなもいつかこのいいお肉を食べれるといいね。じゃあ最後、今日のところ。日本の食料自給率、なんで急に下がらなかった？ミカン農家さんがどういうことやってた？

S：品種改良

T：品種改良やったり、いろいろと頑張ってきたことだね。まあ農家の人達は自給率を上げようっていうよりも、自分たちのなにを守るためにしてた？

S：利益

S：給料

T：うん給料とか生活を守るためにしたけど、結果として日本の食料自給率が急に下がるのを防いだ。ではまとめです。農家の人達なにをした？

S：品種改良

T：品種改良だね。何の良い作物だろう？

S：ブランド？

T：味とか香りとか全部まとめて、質の良い作物。④と⑤入れてね。では④と⑤書いた人は最後、振り返り書いてください。

- 個人思考 -

T：では、挨拶したらワークシート前に出してください。はい、日直さんお願いします。

S：起立、気を付け。5時間目を終わります。

T：終わります。

S：ありがとうございました。

T：ありがとうございました。

## 5年2組第3次(11月24日実践)

T: はい授業始めます。

S: 起立。1時間目をはじめます。よろしくお願いします。

T: 昨日なにやったか覚えてる?

S: 農家の人が

T: そうだね。農家の人がなにしてたか覚えてる? 30秒で隣の人に説明して。

はい前向いてください。どなたか説明できる人。31番の人。

S: 農家の人が美味しいミカンとおいしいミカンを品種改良してより良いミカンを作ってブランド品にしていった。

T: 品種改良って言葉出てきたよね。品種改良とかいろいろしたけど結局自給率どうだった?

S: 下がった。低い

T: あがりはしてなかったよね。

S: ゆるやかに

T: そう。緩やかに落ちていった。農家の人が頑張って、ガクンとは落ちなかったけど、どうしてもじわじわは下がっていたので。今日は、どうやったら食料自給率が上がるのかっていうことを考えていきたいと思います。

じゃあ、食料自給率を上げるためにはなにが大切と思うか、とその理由を、みなさん個人で考えてください。何分いる?

S: 5

T: いったんじゃあ5分でとりましょうか。ワークシートの左側ね。何が大切ってなにになにを書いて、理由も下に書いてください。教科書みたい人は教科書見てもいいよ。

～個人思考時間～

T: 今ちょっと困ってるなって人? 何人かいるね。じゃあ4人か3人くらいでグループ作れる?

S: 班がある。

T: じゃあ班つくって、班の人の中で意見交流して、困っている人たちはその意見聞きながら書こう。

～班での意見交流時間～

T: それでは、みんなそれぞれ自分の思う大切なこと挙げてくれたと思うんだけど、ひとりひとり、考えたことを聞いてみましょうか。はい、いける人? お、いっぱいいる。じゃあはい。

S：人と土地だと思います。

T：人と土地をどうする？

S：人と土地が大切だと思う。

T：理由は？

S：たくさん食料作るために人がたくさん必要だし、人がたくさんいれば農家も増える。工場の人とかも増えて機械化を進められるようにして作業の時間を減らして短時間でたくさんの量をつくれるようになるから。

T：ここでいう人ってだれ？

S：農家の人

T：工場の人っていうのは農業の機械を作る人？なるほど。似ていますって言ったのだけかな。はい。

S：自分は、少子高齢化を防ぎ、農業ではたらく人をふやして食料を増やすことが大切だと思います。理由は、農業ではたらく人が増えると、食料をつくる労働力が増えて食料が増えて、食料自給率が上がると思うので。

T：みんな教科書で農家の人の高齢化率とか見た？

S：はい。

T：どのくらいの層が多かった？

S：60歳以上が多かった。

T：60歳以上が多かったよね。60歳以上の人いつまで農業する？

S：死ぬまで

T：できる？そんなに

S：無理

T：無理だよ。っていう風になるから人をふやして食料を増やしたいと。はい、じゃあ次行きましょうか。

S：農業をふやすことが大切だと思います。理由は、輸入にたよっている国がもし戦争とかにあったら、輸入がこなくなるし、食料自給率が減るからです。

T：ここで言ってる農業を増やすってどういうこと？

S：人とか

T：人とか？あとなにがある？

S：機械

T：あ～機械。機械をつかえるように。ほかにある？

S：地産地消が大切だと思います。なぜなら、地産地消をすれば、自分たちで作ったものは自分たちで食べてしまえば輸入をあまりしないで済むから自給率が上がると思います。

T：地産地消、そこでとれたのをその人たちが？

S：食べる

T：これがいいんじゃないかと。ほかにありますか。

S：僕も同じく地産地消なんですけど理由が違って、地元で食べて育てると、農家の人もやりがいがあって、育てる量が増えると食料自給率が上がると思います。

T：なるほど。農家の人のつくりがいに目を付けだんだね。ほかにありますか。

S：品種改良が大切だと思います。品種改良で新しい品種をつくることにより、おいしくたくさん食べてもらうことができ、それにより自給率が上がると思います。

T：品種改良なんでもいける？

S：おいしくないよ

T：いや、どの品種でもできそう？

S：はい。

T：できそうだね。どの品種でもできそうってことはどの農家さんもできるんじゃないかと。ほかにありますか。

S：私は、補助金や気合が大切だと思いました。補助金があれば土地や機械が買えるし、人も雇えるからです。気合は、なんか頑張れると思ったからです。

T：きあいは誰が入れるの。

S：自分自身

T：それは農家の人？消費者？

S：農家の人

T：農家の人が気合入れるんだ。

S：消費者も

T：消費者も農家の人もみんな上げるぞって気合。はい、ほかにありますか。はい。

S：食料自給率が上げるためにはいろんな作物での機械化が大切だと思いました。

T：機械を作るっていうところしか出てなかったけど、増やすっていうところだね。いろんな今機械化していないところを。なるほど。意外と人の手関わってるところ多かったよね、みんな米作り1から見たよね。どうやってやってるか。

S：水の管理とかは,,,

T：水の管理は機械使ってた？

S：機械使ってるけど人がやってるのも

T：人がやってる部分もあった。なるほどね。ではこれ以外で。お願いします。

S：食料自給率を上げるためには、安くすると、品種改良するといいいと思います。

T：品種改良の中でもう安くするってことか。

S：はい。なぜなら、他の輸入品より安くしておいしかったら消費者に買ってもらえるんじゃないかなと思ったからです

T：なるほど。消費者的には安いのと高いのどっち買う？

S：安い！

T：安い方買うね。値段安い方がいいと。ではみなさん、これ2つに分けたんですけど、こっちのは何かがかかる。

S：お金

T：そう、お金がかかる。こっちのやつは全部。このお金なにかから出す？

S：税金

T：税金誰が負担するんだったっけ。

S：自分たち

T：負担する？どうする？今ニュースとか見てたら増税とか、いろいろ税金増えてるよね。消費税とかも、今何パーセント？

S：10

T：10だよ。昔なかったもんね。私が子どものときは5%だったかな。

S：今何パーセントだっけ。

T：今10%だね。という感じでみんなが負担しないといけない。じゃあどうする？こっちする？地産地消するってみんな書いてくれてたけど、地産地消する？

S：はい

T：できそう？

S：はい

T：みんな普段おうちの人スーパーに週何日くらい行ってる？

S：1日, 3日, 2日, 5日

T：前回やったけど、国産のやつとかブランド品って値段どうだった？

S：高かった

T：高かったよね。毎日買う？

S：いや

T：ちょっと牛肉の値段を調べてきた。100グラム当たりの値段国産がだいたい平均が868円。外国産いくらだと思う？

S：500円, 600円

T：実はね, 323円。どれくらい違う？

S：500円

T：500円くらい違うね。どう？スーパーいかないわけにはいかないよね。毎回買えそう？

S：いや

T：100グラムだからね。みんな家族何人？

S：4人, 5人

T：何グラムいりそう？100グラム一人分くらいかなお父さんめっちゃ食べる人は足りないかな。

補助金はみんなの税金の負担が増えそうだし、地産地消は税金の負担は増えないかもしれないけど、みんなの毎日の買い物の負担は

S：税金の方が安いと思う。

T：ではみんな電子黒板見て。例えば補助金が入ったら食べ物値段どうなるとおもう？

S：上がる，下がる  
T：ちょっとこれ見てほしいんだけど，みんなこれ見たことある？  
S：領収書って書いてある。  
T：なんの領収書？どこ？  
S：あ，病院！  
T：これ私が行ってる歯医者さんの領収書です。ちょっとここ見てほしいんだよね。  
S：負担割合  
T：負担割合って書いてあるね。負担割合3割ってどういうこと？  
S：ということは7割が税金だ  
T：お，気づいた？私が払ってるのは本当にかかるうちの3割。残り7割は？  
S：税金  
T：税金で払われてるんです。1190円しか払ってないけど，私本当はこの歯医者さん行ったとき何円払わないといけない？  
S：1万円？2000円？  
T：出た？だいたい4000円。本当は4000円くらい払わないといけないけど3割負担だったから1190円で済んでるんです。じゃあみんな7割税金で負担してくれなかったら病院に行く回数どうなりそう？  
S：減る  
T：ということは，農業に補助金が入ると値段は？  
S：安くなる  
T：安くなるかもしれないね  
S：でも農家の補助金はいるからって働かなくなったり，，  
T：補助金もらうにも，ルールがある。他の国も。土地持ってるだけでお金入ってたら困るでしょ。ちゃんと育ててくれないと。じゃあ補助金入れるだけで大丈夫そう？  
S：はい  
T：補助金とりあえず入れとけば  
S：いやでも日本のお金が少なくなる。  
T：ってことは補助金だけじゃなくてこっちも？  
S：両方やりましょう  
T：両方やっていけばいいのか。片っぱだけじゃどうもうまくいかない。ではみんな今色々出してくれたので，結局どうやったら食料自給率を上げることができるのか，いろんなみんなの考えを聞いたうえで改めて右側，どうしたらいいか。今でたね，どうも片っぱだけじゃダメなんじゃないか。自分たちがやることも大事だし，補助金とかの使い方を考えるのは？  
S：国  
T：国がやっていくこともだいじだし，これは誰がやっていく？  
S：自分たち

T：どうも両方大切そうだね。

～個人思考時間～

～自由意見交流時間～

T：はいじゃあまだ書き終わってない人は書きながら聞いてください。最後、結局どうしたら食料自給率を上げることができるのか。だれか教えてください。

S：僕は、国がお金を使ってやることと、自分たちでやること両方やれば良いと思って、補助金は特にたくさん生産している人だけもらって、補助金と生産量を比例させると良いと思います。

T：みんな今言ったこと分かった？近くの人に説明して。はい前向いてください。じゃあもう一度お願いします。

S：国がお金を使ってやる補助金などと、自分たちでやる地産地消などを両方やれば良いと思います。補助金はたくさん生産した人だけもらって、補助金と生産量は比例します。

T：みんなどこに引っかかっている？

S：比例、補助金のところ

T：補助金と生産量を比例させるってどういうこと？

S：たくさん生産したらたくさん補助金がもらえて、逆に少ししか生産しなかったら補助金も少ない

T：いっぱい生産した人にいっぱい払えばいいんじゃないかっていう考えね。他にありますか？じゃあワークシート集めるのでまたおしえてください。

【巻末資料2】全児童のアンケート・ワークシート回答群

1組	事前アンケート	授業ワークシート	事後アンケート
1	①のう業をする人が減っているから。	i) はたらく人の数が大切 なぜなら、はたらく人の数が減ることで ii) 食品を減らし、農家の人にお金をはらう。(税金をわたす)	①農業ではたらく人が減ってきているから。
	②機かいをつかっている。		②品種改良がおこなわれた。
	③のう業の楽しさを知ってもらおう。		③農業の人たちにお金(税金)をわたし、機かいなどをふやし、食品ロスを減らす。
2	①輸入しているから？地産地消できてない？	授業未受講のためワークシート記載なし	事後アンケート未実施
	②「これおいしいよ～」「たべてみて」トレーサビリティ？		
	③たくさん食べる。地産地消する。		
3	①日本が輸入にたよっているから	i) 輸入にたよらないことが大切 なぜなら、日本は輸入額が5位だからできるだけ、国内で作らないと金が入らないし、輸入に頼りすぎて食生活がこれからコロッと変わるかもしれない。 ii) 補助金を増やして農業に関わるものを買った方がこうりつがいいと思う。	①米の食料自給率はじわじわと減っている。
	②熱量、生産額、重量を計算していると思う。		②品種改良をしてきた。
	③輸入にたよらずできるだけ国内で作る。		③補助金を増やして、農業に関わるものを買ってこうりつよく作物をそだてる。
4	①カナダは200%をこえているのに日本は約50%しかないから。	i) 補助金でサポートして輸入にたよりすぎないことが大切 なぜなら、イギリスみたいに予算より多くして働く人をふやせばいい。 ii) イギリスをまねする。予	①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との関係がむずかしい環境だから。
	②体けんやポスターのせっち。		②品種改良や質の良い作物づくりに取り組

		算より多くしてきんきゅうたいおうする。	み、海外産の作物と勝負してきた。
	③こう地面積をふやして働く人を増やす。		③予算より多くして農業の力においかけをおこして輸入より自給率に力をそそぐ。
5	①食料を作っても、消費者があまり消費しないから。	i) 国産の食べ物に少しでも興味をもつことが大切 なぜなら、国産の食べ物に興味を持つと、国産の食べ物を高くても食べてみたいし、農家のみなさんや漁業をしているみなさんへの応えんになると思うから。	①農家に対する補助金が少なくて、補助金を増やそうとしても、アメリカやECなどの他国との関係がむずかしい環境だから。
	②消費者が国産を食べてくれるように、イベントなどをひらいて楽しく食べてもらう工夫をしている。	ii) 自給率を上げるには、いろいろな方法があるけど、まず自分たちが身近にできる「食品ロス」を減らしたらいいと思います。食品ロスを減らすと国産の食べ物がむだにならずにすむし、自給率を上げることができると思うから。	②果物や肉の国産品が外国産にまけないように品種改良をし、国産品をブランド化して質のよいものにする工夫をしてきたと思う。
	③自分たちが国産の食べ物にきょう味をもって、食べていくこと。		③いろいろなやり方があると思うけど、まずは自分たちの身近にある問題「食品ロス」を減らしていけば、国産の食べ物がむだにならずにすむから。
6	①低いと思います。	i) いろんな人が豊かになってたくさんの人が食べること+ほじょ金が大切 なぜなら、ほじょ金がないと農家をつづけられないからです。	①農業のほじょ金が少なくて他のくにとの交渉がむずかしい環境だから。
	②生産を増やして食べるをくりかえす。	ii) ほじょ金+わかい人をふやす。	②品種改良、質の良い作物すくりに取り組んで、外国産の作物としようぶしていた。
	③農家さんのたいけん	ほじょ金→お金入る→続け	③ほじょ金をあげて若

	どに行き、きょうみをもち農家さんを増やす。	る→自給率上がる きょうみをもってみる→のうかさんになる→ふえるかも→自給率上がる	い人などにきょう味をもってもらおう。
7	①みんなが洋食（パン、肉など）をよく食べているから。	i) 国内で生産されたものをむだなく食べることが大切 なぜなら、国内で生産されたものを食べれば食料自給率が上がっていくと思ったからです。 ii) 補助金の使い方を考えて、働く農家の人たちやこれから働く農家の人たちにお金をあげる。	①みんなが国内で生産されたものをちゃんと食べないから。補助金が少ないから。増やそうとしても他国との関係がむずかしい環境だから。
	②人々にもっと食べてもらうために米に関わる祭りのようなものをしていと思う。		②品種改良や質の良い作物づくりをしてきた。安心して食べられる作物を作ったりしてきた。
	③もっと祭りをして食べてもらう。		③補助金の使い方を国が考えて農家の人たちにお金をあげる。国内で生産されたものをむだなく食べると食料自給率は上がると思う。
8	①外国からのゆ入をたよっていて、ほかのしごとのほうがもうかるから。	記述なし	①農家の人ですくなくて、外国さんのものをたくさんゆ入して、その外国さんのものをたくさん食べている。
	②ちいきの人たちや小学校にこんなことをするのをおしえる。		②品種改良をおこなっておいしくて、おいしいのいい食べ物を作っている。
	③ロボットやいろんなきかいをかいはずしてためして、つかう。		③なるべくちしょうちさんをやってじもとの食べ物をしょうひする。
9	①つくるのがたいへん	i) 自分で作った物は自分で	①農業の人にほじょ金

	で、輸入したほうが早いから。	食べるのが大切 なぜなら、自分で作ったのを自分で食べなきゃもったいないし、それでまいにちラーメンしかを食べたら体にも悪いから自分で作った物は自分でしょうひする。 ii)のうかの人たちが作物を作ってその地いきの人がたべていけば、がいこくさんをたべずにすむから。そしたらうかさんにほじょきんがたくさんきてよくなる。	が少なく、ふやそうとしてもほかの国の関係がむずかしいから。 ②品種改良。地産地消、おいしい作物 ③ちさんちしょうをして外国産のをたべなくて、売り上げがすくなくなったらこうしょうがなくなって食料自給率が高くなる。
	②地元で作ったものは地元で食べる。		
	③地元で作ったものは地元で食べる。		
10	①輸入にたよって国で生産していないから。	i) 地産地消が大切 なぜなら、地元でつくったものを地元でしょうひすることで、いずれすべての都道府県がこころがければ食料自給率が上がることにつながるんじゃないかと思いました。そのためにはほじょ金をだしてもらうのも大事だと思いました。 ii) まずはほじょ金をだしてもらって、人をふやす取り組みをしてみる。しょうひしゃがフードロスへらすこともだいじだし、毎日じゃなくてもすこしずつ地産地消をこころがけることもたいせつ。	①国がだすほ助金がすくなくなったり多くが輸入にたよっているから。 ②ブランドの物をつくったり、品種改良をする工夫をしていた。 ③自分たちでフードロスを減らしたりすこしずつ地産地消をこころがけることで人が集まるようなとりくみをすることも自給率をあげることにつながると思っています。
	②農家の人をふやすためにポスターなどをはった。		
	③国でつくったたべものを国でたべる。		
11	①輸入にたよっていて大豆や麦の生産が少ないため輸入にたよっているなど食料自給率が低い。	i) 補助金が大切 なぜなら、補助金があるとピンチだったミカンみたいに品種改良に使うお金が必要な農家の人も安心できてあ	①補助金が日本はすくなく輸入に頼っているので食料自給率が低い。 ②品種改良や質の良い
	②農家の人の顔をはる。		

		<p>んていにさいばいができるから。</p> <p>ii) 地産地消とせん伝をすると食料自給率を上げることができると思います。なぜならせん伝をして地産地消の活動をよびかけることができるからです。</p>	<p>物を取り組みブランド品を作っている。</p> <p>③地産地消とせん伝をすると良いと思います。なぜなら地産地消をせん伝して取り組みができるからです。</p>
	③全員で協力してがんばる。		
12	①こく物が一番低いと思います。	<p>i) 食品ロスを減らすことが大切</p> <p>なぜなら、食材があまり食べられる分だけ食べられるから。</p> <p>ii) ウィンウィンをめざす。国と自分たちがなっとくできるお金のバランスをとる。(どっちもよゆうのある)</p>	<p>①年々少しずつ低くなっています。</p> <p>②品種改良をおこなった。</p> <p>③食品ロスを減らすのが大切だと思います。なぜなら食材があまり食べられる分だけは食べられるからです。</p>
	②ポスターやCMなどでたくさん食べてくださいということを伝える。		
	③じもとの作物をじもとの人が食べればいい。		
13	①輸入量の方が国産物の量より多くて国産物の量が減っているから。	<p>i) 売り上げのためのせん伝をすることが大切</p> <p>なぜなら、国内の物をみんなに食べてもらうにはまず知ってもらわないといけないと考えました。せん伝方法は、CM, YouTube, ポスターなどいろいろあるのでいろいろな人に知ってもらえたら食べてくれる人が増え、食料自給率が上がると思いました。</p> <p>ii) 農業の人たちが農業をやめるのはもらうお金が少ないからが第一の理由。だから農業をやっている人たちに補助金を少しでも多くわたすと農業をやっている人た</p>	<p>①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との関係が難しい環境だから。</p> <p>②品種改良や質の良い作物づくりに取り組み海外の作物と勝負してきた。</p> <p>③農業の人たちが農業をやめるのはもらうお金が少ないからが第一の理由。だから農業をやっている人たちに補助金を少しでも多くわたすと農業をやっている人た</p>
	②本を出したりポスター、ちらしを出してたくさん食べてもらう。		
	③地産地消、農産物をできるだけ食べてもらう。		

		ちが減るのをふせげて作ってくれるともっと出来た物が多くなり、工夫をする考えの力も強くなるから食料自給率が上がると思います。	なり、工夫をする考えの力も強くなるから食料自給率が上がると思います。
14	①外国のゆにゆうが増えている、総理が田や牛にゆうの生産をやめるとおかねをあげるといっているから。	i) みんなが勇気をだして日本政府にデモをするのが大切 なぜなら、みんなが動かないと思っているから動かないと何も始まらないし、このままいくと食料自給率が0になって戦争になり日本人ががしするから。	①民間の人たちが動かず何もしていなかったから。総理が税金を世界へばらまいているから。
	②田や畑をせいびしてきかいではやくたがやしている。	ii) みんなの意見を聞いて税金の使い方を考える(税金に余裕ができると補助金がふえてそしたら高い物が安いものによって国産の方をかおうとなり自給率が上がる)	②他のくだものをそだてたり機械を使って楽にしてきた。
	③田畑をたくさんつくる。総理を変える		③デモや声をあげること。税金の使い方を考える。
15	①日本の食生活が変わって外国の物をたくさん食べているから。	i) 国が輸入を少しずつやめていくことが大切 なぜなら、国が輸入するからそれを買って農家の人たちが苦しんでいくから輸入を少しずつやめていく、輸入に使ってほじょ金も農家に	①補助金が少なくて、輸入にたよっているから。
	②おいしくする工夫や、インターネットでせんでんしていると思います。	ii) 食品ロスを減らして、わりびきされて安かったら国産を買うようにする。	②味や香りや大きさなどを品種改良をしてしようぶしてきたと思います。
	③和食をできるだけ食べる。		③国は補助金を多くしたりして、自分たちは食品ロスをなくしたりして、できれば国産のを買うといいと思います。
16	①日本産の食べ物を国内で食べきれないか	授業未受講のためワークシート記載なし	事後アンケート未実施

	ら。 ②量を調節したり，せんでんして食べてもらう取り組み。 ③国内で，外国産より日本産の食べ物を食べると上がると思う。		
17	①大豆とか食料自給率が低いやつは，あまりそだててないと思います。 ②できるだけ食料自給率が低いやつをそだてていると思います。 ③みんなで食料自給率を上げるために協力していけば，食料自給率が上がると思います。	i) みんなで協力することが大切 なぜなら，協力すると自分ではできないことができる人がいるからみんなで協力がたいせつだと思いました。協力すると仲よくなってせんそうとかがなくなるから，一石二鳥。 ii) みんなごはんをのこさない。いらないところにぜい金を使わない。	①日本は補助金が低いかからきかいとか薬品があまり買えずに食料がかえるから食料自給率が低い。 ②品種改良や品質のよい作物づくりとかを工夫や努力をしている。 ③みんなで協力する。理由自分ができないところが人にはできる人がいるから。
18	①外国からの輸入にたよっているから。 ②農家の人を増やすための工夫や自分の国の食べ物を増やす努力をしている。 ③農業や漁業の人を増やす。	i) 日本で食べ物をつくりつづける，輸入にたよりすぎないことが大切 なぜなら，食べ物をつくりつづけないと食料自給率が上がらないし輸入にたよりすぎると日本の食べ物を食べる人が少なくなって生産者が仕事をやめてしまうから。 ii) 日本で農業をやめずに生産をしつづけて輸入にたよりすぎず，食品ロスを減らす。	①生産者が仕事をやめたり輸入にたよりすぎているから。 ②品種改良や質の良い作物づくりをしていた。 ③輸入にたよりすぎず食べ物を作りつづける。
19	①外国からの輸入にたよりすぎているから。	i) 国が補助金をだすことが大切 なぜなら，ぼくたちがどれだ	①農業に対する補助金が少なかったり，輸入にたよってしまうか

		け地産地消などをこころがけても、国が補助金を出さなければ農家の人もいずれ、農家をやめてしまうかもしれないから。 ii) 国の皆で協力する。→いっばん市民の人は地産地消を心がける。農家の人は、質の良い食品を作る。政府の偉い人は農家の人達を税金や補助金でカバーする。	ら。また、補助金を増やそうとしても他国の関係がむずかしいから。 ②ブランド品や質のいい品を作るため品種改良をおこなった。 ③国の皆で協力する。政府→補助金を出して農家の人をカバーする いっばんの人→地産地消を常にこころがける 農家→質の良い食料・食品を作る
	②安全で安心できるような、農産物をつくってきた。 ③国産や地産のたべものを買ったり食べたりする。		
20	①輸入にたよっているから。 ②あたらしいのうかになってもらうためにひろめている。 ③ちさんちしょうをいっぱいする。	i) 国産の品を買うことが大切 なぜなら、国産品を買うことでそれをつくっている農家の人にしゅう入がいっぱいはいってしごとをつづけるから。 ii) 税金をむだづかいせずに、ひつようなときにつかう。そして地産地消をこころがける。	①外国からの輸入が多いから。 ②品種改良をおこなった。 ③国産品をいっぱい買う。
21	①農業で働く人が減って、こう地面積が減ったから。 ②ポスターなどでよびかけをしたり、地産地消をしている。 ③農業で働く人を増やす、海外の輸入にたよらない。	i) たくさん食品を増やすことが大切 なぜなら、小麦とかはほとんど輸入にたよっているから、日本で小麦を生産したらいいと思いました。 ii) 補助金を増やすことだと思います。補助金を増やすと、農家の人たちの生活が楽になるからです。	①外国産の食品がやすくて、日本産のものは高いから。 ②品種改良をして、外国産のものに負けないように工夫した。 ③たくさん食品をふやすこと。
22	①日本は他の国の輸入にたよっていたり、日本の	i) ほじょ金が大切 なぜなら、ほじょ金をたくさ	①農業に対するほじょ金が少なく、増やそう

	<p>田や畑をしている人がへって日本の食料が少ないから。</p> <p>②ポスターとかで「やりませんか」とか、「楽しいですよ」とか、ポスターで農家の人を増やして食料自給率を上げる。</p> <p>③輸入品をちょっと高くして日本のやつを安くすれば、手にとりやすいから売上げが上って農家の人の給料が上って農家になりたい人が増えて、食料もたくさんとれるから食料自給率が上がる。</p>	<p>ん使えば、いい品種改良の実験場もできるし機会もかえるし薬もたくさん買えるから給料も上って人も増えて食料自給率が上がる。</p> <p>ii) 地産地消をすれば、売り上げが上がりほじょ金をつかわずにふつうにかえる。</p>	<p>としても他国との関係がむずかしいから。</p> <p>②様々な農家の人はぶりやきのこ、いちごなどのブランド作物を作っているし品種改良もしている。</p> <p>③地産地消をすれば、売上げが上ってほじょ金を使わず、自分のお金で機械や薬を買えるようになると思う。</p>
23	<p>①きこうがあわないから大豆や小麦の自給率が低いと思います。</p> <p>②きかいとかを作って小麦とかのつくりをらくにしてきた。</p> <p>③作りをもっと工夫したら自給率が上がると思います。</p>	<p>i) 品種改良が大切なぜなら、品種改良とかですっぱいのとか苦いとかあまいのとかができてお客が買いたくなって買うから。</p> <p>ii) まずねだんを安くしたら買う人が増えるからのうかさんも安くしているから買う人が増えるからお金がいっぱいくると思いました。</p>	<p>①輸入にたよっているから農家の人たちがうれなくなると自給率が低い。</p> <p>②もっとおいしくするために品種改良をしてくふうしてきた。</p> <p>③もっと安くしたり輸入にたよらなかつたら自給率が上がると思う。</p>
24	<p>①若い人達が減ってきて、お年寄りなどがいっぱいであまりしゅうかくなどができない。</p> <p>②機械などをつかいながらも努力してきたと思います。</p>	<p>i) みんなと協力が大切なぜなら、みんなで協力して、もっと日本の農家を増やす。そして戦争が起きてもまたみんなと協力する。</p> <p>ii) ほじょ金とかを増やしたり、農家の人達にも協力してもらったりする。(ちいきの</p>	<p>①アメリカとかがいっぱい輸入をするので、果物を育てることが少なくなった。</p> <p>②今までは、農家の人たちの協力もありながらがんばってきた。機械とかも使用しながら</p>

		人達とかも)	ら。
	③若い人とかも、協力したり、ちいきのみんなですればすこしくらいは食料自給率は上がると思います。		③ほじょ金とかアメリカの輸入も減ればいいし、商品のねだんをもっと安くすればいいと思います。
25	①輸入にたよっているから、日本の食料自給率は低いと思います。	i) 農業ではたらく、メリットをつたえることが大切 なぜなら、農業ではたらくと、どしゃくずれをまもったりあつさをやわらげることができるなどのしょうらい	①補助金が低いので、農家さんがいやになってやめていって、農家をしたいたい人がいないから低いと思います。
	②できるだけ自分のじもとで作って、じもとでしようひすることをしてきたと思います。	自分たちの都合のいい環境になるよなどをネットでつたえたり、イベントをおこなって働く人を少しでもふやして、食料自給率をすこしずつなら上げることができる	②品種改良などをおこなって海外にたいこうして品種改良でおいしいものをつくって食料自給率を上げようと努力してると思います。
	③地産地消をすることだと思います。	かもしれないから。 ii) 農家の人達に国が補助金をだしてしまったら、農家の人達は、心によゆうができてうれしいかもしれないが、私達にとっては生活がきびしくなってしまうので、国に全体で税金の使い道を考えて、せつやくしていくのが一番いいと思います。	③国だけでなく私達が地産地消をしていけば少しずつ食料自給率は上がると思います。
26	①食品ロスが多いから低いと思います。	i) 気合としえんが大切 なぜなら、気合さえあればできないことがあまりないと	①地産地消ができてないから。国産が減らないから。
	②地産地消を心がけていると思う。	考えていて、しえんで助け支え合いがあるから上げれる。	②品種改良やどうしたらおいしくなるかけんきゅうしてきた。
	③もっとみんなが国産を食べていると上がると思	ii) 国からほじょ金さえもらえれば、新しい若い子がやっではたらいてくれたらこの	③みんながたべのこしなくたくさん国産の物

	う。	先にもつながると思った。食品は前にある物を取ることに。	をたべてそういうのがふえればもっと上がると思います。
27	事前アンケート未実施	授業未受講のためワークシート記載なし	事後アンケート未実施
28	①農家さんの人口が減ったから。	i) ほ助金をいっぱい出すことや、農家の人の人口をふやすことが大切	①ほ助金が少ないし農家の人の人口も少ないから。
	②畑や田をいっぱい作る。	なぜなら、ほ助金をだしたら機械やひりょうをかえて、こうりつよくできる。	②デモや国へほ助金をくださいというよびかけ。
	③農家さんの人口をふやす。	ii) ほじょ金やせん伝をして、農家の人がはたらきやすくなったり、こうりつがよくなったりするから、ほじょ金やせん伝をしたらいいと思います。	③ほ助金を国がだしてあげる。畑をふやす。輸入にたよらない。
29	①外国産の方が輸入されているから。生産量が少ない。	i) 輸入にたよらないこと、食品ロスをへらすことが大切	①補助金が少なく、増やそうとしても他国との交渉がむずかしいから。
	②地産地消を工夫している。生産量を増やす。	なぜなら、輸入にたよると自給率が上がらない。捨ててたぶんを輸入される。	②品種改良や品質の良い作物に取り組んだ。
	③できるだけ国内産を買うようにする。	ii) 地産地消をすることによって自給率が上がると思う。輸入をしてしまうと自給率が下がるから輸入されたもの(外国産)ではなく自分たちで育てた国内産などを食べる。	③税金の使い道を考えて、地産地消に取り組む。
30	①輸入に頼っているからだと思います。	i) 人からももらった物や、人から作ってもらった物などが大切	①農業に対する補助金が少ないからだと思います。
	②なるべく輸入に頼らないようにしていると思います	ii) 地産地消をすることで、農家の人が働きやすくなっ	②品種改良や、質の良い作物づくりに取り組

	ます。 ③地産地消すれば上がる と思います。	たりするので、地産地消を心 かけていきたいです。	んできたと思います。 ③地産地消をすればいい と思います。理由は 農家ではたらく人たちが 働きやすくなるからです。
31	①外国からの輸入にたよ っているから。 ②米や野菜をいっぱい作 ること。 ③外国からの輸入にたよ らず、消費者は国産のを いっぱい食べて、農家の 人たちも、米や野菜をい っぱい作る。	i) 地産地消が大切 なぜなら、自分の国の中や県 内でとれたものしか食べな かったら、外国からの輸入を とめてくれるかもしれない から。 ii) 輸入を止めて、農家の人 たちは全員いっぱい作って、 しょうひしゃは国産のをい っぱい買って食べる。	①自分の国でつくられて いるのより、外国産 のものの方が安いから、 外国産のだけを買 って、また外国から輸 入してをくりかえして るから。 ②機械を買って、労働 時間を減らして、いっ ぱい作る。 ③地産地消をして外国 からの輸入を止めても らうようにする。
32	①ほとんどのものを輸入 にたよっているから。 ②安心安全で、おいしい 食べ物をつくってたく さん食べてもらい、食料 自給率を上げる。 ③地産地消をして、地元 の人たちが作ったものを 地元の人が食べて、輸入 を減らす。	i) 地産地消が大切 なぜなら、地産地消をすると 地元の人が地元の食べ物を 食べることで食料自給率を 上げる ii) 地産地消。外国からの輸 入を必要な物だけにしてそ の分のお金を補助金にまわ す。	①地産地消をせずに、 いろいろなものを輸入 に頼っているから。 ②安心安全で、みんな がおいしいとって食 べてもらうために、品 種改良をした。 ③地産地消をし、地元 の人が地元の食べ物を 食べると食料自給率は 上がると思う。
33	①食生活が変わり、輸入 が増え、自分たちで作ら なくなったから。(主にパ ンなどを食べるようにな	i) たくさん日本産のものを たべることが大切 なぜなら、日本にはしょうひ ぜいがある。そのぜいはほじ	①補助金や予算が少な く、くわえて外国産の 物がたくさん輸入して きたから。

	り、輸入が増えた。)	よ金につながる。そして農家の人も少しよゆうができて、しゅう入がふえる。	
	②もっと国産のものを食べてもらえるようにチラシやインターネット、店頭に出したりしている。	ii) 地産地消とせん伝をする とよいと思う。地産地消のよい処をせん伝し、地産地消をしていない人などにしようかいする	②品種改良で質の良い果物づくりに取り組んだ。
	③なるべく国産のものを食べ、食料自給率が低い食べ物の畑をふやしたりする。		③地産地消とせん伝をすれば上がると思う。地産地消に積極的に取り組み、今のげんじょうをせん伝し、地産地消をする人をふやす。
34	アンケート未実施	授業未受講のためワークシート記載なし	アンケート未実施

2組	事前アンケート	授業ワークシート	事後アンケート
1	①こうれいかがすすみ、のうかがへっているから。そのやさいなどをそだてるのにてきした、かんきょうがすくないから。	i) 人と土地が大切 なぜなら、たくさんりょうをつくるにしても、人がいるし、とちもないと、いろいろなさくもつがつくれな いから。人がたくさんいれ ばのうかもふえるけど、き かいかをすすめられ、さぎ ょうじかんをみじかくした くさんのりょうたんじかん でつくれるから。	①ほじょきんが少なく、はなしあいもむずかしいから。ほじょきんがすくないせいでいろいろかえないから。
	②のうかをふやしてせいさんりょうをふやす。のうぎょうでつかうとちをふやしたり、きかいかをすすめる。	ii) ほじょきんなどをつかいきかいかやひんしゅかいりょうしながらじぶんたちでも地産地消やのうかにきょうりよくするなどのくふうをする。	②ひんしゅかいりょうやゆにゅう y ひんにまけないようによりおいしいひんしゅをつくる。
	③のうかをふやす。きかいかをできるだけすすめてさぎょうじかんをへらす。		③のうかの人のこうれいかがをすすめないためにわかひ人をふやしたり、地産地消の取り組みをする。
2	①野菜や魚を育てたり、	i) 生産者の人口を増やし、	①生産者の人口不足や

	<p>漁をする人が少ないから。</p> <p>②機械を使ったり、しっかり毎日様子を見る。小学生などにきょうみをもってもらったりして生産性を高める。</p> <p>③人口をふやし外国産デーを作ってがまんする。</p>	<p>品種改良などをし、みりよくをだしてはんばいしたりトレーサビリティをしっかりとつけておくことが大切 なぜなら、人口を増やすとたくさん生産されるし、みりよくをもてば買ってくれると思うし、トレーサビリティをつけておくと安心安全だから。</p> <p>ii) 生産者さんには、品種改良やきかい化、たまに値だんを安くする。しょうひ者側は安くなった時やごほうびなどの時国産を買って、けんこうに気をつけてほじょ金を増やす。</p>	<p>補助金が少ないから。</p> <p>②みりよくをだすために品種改良や地産地消。</p> <p>③たまに国産の物を買ったり補助金をふやす。</p>
3	<p>①外国から輸入したり輸出したりしているからだと思います。</p> <p>②おいしくて安全な食料を作ること。みんなが安心して食べられる食料を作ること。</p> <p>③できるだけ食べ物を買うとき日本産を買うといいと思います。</p>	<p>i) 農家の人達の補助金をふやしたり品種改良を行うことが大切 なぜなら、農家の人達の補助金が少なくきかいんどにつかうお金がないし、品種改良をすることでちがうブランドなどがふえるから。</p> <p>ii) 国がやることも増やして、自分たちがやることも増やして、地産地消だったり補助金を出すことをすると食料自給率が上がると思う。</p>	<p>①農業に対する補助金が少なく、他国との話し合いがむずかしいから。</p> <p>②品種改良や質の良い作物づくりに取り組みをした。</p> <p>③農家の人たちの補助金を増やし、品種改良を行う。</p>
4	<p>①食べ物をそだてられる土地がせまいから。</p> <p>②二毛作などをして生産</p>	<p>i) 国内で作ったものを国内で食べることで、地産地消すること、品種改良してたくさん食べてもらうことが大切</p>	<p>①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしいから。</p> <p>②品種改良で質のよい</p>

	量をふやす。育てる人をふやす。	なぜなら、国内でつくったものを国内でたべると食料	作物をつくってきた。
	③食べる量をへらすか、もう少し多く作る。わかものをふやす。	自給率を上げることができ るからおいしいからたくさん たべてもらえるから。 ii) 国が補助金を出したく さんつくってもらい自分た ちは地産地消を心がける。	③国が補助金を出し自 分たちは地産地消をこ ころがける。
5	①まずはやさいとくだものをそだてるてきた土地がないから。	i) 地産地消や、やさいやく だものをつくる人と、土地 をゆうこうてきにつかうの が大切	①日本が土地たべもの をつくるのにてきた とちもしくは土地がな いからひくい。
	②たてものの中に畑をつ くって水とたいようのひ かりをあげさせて人工の さいばいとかしたらでき るとおもう。	なぜなら、つくる人がいな ければなにもはじまらない からそして土地がないなら たかさをつむ、土地のくふ うをする。 ii) しょくりょうじきゅう りつを上げるためにはやっ ぱり土地がひつようそして 作る人がすくなくなってい るのでひともひつよう。そ してひんしゅかいりょうで もっとおいしくすること。	②ひんしゅかいりょう やもっとおいしくつく るためにそだてかたに くふうしたりした。そし てしつよいよものやブ ランドにも。
	③みぢかにはたけとかの しせつをつくってたても のにはたけをいれると か。		③ちさんちしょうやつ くる人のぞうかがあれ ばいけるとおもう。つく る人がふそくしている からのうかはたたいへ んだしいちばんとれた てのものをじもとでう ったりするそしたらじ もとの人がおいしいし わかっているとおもう からかうとおもう。
6	①育てる人がすくないか ら。	i) おいしく、たくさん作る のが大切 なぜなら、おいしいものを 作ると、たくさんかっても らえて、それをたくさん作 ればいいと思います。 ii) 国が補助金や品種改良	①補助金が少なく、増や そうとしても他国との 話し合いがむずかしい から。
	②機械の車を使ったりし ている。		②品種改良や質のいい 作物づくりに取り組ん だ。

	③育てる人をふやす。	など、自分たちは地産地消などをやればいい。自分たちができることをする。	③国が補助金,自分たちは地産地消をする。
7	アンケート未実施	i) ちさんちしょうが大切 ii) 人や土地をふやしできればきかいかをすすめねだんをやすくしてはいきするりをへらして自分たちではちさんちしょうなどをすすめてがんばる。	①農業に対する補助金が少なく,増やそうとしても他国との話し合いがむずかしいかんきょうにあるから。
			②品種改良や質の良い作物づくりに取り組み,海外産の作物と勝負してきた。
			③人や土地をふやしきかいかもすすめねだんをやすくしてはいきする量などを農家や国がして自分たちはちさんちしょうなどをすると上がる。
8	①とちがかいがいとくらべてせまくてつくりづらいから。	i) つくる人と土地が大切なぜなら, つくる人がいないと食料自給率が上がらないから短い時間でたくさんつくれるようになるから。 ii) 人をふやす国産の物をかう品種改良を」する。	①農業に対する補助金が少なく,増やそうとしても他国との話し合いがむずかしい環境にあるから。
	②きかいなどをつかってくふうしている。		②品種改良や質の良い作物づくりに取り組み,やった。
	③つくるばしょをかえる。		③つくる人と土地
9	①日本の面積は他の国よりせまいので多くの食料ができないので, 輸入にたよっているから。日本では育てにくいので外国から輸入しているから。	i) 輸入にたよりすぎないことが大切 なぜなら, 輸入をすることで食料自給率が下がっているから, 日本で生産できるものをできるだけ生産して, 生産しにくいものを輸	①補助金が少なく,土地や機械などがかえないから。
	②農業に使える土地をで		②品種改良で質が良い

	<p>きるだけ広い面積にする。日本で育てにくくても育てられる物は栽培する。</p> <p>③育てる人を増やして、その人が育てる畑などを広くする</p>	<p>入すればいいと思ったから。</p> <p>ii) 国ができるだけの補助金を出す。その分補助金を農家の人はできるだけいいことにつかう。</p>	<p>物を作ろうとしてきた。</p> <p>③国ができるだけ補助金を農家の人に出して、土地や機械を買えるようにする。</p>
10	<p>①日本で作れていないから。土地がせまいから。</p> <p>②食料自給率の少ないものを作る。</p> <p>③お米を食べる。</p>	<p>i) 安くする、品種改良、地産地消、農業の人をふやすことが大切</p> <p>なぜなら、外国より安くておいしかったら売れるから。</p> <p>ii) 品種改良。ほじょ金を働いている人にあげる。で生産たくさんしてなかったらあげない。</p>	<p>① 農業に対する補助金が少ないから。</p> <p>②品種改良や質の良い作物づくりに取り組んだ。</p> <p>③品種改良。補助金のルールを作る。</p>
11	<p>①畑やそだてる場所をつぐ人がいないから。</p> <p>②イベントなどを開いて、体験や見て畑をするようすをとらえ畑をしたいと思える活動をしていると思う。</p> <p>③未回答</p>	<p>i)</p> <p>ii)</p>	<p>①アンケート未実施</p> <p>②アンケート未実施</p> <p>③アンケート未実施</p>
12	<p>①外国の輸入が多いと思うので、今はせんそうや外国の輸入ができないじょうきょうだから。</p> <p>②地域の人にぼきんしてもらったりしごとをちょっとでもてつだってもらいように協力してきかいなどを買う。</p> <p>③みなさんが協力して自</p>	<p>i) 農家の人をふやして品種改良することが大切</p> <p>なぜなら、農家の人をふやして一人一人が頑張れば人が増えているから。</p> <p>ii) 日本人たち全員が協力してがんばれば上がると思いました。</p>	<p>①こうれいしゃや人が少ないので若い人を見つけたほうがいいと思いました。</p> <p>②品種改良をしていいみかんいいみかんをあわせてブランド品を作った。</p> <p>③日本人全員が協力</p>

	給率を上げるしかない。		して食料自給率が上がると思いました。
13	①その食材にてきた環境が少なく、高いい化が進んだから。	i) 人と土地が大切 なぜなら、まず土地がなかったら食料自給率があがらないから土地を増やして人手も増やす。	①自分の土地で生産したのが少なく輸入品が多いから。
	②機械化が進んでいるから。	ii) 国がやれることと自分がやれることをできるだけする。他の国のやつが輸入され安くなってるから同じくらいのきんがくにして地産地消をする。	②いいものをつくれるように品種改良を行った。
	③若い人やたくさんの人に働いてもらう。		③国ができることや自分ができることをできるだけして、他国のやつが輸入され自分たちのが安くなってるから地産地消する。
14	①外国から輸入したほうが安くてたくさんとれるから日本でとったものよりたくさんうれるからです。	i) 地産地消が大切 なぜなら、地産地消をすれば自分たちでつくったものをじぶんたちで食べてしまえば、輸入をあまりしなくてすむから自給率が上がると思います。	①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしい環境にあるから。
	②できるだけたくさん作るために、土地を大きくし安全に食べられるようにしていると思います。	ii) 自分たちがやっても国がやらなければ意味がないし、逆に国がやっても自分たちがやらなければ意味がないから、どちらもやるのが大切だと思います。	②品種改良や質の良い作物づくりに取り組み海外産の作物と勝負してきた。
	③作る人も多くないといけませんがわたしたちがかうときに日本産のを食べることで外国のはうれないから日本のうかではたらく人が多くなると思います。		③自分たちがやっても国がしなければいみがないし逆に国がやっても自分がやっていないければいみがないからどちらもやったほうがいいと思いました。
15	①場所や気候が関係すると思う。	i) 地産地消が大切 なぜなら、輸入をあまりしなくていい。たくさん作ると食料自給率が上がるかもしれないから。	①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしいから。
	②安心して食べられるよ		②品種改良や質のいい

	うに、ふくろに生産者の写真や名前などをかいて工夫してると思う。	ii) 国が補助金を出す。自分たちのために自分の税金をだす。	作物づくりに取り組み海外産の作物と勝負してきた。
	③気候に合わせて育て、店をふやす。		③地産地消が大切。地元で育て、食べて、たくさん育てて売ると食料自給率は上がると思う。
16	①日本は、しまなのでせまいからだと思います。	i) 地産地消が大切 なぜなら、地産地消で、じもとでつくったものをじもとでたべることだから、食料自給率があがると思います。	①補助金が少なくて、他国との話し合いがむずかしいから。
	②せいさんりょうがすくないものの、育てやすいところでそだてる。	ii) お金がかかるだけだから、お金が減ってしまうけれど、自分たちができる地産地消などもしていけばいいと思いました。	②品種改良をして、質のいい作物づくりにとりくんできた。
	③食べる量にあわせて、せいさんりょうがたかいものところに、せいさんりょうがひくいものを育てる。		③地産地消などのとりくみをしていくといいと思う。
17	①日本が輸入にたよっているから。	i) 農業を増やすことが大切 なぜなら、輸入に頼っていた国がもしせんそうとかになったら輸入がこなくなって食料自給率が減る。	①農業に対する補助金が少なく、他国との話し合いがむずかしいから。
	②機械化をしたり、地域のみんなで協力したりしてきた。	ii) 国と自分たちで協力したら食料自給率は上げれると思います。	②農家さんたちは努力して品種改良、質の良い作物づくりを取り組んでいたのですごいとかんじました。
	③輸入にたよらず、まずは自分たちの力でやってみる。		③国と自分たちで協力したら上げれると思います。
18	①日本は領土が小さく約4分の3が産地であり他の国と比べ気候がちがい、領土の大きさも違うから。	i) 地産地消と品種改良が大切 なぜなら、地産地消により作って食べることによって自給率が上がるし品種改良で新し品種を作ることによりおいしく食べてもらうこ	①他国との補助金の割合がとても低いため。
	②機械化などをして、時間を減らし、生産を高め		②品種改良や機械化、質の良い作物づくりなど

	る努力をしていると思います。	とができて、それにより自給率が上がるからです。	をしてきた。
	③地産地消	ii) 自分たちは地産地消をがんばり、国も補助金を出すことが大事だと思います。	③国が補助金を出し、自分たちは地産地消、品種改良が大事だと思います。
19	①日本でつくっているところが少ない。輸入された大豆や麦の方がおいしい。大豆や麦を日本人はたくさん食べるから生産が追い付いていない。	i) 品種改良や地産地消、国でつくって国で消費することが大切 なぜなら、品種改良をして、さらによいものをつくることで売上げが上がる。地産地消は、地域で作って地域で消費することや、国で作って国の中で消費することで食料自給率を上げることができるから。	①食料自給率が少ない小麦などを外国から、たくさん輸入しているから。
	②みんなで大豆や麦をたくさんつくりましょうってよびかけあっている。	ii) 国が補助金などを出すことも大事だし、自分たちが地産地消を大事にしていることで、食料自給率を上げることができる。	②品種改良をして、さらにより良い物をつくってくふうしている。
	③大豆や麦をつくる人が増えること。		③国が補助金などを出し、自分たちが地産地消に取り組むことが大事。そうすることで、食料自給率を上げることができる。
20	アンケート未実施	i) ii)	アンケート未実施
21	①日本の面積が小さく、農家などの人たちが減っていているから。	i) 人と金が大切 なぜなら、土地を買ったりするのに金がかかるし、人は作る人がいないと作物などの食料自給率が減るから。	①授業未受講のためアンケート未記入
	②体験などを子どもにさせてかんしんをもたせる。	ii) 食料自給率を上げるために国が補助金を出したり自分たちが地産地消を両方行う。補助金にはかぎりがあるから収入などでまかな	②品種改良をして海外産の作物と勝負してきた。
	③お金はかかるけど土地を作ればいい。		③国が補助金を出して地産地消をおこなう。

		う。	
22	アンケート未実施	<p>i) しょうしこうれいかをふせぎ、農業ではたらく人をふやして、食料を増やすことが大切</p> <p>なぜなら、農業ではたらく人をふやす→労働力が増える→食料がふえる</p> <p>ii) 国がお金を使ってやること（補助金など）と自分たちでできること（地産地消など）の両方やればいいと思う。</p>	<p>①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしいから。</p> <p>②品種改良をしてしつこのよい作物づくりをしていた。</p> <p>③国がお金をつかってやることと自分たちでできること両方やる。</p>
23	<p>①土地が少ない。人が足りない。</p> <p>②ポスターやCMで人をよんでいた。</p> <p>③きかいかをすすめてきかいだけで食料をとれるようにする。人をふやす。（農業の人）</p>	<p>i) ほじょ金やきあいや土地や人、品種改良が大切</p> <p>なぜなら、ほじょ金があれば土地やきかいかも買えるし人もやとえる。きあいがあればがんばれる土地があればいっぱいくれる人がいればこうりつがあがる品種改良をすればおいしいものがつくれて買ってもらえる。</p> <p>ii) 国が補助金をだしたり農家の人はよいこうりつよくしょくりょうを作ったり国は品種改良をすすめたらいいと思います。</p>	<p>①補助金が少ないし人も少なく土地が少ないから。</p> <p>②品種改良や効率よくさくもつをそだてられるようにした。</p> <p>③補助金やきあいや土地や人があればいい。</p>
24	<p>①しょうしかでつぐ人が少なくなった。人口減少でつぐ人が少なくなった。高れい化でわかい人が少なくなった。</p> <p>②1つの畑で何かのしゅるいをつくる。</p>	<p>i) 地産地消が大切</p> <p>なぜなら、地元で食べて、育てると農家の人も作り甲斐があって育てる量が増えると食料自給率が上がるかもしれないから。</p> <p>ii) 税金としょうひ者のバ</p>	<p>①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしい環境にあるから。</p> <p>②品種改良やブランド品などをつくってたか</p>

		ランスが大事だと思う。なぜなら税金だけでもなにも	いけどおいしいからかってもらうという工夫。
	③今は商業などを行っている人が多いから、商業からのうかにうつる。	しなかったらいみないのでちゃんと消費者もたべないといけない。	③地産地消
25	①ものがないから？	i) 人と土地が大切 なぜなら、農家と農具を作る→食料を増やす。 ii) 国が補助金, 自分たちは地産地消両方やる。	①農業に対する補助金が少なく, 増やそうとしても他国との話し合いがむずかしいから。
	②ものがほしいとよびかけている。		②品種改良や質の良い作物づくりにとりくんだ。
	③ものをふやしたりする。		③国が補助金, 自分たちは地産地消を両方やる。
26	①その食べ物をそだてる土地がないからだと思います。	i) 自分の国で作ったたべものをたべることが大切 なぜなら, 自分の国で育てたたべものを食べることで食料自給率が上がる。 ii) 補助金をだしてもらい, たべものをできるだけ安くすることで, 買う人は安いからたくさん買うと思うから。	①農業に対する補助金が少なく, 増やそうとしても他国との話し合いがむずかしい環境にあるから。
	②なるべく国産の食べ物を多くお店においたり, 育てたりしていると思いました。		②品種改良をしてたくさんさんのブランドをつくった。
	③食べ物が育つ土地をつくったり, いま日本で作る食べ物の量を増して, それでおぎなったらいいと思いました。		③人やきかいを増やしてこうりつを上げる。
27	アンケート未実施	i) 地産地消が大切 ii) 国が補助金などを出すことも大事だし, 自分たちが地産地消していくことで食料自給率を上げることができる。	①授業未受講 ②品種改良や質の良い作物づくりに取り組み ③国が補助金などを出すことも大事だし, 自分たちが地産地消をしていくことで食料自給率を上げることができる。

28	①のうかの人たちが減ってきているからだと思う。	i) 地産地消が大切 なぜなら、食料自給率はその国の中の自給率だから、自分のところで作ったものを自分のところで消費すれば、食料自給率は上がると思う。 ii) 補助金を出して安くして、品種改良をしておいしくして、外国とかに売ってかせいで地産地消をして、食料自給率を上げる。	①補助金のわり合が少ないから。
	②きかいを使ったり、わかかい人たちをけいけんさせて、人を増やす。		②品種改良をして質のよい作物を作ってきた。
	③人をふやしたり外国にたよっているものを日本で多く作ったりすること。		③地産地消、補助金とかをふやしたりてつだったり品種改良をする。
29	①日本の面積がほかの国にくらべてせまいから。日本人が安い外国産を買ってしまうから。	i) トレーサビリティ、地産地消が大切 なぜなら、日本産でも見ただけでは安全で安心なのかどうかわからないからトレーサビリティをするとどのように作られたのかわかるから安心で、地産地消をすると地元のおいしい食材をできるだけ安く手に入れることができるので買う人が増えると思うから。 ii) 国にしてもらおう補助金などと自分たちでする地産地消などを1つだけでなくいくつかの取り組みを両方する。	①日本の補助金が少なくて、他国との話し合いがむずかしいから。
	②きかいを使ったりして生産性を高めて少しでも安くする。地産地消に取りくむ。		②品種改良をしてよりよいものをつくる。
	③あいている土地などを使い、大豆や小麦など外国産にたよっているものをつくる。地産地消に取りくむ。		③地産地消をする。
30	①土地がせまいから。コンクリート、アスファルトなどの植物がそだちにくいから。	i) ii)	①のうぎょうのひとつへのほじょきんがすくないから。
	②ひりょうをまいたりひんしゅかいたりょうなどをしている。		②ちさんちしょうなど

	③地産地消		③未記入
31	①育てる人がすくなくなっているから。	i) 土地と人が大切な 理由なら、土地がせまいと いっぱいつくれないから土地 だいじだからです。そして 土地がでかいと人手もた りなくなるから土地と人が ひつようだと思います。機 械化もふやしてスピードを よくするために。 ii) 人をふやしてやればや るほどお金をふやして補助 金を30%じゃなくてもっと 60%とか出したらいいと思 いました。	①日本は補助金が少ないから機械をかえない。他国との話し合いもむじかしいから。
	②農業の車を使って工夫している。		②品種改良をしたり質の良い物づくりをし海外産の作物と勝負してきた。
	③育てる人がふえて農業用の車もいろいろなものができたら上がると思う。		③土地や人が大切だと思います。理由なら、土地がせまいといっぱいつくれないから土地がだいじだとおもいました。そして土地がでかいと人手もたりになくなるから土地と人がひつようだと思いました。
32	①農家の人が減っているから。	i) 地産地消が大切な 理由なら、地元でせいさん されたものをむだなく食べ ることができれば、自給率 を上げることができると思 ったから。 ii) 国はもっとお金を農家 の人にあげて機械を買ったり、 品種改良して自分たちは 地産地消をしていけば自 給率はぐーんと上がると思 います。	①農業に対する補助金が少なく、増やそうとしても他国との話し合いがむずかしい環境にあるから。
	②機械を使う。田畑の大きさを広げる。		②品種改良したりブランドを作った。
	③農家の人を増やす。		③地産地消
33	①面積の広さ、農家の人の減少が関係しているから。また輸入などをたよりすぎているから。	i) てづくりと地産地消が 大切な 理由なら、それぞれの地域 で生産して消費することが できたら、地域ごとで自給 率が上がる。上がった地域	①授業未受講のためアンケート未実施
	②宣伝。安心さを伝える。見えるようにグラフ化表		②品種改良や上質な作物づくり、ブランド作物

	化する。	をふやすことができれば、	をつくっていった。
	③それぞれの地域で地産地消を心がける。地域や国内でつくられた物をたくさんおいた店を創立させる。	<p>国全体の自給率が上がると思ったから。手作りは地産地消につながる。</p> <p>ii) 国や政府だけが頑張るだけでは上がらないから自分たちでもできるだけ地産地消をこころがけていく必要がある。国では物理的に自分たちでは気持ちを中心にしていくとよいと思った。</p>	③政府と自分たちのバランスをとりながら、政府は物理的に食料自給率が上がるような税金や農家の人用のしくみをつくり、「地産地消・てづくり」をできるようにしたらいいと思います。